



NEC

Aterm® WR7850S シリーズ

取扱説明書

[第7版]

準備編

1 使いになる前に

導入編

2 WARPSTARに接続しよう

応用編

3 クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う

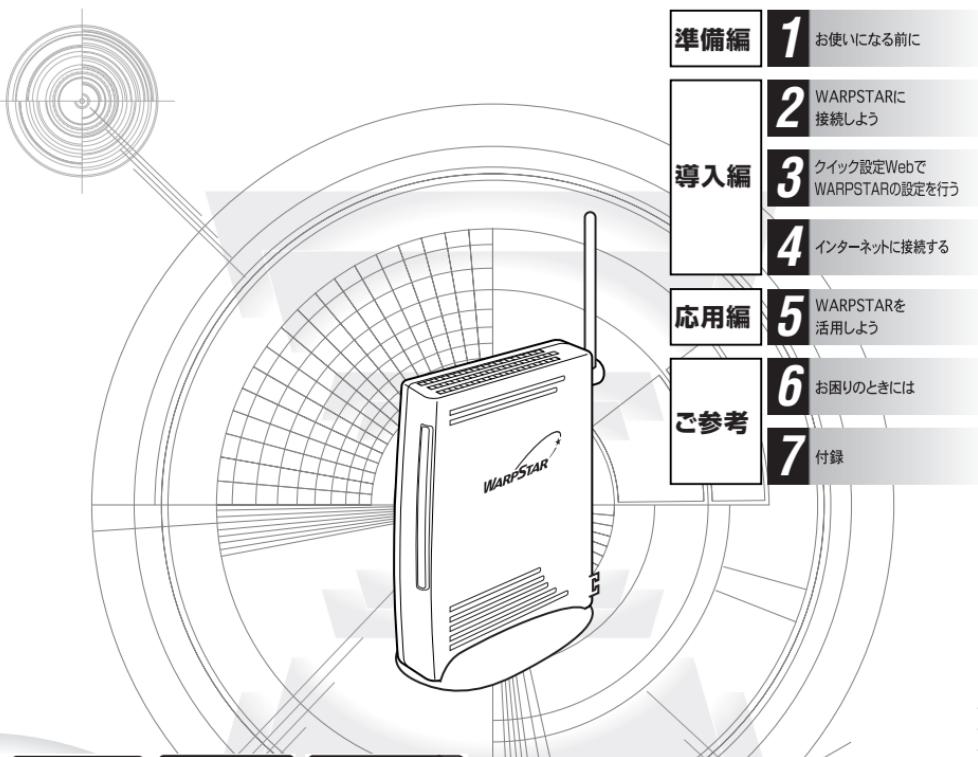
4 インターネットに接続する

5 WARPSTARを活用しよう

ご参考

6 お困りのときには

7 付録



※WL54SEおよびWL54SUはXRIに対応していません。

- 本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- 「ソフトウェアのご使用条件」は、前文-2ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

Aterm WR7850S（以下、無線LANアクセスポイント（親機）と呼びます）は、IEEE802.11a（新チャネル（W52）（W53）対応）、IEEE802.11b、IEEE802.11gの無線LAN規格に準拠したワイヤレスプロードバンドルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド(小冊子)

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書(本書)

本商品の基本機能についての説明書です。



機能詳細ガイド(HTMLファイル)

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URLからご覧ください。

AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) より、[サポートデスク] - [機能詳細ガイド] を選択してください。



お知らせ

- 本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
WARPSTARベース	無線LANアクセスポイント（親機）
Aterm WR7850S	WR7850S（親機）
WARPSTARサテライト	無線LAN端末（子機）
Aterm WL54SC	WL54SC（無線LANカード）
Aterm WL54SE	WL54SE（ETHERNETボックス）
Aterm WL54SU	WL54SU（無線USBスティック）

■電波に関する注意事項

- IEEE802.11a通信利用時は5.2GHz、5.3GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
- IEEE802.11aで使用するチャネルは36,40,44,48ch (W52) と52,56,60,64ch (W53) です。従来のIEEE802.11aで使用の34,38,42,46ch (J52) の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g

IEEE802.11a

J52 W52 W53

W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch)、

W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch) が利用できます。

IEEE802.11b/g

IEEE802.11a

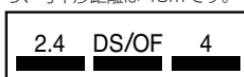
J52 W52 W53

J52 (5.2GHz帯/34,38,42,46ch)、

W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch)、

W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch) が利用できます。

- W53 (52/56/60/64ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
2.4GHz帯を使用のBluetooth機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



2.4 :2.4GHz帯を使用する無線設備を示す

DS/OF :DS-SS方式およびOFDM方式を示す

4 :想定される干渉距離が40m以下であることを示す

■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ32ビット(x86)版のみに対応しています。

※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。自作のパソコンはサポートしておりません。

Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。 AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

Netscape® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

“PlayStation®” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。

JavaScript® は米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Atheros™、ABG、Super AG、XR および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2005-2007、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2005-2007

日本電気株式会社およびNECアクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続して使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
- (2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムについていかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をおフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量によりした場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国外から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

- ⚠ 警 告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注 意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警 告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものを使いください。また、本商品に添付のACアダプタ（電源プラグ）は、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 警 告

- ACアダプタ（電源プラグ）に物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付のACアダプタ（電源プラグ）は日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警 告

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本商品をペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。
電波により影響を受ける恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

電源

- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ（電源プラグ）をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 本商品（WR7850S、WL54SE）のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどを使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。
- WL54SU の USB コネクタを回転させるときやご使用中は、WL54SU に無理な力が加わらないようにしてください。故障や破損の原因となります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線 LAN に関する注意

- 最大 54Mbps（規格値）や最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11a の通信モードは、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁止されています。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりますして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいつさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

ソフトウェアのご使用条件	前文-2
安全にお使いいただくために必ずお読みください	前文-4
目次	前文-12
「機能詳細ガイド」目次	前文-15
本商品に添付の CD-ROM について	前文-16

準備編

お使いになる前に

1章 お使いになる前に	1-1
1-1 本商品でできること	1-2
1-2 箱の中身を確認しよう	1-10
1-3 各部の名前とはたらき	1-12
WR7850S (無線 LAN アクセスポイント (親機))	1-12
WL54SC (無線 LAN カード)	1-14
WL54SU (無線 USB スティック)	1-15
WL54SE (ETHERNET ボックス)	1-16
1-4 あらかじめ確認してください	1-18
回線契約とプロバイダの加入について	1-18
パソコンの準備	1-19

導入編

インターネットに接続しよう

設定方法について	導入-1
セットアップの流れ	導入-2

2章 WARPSTAR に接続しよう	2-1
2-1 無線 LAN アクセスポイント (親機) を設置する	2-2
無線 LAN アクセスポイント (親機) の置き場所を決めよう	2-2
2-2 接続して電源を入れる	2-4
2-3 無線 LAN 端末 (子機) を接続する場合	2-8
WL54SC (無線 LAN カード) で無線 LAN 接続する場合	2-8
WL54SU (無線 USB スティック) で無線 LAN 接続する場合	2-12
WL54SE (ETHERNET ボックス) で無線 LAN 接続する場合	2-13
2-4 有線で接続する場合	2-16
無線 LAN アクセスポイント (親機) の ETHERNET ポートにパソコンを接続する	2-16

3章 クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う	3-1
設定の流れ	3-2
3-1 クイック設定 Web で設定を行うには	3-3
無線 LAN アクセスポイント（親機）を接続する	3-3
クイック設定 Web を利用するための準備	3-3
3-2 インターネット接続のための基本設定	3-4
らくらく Web ウィザードで設定する	3-4
3-3 複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）	3-12
4章 インターネットに接続する	4-1
4-1 インターネットに接続する	4-2
4-2 インターネット接続を切断する	4-3
無通信監視タイマ	4-3

応用編**本商品をさらに使いこなそう**

5章 WARPSTAR を活用しよう	5-1
5-1 セキュリティ対策をする	5-2
セキュリティ機能について	5-2
他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できないようにする	5-3
無線暗号化を設定する	5-3
ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定する	5-6
MAC アドレスフィルタリング機能	5-8
5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする	5-11
サテライトマネージャをインストールする	5-11
らくらく無線スタートで設定する	5-16
サテライトマネージャで設定する	5-19
ワイヤレスネットワークの設定 (Windows Vista™/Windows® XP の場合)	5-29
5-3 WL54SE (ETHERNET ポックス) を設定する	5-46
らくらく無線スタートで設定する	5-46
WWW ブラウザで設定する	5-50
5-4 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する	5-62
アドバンスド NAT（ポートマッピング）を設定する	5-62
PPPoE ブリッジ機能	5-64
IPv6 ブリッジ機能	5-65
シングルユーザアクセスマード	5-66
5-5 ゲーム機を接続する	5-69
無線 LAN アクセスポイント（親機）にゲーム機を接続する	5-69
WL54SE (ETHERNET ポックス) にゲーム機を接続する	5-69
5-6 無線 LAN アクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）	5-70
無線 LAN アクセスポイントモード設定	5-71

5-7	TV電話をする (Windows Messenger および MSN Messenger の利用方法)	5-77
5-8	ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする	5-78
5-9	他の無線 LAN 端末 (子機) から接続する	5-82
5-10	無線 LAN 内蔵パソコンから接続する	5-86
	らくらく無線スタート EX で設定する (Windows Vista™/Windows® XP (Service Pack 2 以降) の場合のみ)	5-87
	ワイヤレスネットワークの設定で設定する (Windows Vista™/Windows® XP の場合)	5-93
	WARPSTAR の設定	5-95
5-11	AirMac 対応のパソコンから接続する	5-96

ご参考

6章	お困りのときには	6-1
6-1	トラブルシューティング	6-2
	設置に関するトラブル	6-2
	ユーティリティに関するトラブル	6-16
	ご利用開始後のトラブル	6-24
	添付の CD-ROM に関するトラブル	6-27
6-2	無線 LAN アクセスポイント (親機) を初期化する	6-28
	クイック設定 Web で初期化する	6-28
	RESET スイッチで初期化する	6-29
6-3	WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化する	6-30
	スイッチで初期化する	6-30
7章	付録	7-1
7-1	製品仕様	7-2
	WR7850S (親機) ハードウェア仕様	7-2
	ETHERNET ポートインターフェース	7-4
	WL54SC (無線 LAN カード) 仕様	7-5
	WL54SU (無線 USB スティック) 仕様	7-6
	WL54SE (ETHERNET ボックス) 仕様	7-7
7-2	別売りオプション	7-8
7-3	用語解説	7-10
7-4	索引	7-12

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「 機能詳細ガイド」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド : AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) より、[サポートデスク] - [機能詳細ガイド] を選択してください。

目
次

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能	アドバンスドNAT (IP マスカレード/NAPT)
ポートマッピング (アドバンスドNATオプション)	静的NAT
静的ルーティング	IP パケットフィルタリング
ダイナミックポートコントロール機能	DHCP サーバ機能
DNS フォワーディング	不正アクセス検出機能
通信情報ログ (アクセスログ機能)	無線LANアクセスポイントモード (ルータ機能 を停止する)
UPnP 機能	DMZ ホスティング機能
RIP	

■WAN側機能■

PPPoE ブリッジ	IPv6 ブリッジ
PPPoE マルチセッション	複数固定IP サービス対応
無通信監視タイム	シングルユーザアクセスモード
VPN パススルー機能	PPP キープアライブ

■パソコンインターフェース■

100BASE-TX/10BASE-T スイッチングHUB (4 ポート)

■無線機能■

IEEE802.11a 無線 LAN	IEEE802.11b 無線 LAN
IEEE802.11g 無線 LAN	Super AG
XR	暗号化
MAC アドレスフィルタリング機能	ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	無線 LAN 中継機能
アドホック通信	AirMac 対応のパソコンでインターネット接続
らくらく無線スタート機能	らくらく無線スタート EX 機能
親子同時設定機能	ストリーミングモード

■その他の機能■

管理者パスワードの変更	時刻設定
通信確認 (疎通確認テスト)	情報表示 (装置情報、状態表示)
ファームウェアの更新	

〈クリック設定 Web の使い方〉

〈無線機能の使い方〉

機能一覧 (無線)
クリック設定 Web の使い方 (無線)
ユーティリティの使い方
無線 LAN 端末 (子機) の使い方
無線セキュリティ

〈高度な使い方〉

外部にサーバを開く
ネットワーク対応アプリケーション
ファイルとプリンタの共有

〈お困りのときには〉

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

- ① 無線 LAN カード、無線 USB スティックの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
- ② 無線 LAN カード、無線 USB スティック用のドライバー式 (Windows® 版)
- ③ 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行う「らくらく無線スタート EX」(Windows Vista™ および Windows® XP (Service Pack2 以降) のみ)

【ご使用上のご注意】

Windows Vista™ または Windows® XP/2000 Professional/Me でご使用の方

- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
 - ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) をクリックし、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [ファイル名を指定して実行] を選択する
※Windows® XP/2000 professional/Me の場合は、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥menu.exe)
また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、P6-27 を参照してください。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● Windows® 動作環境

- Windows Vista™またはWindows® XP/2000 Professional/Meが正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。
- 推奨環境

■ Windows Vista™の場合

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

ハードディスク容量：40MB 以上を推奨

メモリ容量：512MB 以上を推奨

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ32ビット(x86)版のみに対応しています。

※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。

自作のパソコンはサポートしておりません。

■ Windows® XP/2000 Professional/Meの場合

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

ハードディスク容量：40MB 以上を推奨

メモリ容量：256MB 以上を推奨

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

※WL54SC（無線 LAN カード）、WL54TU（無線 USB スティック）は Windows® Me ではご使用になれません。



お知らせ

● 表示画面

・ サイズ：800 × 600 ピクセル以上

・ 色：High-Color 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

● 「メニュー画面」とサテライトマネージャの画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

・ Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

準備編

お使いになる前に

準備編

1章 お使いになる前に 1-1

- Windows Vista™ は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

1

お使いになる前に

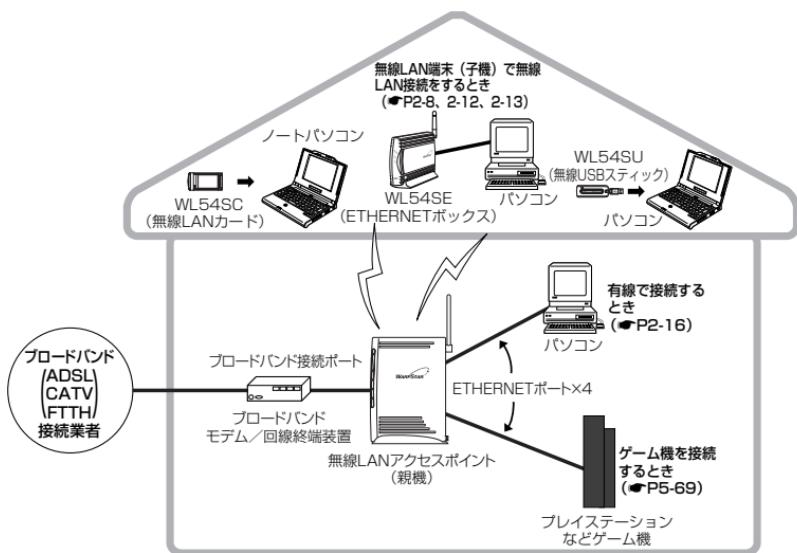
1

1-1	本商品でできること	1-2
1-2	箱の中身を確認しよう	1-10
1-3	各部の名前とはたらき	1-12
1-4	あらかじめ確認してください	1-18

1 お使いになる前に

1-1 本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／CATV ケーブルモデム／FTTH 回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。



本書の「導入編」では、無線 LAN アクセスポイント（親機）に有線で接続したパソコンからクリック設定 Web でインターネットに接続するまでの設定を案内しています。無線 LAN 端末（子機）から設定する場合の設定方法については、「つなぎかたガイド」または「5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする」（☞P5-11）、「5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する」（☞P5-46）を参照してください。

本商品では、さらに本書の「応用編」およびホームページに掲載されている「④機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

本書では、機器名称を次のように呼びます。

お知らせ

- 本書では、機器名称を次のように呼びます。

機器名称	本文中で使用している名称
ADSL モデム、CATV ケーブルモデム	ブロードバンドモデム
FTTH 回線終端装置	回線終端装置

■ 無線 LAN 通信

- IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

※無線で届く範囲は、環境によって異なります。

- IEEE802.11a モードで新チャネル（W52/W53）対応

本商品は IEEE802.11a モードで新チャネル（W52/W53）に対応しており、IEEE802.11a モードをご利用の場合に、最大 8 チャネルがご利用になれます。

従来の IEEE802.11a のチャネルと新しい IEEE802.11a のチャネルを、次のように表します。

タイプ	チャネル	周波数帯域	補足
J52	34, 38, 42, 46ch	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz)	従来の IEEE802.11a のチャネル
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz)	従来の IEEE802.11a の周波数を 10MHz ずらした、諸外国と同じ割り当ての新チャネル
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz 帯 (5250-5350MHz)	新たに IEEE802.11a で利用可能となった新チャネル

ただし、新しいチャネル（W52/W53）と従来のチャネル（J52）は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

無線 LAN 端末（子機） 無線 LAN アクセス ポイント（親機）	従来の IEEE802.11a 対応 無線 LAN 端末（子機）	WL54SC/WL54SU/ WL54SE (新 IEEE802.11a 対応)
WR7850S (新 IEEE802.11a 対応)	×	○ (W52/W53)
従来の IEEE802.11a 対応 無線 LAN アクセスポイント（親機）	○ (J52)	○ (J52)
従来の IEEE802.11a 対応の無線 LAN アクセスポイント（親機）で新チャネル に対応した場合	×	○ (W52)

○：新チャネル「36,40,44,48ch (W52)」「52,56,60,64ch (W53)」を使用して、最大 8 チャネルが利用可能です。

○：新チャネル「36,40,44,48ch (W52)」または従来チャネル「34,38,42,46ch (J52)」を使用して、最大 4 チャネルが利用可能です。

×：利用不可。

■ 無線 LAN 通信

- WR7850S（親機）では、IEEE802.11a 通信、IEEE802.11b または IEEE802.11g 通信を同時に利用できます。

2台の無線 LAN 端末（子機）で、IEEE802.11a、IEEE802.11g+b それぞれの無線通信モードを占有して無線通信をしたり、電波状態の良い無線通信モードで通信することができます。

それぞれの無線通信モードごとに電波出力、ネットワーク名（SSID）、暗号化キー、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）、MAC アドレスフィルタリングの設定をすることができます。（ただし、それぞれの無線通信モードで同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。）

※ 「らくらく無線スタート」で設定する無線 LAN 設定は、本商品の初期値では、IEEE802.11g+b モードです。IEEE802.11a モードの無線 LAN 設定を行う場合は、クイック設定 Web の【無線 LAN 設定】 - 【無線 LAN 基本設定】でらくらく無線スタート動作モードを変更して設定する（☞機能詳細ガイド）か、サテライトマネージャ、クイック設定 Web で設定してください。（☞P5-20、5-50）

- 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続されるのを防いだり、無線通信を暗号化して、通信の傍受を防ぎます。（☞P5-2）

無線通信が外から覗かれたり、無線 LAN アクセスポイント（親機）に他の無線 LAN 端末（子機）が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をすることをお勧めします。



■ 無線 LAN 通信

● 無線 LAN 端末（子機）を増設する（☞P5-82）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

IEEE802.11a 通信 : WL54SC/WL54SU/WL54SE

IEEE802.11b 通信 : WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL54SU/WL54TU/
WL54SE/WL54TE/WL11CB/WL11CA/WL11C2/
WL11C/WL11U/WL11U(W) /WL11E2

IEEE802.11g 通信 : WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL54SU/WL54TU/
WL54SE/WL54TE

※ WL54AG-SD、WL54AG (S) は WL54AG に含まれます。

※ 接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

※ WL11C/WL11U/WL11U (W) を接続する場合、親機の無線 LAN 暗号化設定を WEP64bit に変更する必要があります。

※ WL11E2 を接続する場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 暗号化設定は、WEP128bit 16進に設定を変更する必要があります。

※ 無線 LAN 端末（子機）の対応 OS については、AtermStation にてご確認ください。

また、無線 LAN アクセスポイント（親機）が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があり、接続できない場合があります。）

無線 LAN は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

※ IEEE802.11a (J52 のみ) 対応の無線 LAN 端末（子機）や無線 LAN 内蔵パソコンでは使用する周波数帯／チャネルが異なるため、IEEE802.11a での通信はご利用になれません。IEEE802.11g+b モードでご利用ください。

従来チャネル (J52) に対応した Aterm シリーズ無線 LAN 端末（子機）のバージョンアップ対応など最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

● 無線 LAN 端末（子機）どうしで通信する（アドホック通信）（☞機能詳細ガイド）

無線 LAN アクセスポイント（親機）を経由しないで、無線 LAN 端末（子機）どうしでデータ通信ができます。

※ IEEE802.11a、IEEE802.11b 通信のみです。IEEE802.11g 通信では、アドホック通信（アドホックモード）はご利用になれません。

※ WL54SE では、アドホック通信（アドホックモード）はご利用になれません。

1-1 本商品でできること

■セキュリティ対策をする (☞P5-2)

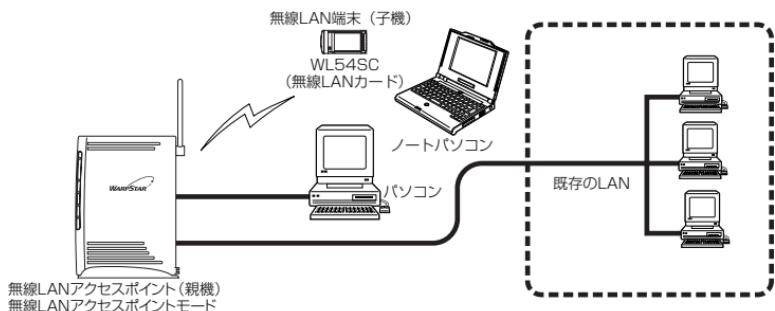
ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。(☞機能詳細ガイド)

- ・IPパケットフィルタリング
- ・アドバンスドNAT (IPマスクレード／NAPT)
- ・不正アクセス検出機能
- ・ダイナミックポートコントロール機能

■本商品を無線LANアクセスポイントとして使う (☞P5-70)

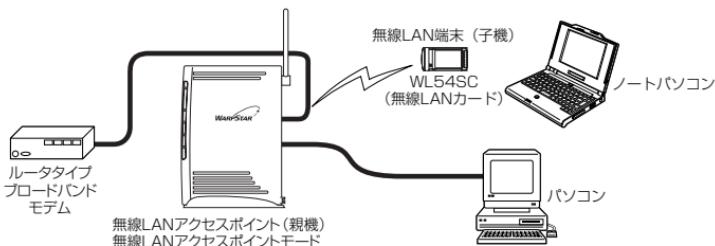
●既存LANに接続する場合

既存LANに有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止してハブや無線LANアクセスポイントとして使用することができます。



●ルータに接続する場合

ルータタイプのブロードバンドモ뎀に接続するときには、本商品のルータ機能を停止してアクセスポイントモードで接続します。



■ ゲーム機を接続する (☞P5-69)

“PlayStation® 2”などネットワークゲーム機を接続することができます。

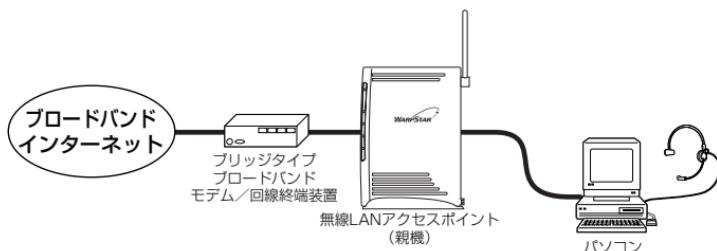
使用するゲーム機やゲームソフトが PPPoE での通信を前提としている場合は、PPPoE ブリッジ機能 (☞P5-64) で接続できます。(※使用する回線が PPPoE 接続方式の場合のみ)

■ パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。 (☞P5-62)

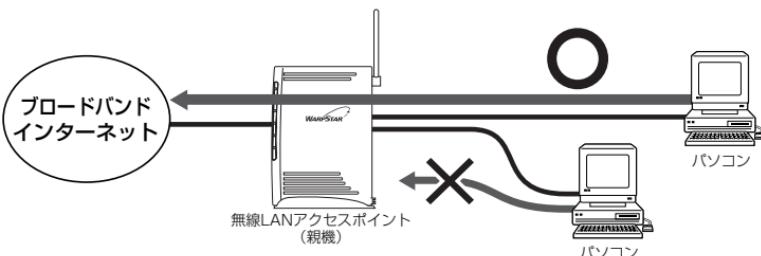
- ・ポートマッピングの設定
- ・PPPoE ブリッジ機能
- ・IPv6 ブリッジ機能
- ・シングルユーザアクセスモード

また、UPnP 機能を使用して Windows® XP の “Windows Messenger” サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。 (☞P5-77)



● シングルユーザアクセスモード (☞P5-66)

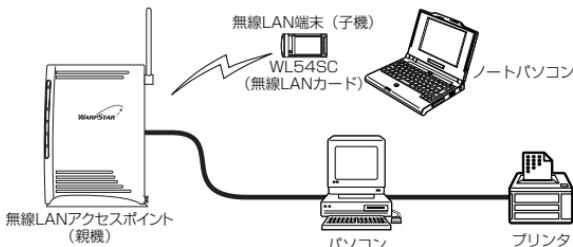
ゲームなどのアプリケーションを利用する場合などに、一時的に 1 台のパソコンでインターネット接続を占有できます。



1-1 本商品でできること

■ ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

(◎機能詳細ガイド)



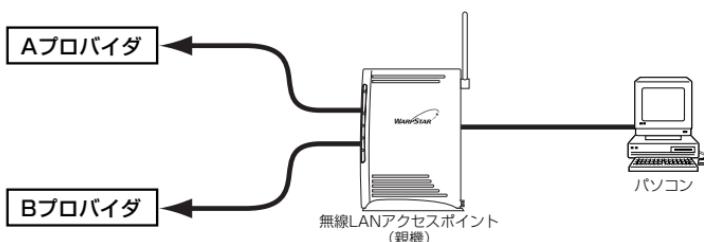
※本商品の機能ではありません。Windows® の 共有機能の設定になります。

■ インターネットの通信を切断する

- ・ クイック設定 Web の【情報】 - 【現在の状態】で切断できます。(◎機能詳細ガイド)
- ・ 無通信監視タイマ (☞P4-3)

■ 複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

クイック設定 Web で複数の接続先を登録できます。



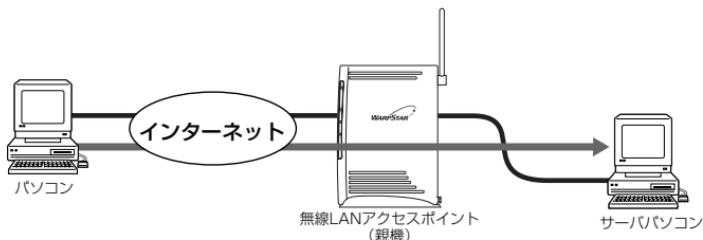
● PPPoE マルチセッション (☞P3-12)

1つの回線契約で複数（最大3セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。
※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されてい
る必要があります。

同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事
業者やプロバイダにご確認ください。

■ SOHO で使用するときに便利な機能

- ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する
(機能詳細ガイド)
ポートマッピング（アドバンスドNATオプション）、DMZホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。



- 複数のグローバル固定IPアドレスを付与するサービスを利用する (PPPoE接続利用時のみ)
(複数固定IPサービス対応) (機能詳細ガイド)
- 会社のネットワークに自宅から接続するなどVPNに接続する
(VPN (PPTP/IPsec) パススルー機能) (機能詳細ガイド)
VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。

■ 知っておくと便利な機能 無線LANアクセスポイント (親機)

- バージョンアップする (P5-78)
各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
- 設定を保存する (機能詳細ガイド)
クイック設定Webで、現在の設定内容を保存できます。無線LANアクセスポイント (親機) を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから無線LANアクセスポイント (親機) に設定内容を復元することができます。
- 初期化する (P6-28)
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

1 お使いになる前に

1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

● 構成品

□ WR7850S

無線 LAN アクセスポイント
(親機)



□ WR7850S 用

スタンド



□ ETHERNET ケーブル

(ストレート)



ワイヤレスセット (SE) には
2 本添付されています。

ワイヤレスセット (SC)、
ワイヤレスセット (SU)、
WR7850S 単体モデルには 1
本添付されています。

□ 取扱説明書(本書)

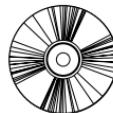


□ つなぎかたガイド



□ CD-ROM

(ユーティリティ集)



□ 保証書

ワイヤレスセットの場合にはいずれかが添付されています

WL54SC
無線 LAN カード



ワイヤレスセット (SC) にのみ添付されています。

WL54SU
無線 USB スティック



ワイヤレスセット (SU) にのみ添付されています。

WL54SE
ETHERNET ボックス



ワイヤレスセット (SE) にのみ添付されています。

WL54SE 用縦置き
スタンド



WL54SE 用
ラバーシート



WL54SE 用
AC アダプタ



※「WL54SE 専用アダプタ」と記載されています。

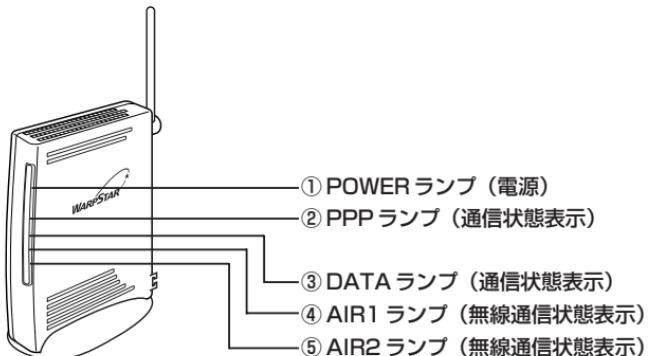
※AC アダプタの形状は変更になる場合があります。

1 お使いになる前に

1-3 各部の名前とはたらき

WR7850S (無線 LAN アクセスポイント (親機))

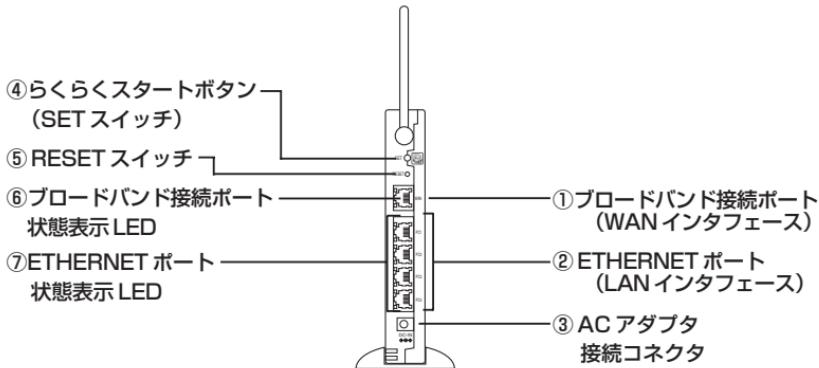
● 前面図



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
① POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき、またはらくらく無線スタートの設定が完了したとき
	緑 (点滅) / 橙 (点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき (☞「つなぎかたガイド」参照)
	赤 (点滅)	初期化準備状態のとき
	赤 (点灯)	らくらく無線スタートの設定が失敗したとき
② PPP ランプ (通信状態表示)	緑 (点灯)	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑 (遅い点滅)	動作モードが PPPoE モードの場合に PPP 認証が失敗したとき (1 秒間隔) (☞P6-10)
	緑 (速い点滅)	動作モードが PPPoE モードの場合に相手から応答がないとき (☞P6-10)
	橙 (点灯)	動作モードが無線 LAN アクセスポイントモードのとき
	消灯	動作モードがルータモード (ローカルルータモード) のとき、または PPP 未接続のとき
③ DATA ランプ (通信状態表示)	緑 (点滅)	ETHERNET ポートに接続された機器が無線 LAN アクセスポイント (親機) とデータの送受信をしているとき または無線で接続された機器が WAN 側とデータの送受信をしているとき
④ AIR1 ランプ (無線通信状態表示)	緑 (点灯)	IEEE802.11g + b モードで通信可能なとき
	緑 (点滅)	IEEE802.11g + b モードでデータ送受信中
⑤ AIR2 ランプ (無線通信状態表示)	緑 (点灯)	IEEE802.11a モードで通信可能なとき
	緑 (点滅)	IEEE802.11a モードでデータ送受信中
	赤 (点滅)	IEEE802.11a モードで 52,56,60,64ch (W53) を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に干渉する電波 (レーダー波) がないか検出しているとき

●背面図

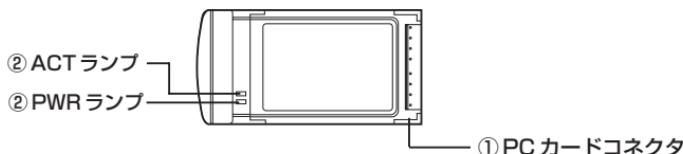


名 称	説 明		
①ブロードバンド接続ポート (WANインターフェース)	ブロードバンドモ뎀／回線終端装置との接続に使用します。		
②ETHERNET ポート (LANインターフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。		
③ACアダプタ接続コネクタ	WR7850S用ACアダプタを接続します。		
④らくらくスタートボタン (SETスイッチ)	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。(☞「つなぎかたガイド」参照) 無線LANアクセスポイントモードに設定するときに使用します。 (☞P5-70)		
⑤RESETスイッチ	初期化するときに使用します。(☞P6-29)		
⑥ブロードバンド接続ポート状態表示LED	緑 点滅	ブロードバンドモ뎀が接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき ブロードバンドモ뎀と100Mbpsでデータ送受信中	
	赤 点灯	ブロードバンドモ뎀が接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき ブロードバンドモ뎀と10Mbpsでデータ送受信中	
⑦ETHERNETポート状態表示LED	緑 点滅	パソコンまたはゲーム機などが接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき パソコンまたはゲーム機などと100Mbpsでデータ送受信中	
	赤 点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき パソコンまたはゲーム機などと10Mbpsでデータ送受信中	

1-3 各部の名前とはたらき

WL54SC（無線 LAN カード）

ワイヤレスセット（SC）にのみ添付されています。



① PC カードコネクタ

パソコンのPCカードスロットに差し込みます。

(注)ドライバのインストール時は、ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

② PWR ランプ（電源）／ACT ランプ（通信表示）

【ランプ表示】

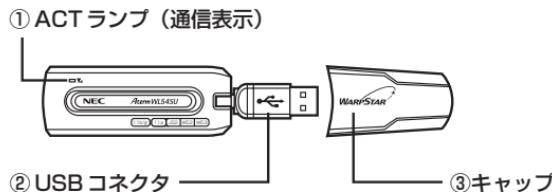
PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL54SC（無線 LAN カード）の状態
2つのランプが同時に青点滅	通信中 (通信量により点滅速度が変化します)
2つのランプが同時に遅く青点滅	通信待機中 (通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません)
2つのランプが交互に遅く青点滅	無線 LAN アクセスポイント（親機）をサーチ中（無線接続が確立されていません）
PWR ランプのみ青点滅 (ACT ランプ消灯)	電源が入っていないとき (無線接続設定がされていないとき、またはドライバ無効の状態)

● お願い

- PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。
- WL54SC（無線 LAN カード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernet ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。
- WL54SC（無線 LAN カード）は、無線 LAN 端末（子機）専用です。無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご使用になることはできません。

WL54SU (無線USBスティック)

ワイヤレスセット (SU) にのみ添付されています。



① ACTランプ

通信可能状態および、データ通信中に青色で点滅します。

② USBコネクタ

パソコンのUSBポートに差し込み接続します。

③ キャップ

使用するときは、キャップを外してください。

1

お使いになる前に

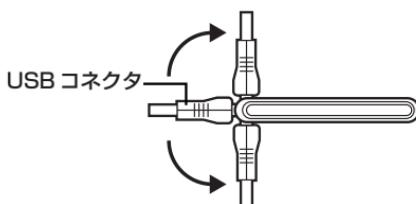
○お願い

- WL54SU (無線USBスティック) を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス (Ethernetポートデバイスなど) とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。



○お知らせ

- USBコネクタは、下のように折り曲げたり、回転して使用できます。
- 回転させるときは、無理な方向に力を加えないようにしてください。故障や破損の原因となります。

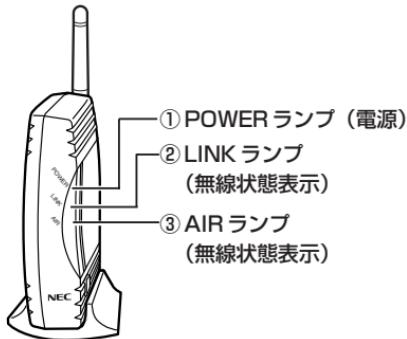


1-3 各部の名前とはたらき

WL54SE (ETHERNET ボックス)

ワイヤレスセット (SE) にのみ添付されています。

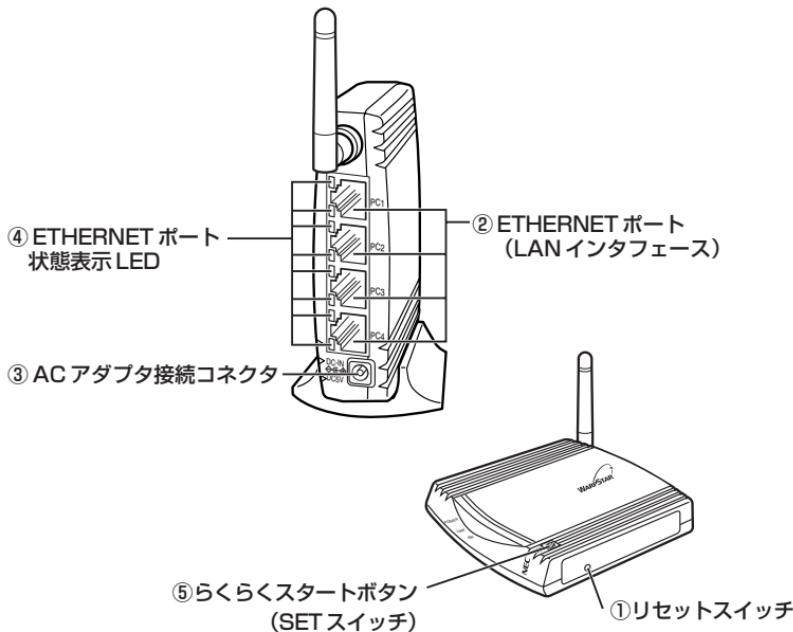
● 前面図



[ランプ表示]

ランプの種類	点灯状態		WL54SE (ETHERNETボックス) の状態
① POWERランプ (電源)	緑	点灯	電源が入っているとき
		点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき (☞P5-46)
	橙	点灯	ファームウェアをバージョンアップしているとき、または らくらく無線スタートの設定が完了したとき
		点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき (☞P5-46)
	赤	点灯	らくらく無線スタートの設定が失敗したとき
		点滅	初期化準備状態のとき
	消灯		電源が入っていないとき
② LINKランプ (無線状態表示)	緑	点灯	IEEE802.11g + b モードで無線アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき
	橙	点灯	IEEE802.11a モードで無線アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき
	消灯		無線 LAN アクセスポイント（親機）とのリンクが確立さ れていないとき
③ AIRランプ (無線状態表示)	緑	点滅	無線 LAN でデータ送受信中
	赤	点滅	WL54SE の DHCP サーバが動作しているとき
	消灯		無線 LAN でデータ送受信がないとき

●背面図／底面図



名 称	説 明		
① リセットスイッチ (RESET)	初期化するときに使用します。		
② ETHERNET ポート (PC1 ~ PC4)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。		
③ AC アダプタ接続 コネクタ	添付のWL54SE用ACアダプタを接続します。		
④ ETHERNET ポート 状態表示LED	緑	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと100Mbpsでデータ送受信中
	赤	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと10Mbpsでデータ送受信中
⑤ らくらくスタートボタン(SET スイッチ)	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。(☞P5-46) クイック設定Webで設定を行う際、DHCPサーバ機能を動作させるときに使用します。(☞P5-50)		

1 お使いになる前に

1-4 あらかじめ確認してください

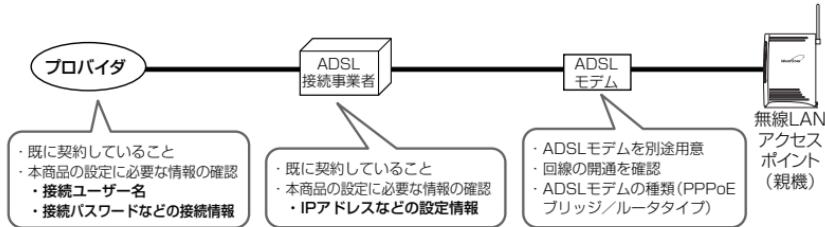
本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

■ ADSL 接続の場合

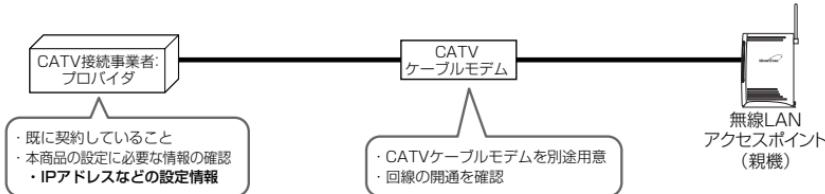
ADSL 接続をご利用になる場合は、あらかじめ、ADSL 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。

※ ADSL 接続事業者によっては、プロバイダ契約が不要な場合があります。



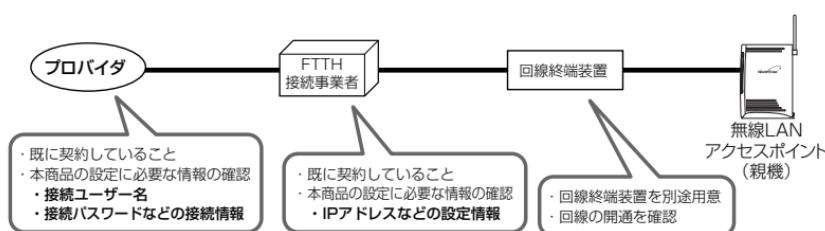
■ CATV（ケーブルテレビ）インターネット接続の場合

CATV インターネット接続をご利用になる場合は、あらかじめ CATV インターネット接続事業者との契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。



■ FTTH 接続の場合

FTTH サービスをご利用になる場合は、あらかじめ FTTH サービスの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。



※ 接続できるサービスについては、ホームページ AtermStation の「サポートデスク」 - 「動作検証情報」にある「接続確認済プロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること (☞P1-26)
- プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止

本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに有線で接続する場合、WL54SE（ETHERNET ボックス）から無線で接続する場合〉

- イーサネットポート（ETHERNET ポート（LAN ポート）を装備していること

お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。

- TCP/IP プロトコルスタックに対応していること

必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合のインストール方法はホームページに掲載されている「⑩機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

- パソコンのネットワークの設定を確認すること (☞P1-20)

- WL54SE（ETHERNET ボックス）にゲーム機を接続し、ゲームを使用するときは WL54SE（ETHERNET ボックス）と接続機器の間にハブなどを接続しないでください。

〈WL54SC（無線 LAN カード）から無線で接続する場合〉

- CardBus（カードバス）準拠の PC カードスロットが装備されていること

〈WL54SU（無線 USB スティック）から無線で接続する場合〉

- USB ポート（USB2.0 推奨）を装備していること

※USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンは AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。WL54SU（無線 USB スティック）の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

〈接続可能な機器〉

OS など	無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポート	WL54SC（無線 LAN カード）	WL54SE（ETHERNET ボックス）	WL54SU（無線 USB スティック）
Windows®	○	○ Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional (日本語版)のみ	○	○ Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional (日本語版)のみ
Macintosh	○	×	○	×
その他 OS (Linux など)	○	×	○	×
ゲーム機	○	×	○	×

● お願い

- OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

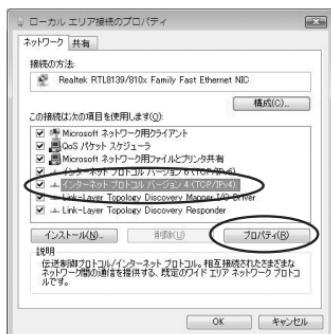
1-4 あらかじめ確認してください

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows Vista™の場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [OK] または [閉じる] をクリックする



お知らせ

- Windows Vista™の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows Vista™の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

Windows® XPをご利用の場合

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

The screenshot shows the 'Internet Protocol (TCP/IP) Properties' dialog box. It has two main sections: 'Obtain IP address automatically' and 'Obtain DNS server address automatically'. Both checkboxes are checked. There are also fields for 'IP Address', 'Subnet mask', and 'Default gateway'.
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] をクリックする

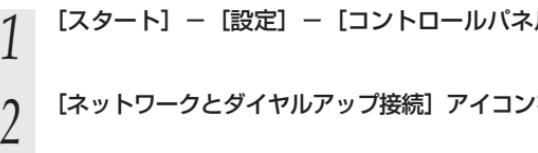
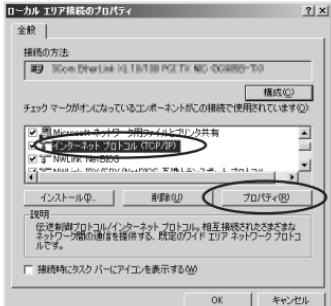
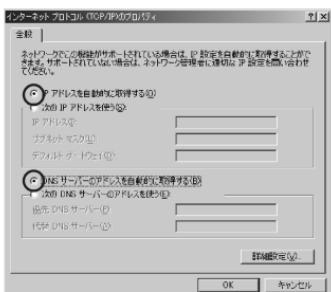


お知らせ

- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

1-4 あらかじめ確認してください

Windows® 2000 Professionalをご利用の場合

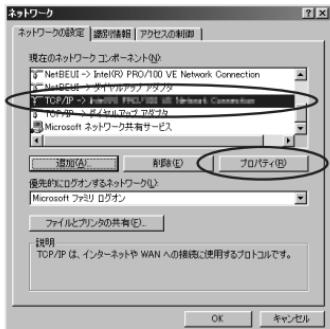
- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
 - 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする
 - 3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
 - 4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
 - 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
 - 6 [OK] をクリックする
 - 7 [OK] をクリックする
- 
- 
- 

Windows® Me/98SE/98をご利用の場合

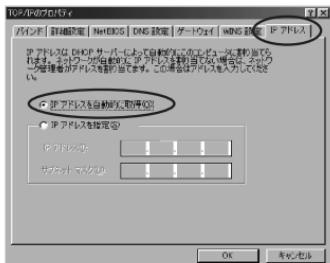
1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

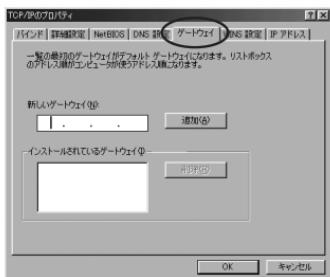
3 リストの [TCP/IP-> (お使いの LAN カードまたはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する

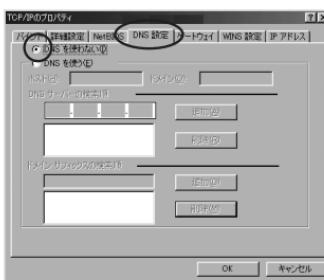


1

お使いになる前に

1-4 あらかじめ確認してください

- 6 [DNS 設定] タブをクリックし、
[DNS を使わない] を選択する



- 7 [OK] をクリックする

- 8 [OK] をクリックする
画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

Mac OS Xをご利用の場合

- 1 アップルメニューの【システム環境設定】 - 【ネットワーク】アイコンをクリックする
- 2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[TCP/IP] タブをクリックする
- 3 [IPv4 の設定] (または [設定]) を [DHCP サーバを参照] にする
- 4 [DHCP クライアント ID] と [DNS サーバ]、[検索ドメイン] を空白にする

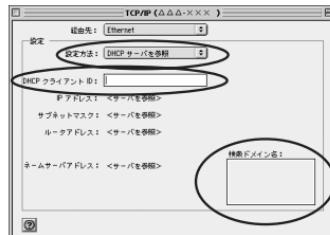


画面は、Mac OS X (v10.4 Tiger) の例です。

- 5 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Mac OS 9.x/8.xをご利用の場合

- 1 アップルメニューの【コントロールパネル】 - 【TCP/IP】を開く
- 2 [経由先] を [Ethernet] にする
- 3 [設定方法] を [DHCP サーバを参照] にし、[DHCP クライアント ID] と [検索ドメイン名] を空白にし、
ウィンドウを閉じる
画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。
- 4 確認のダイヤログが表示されたら [保存] をクリックする
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。



1

お使いになる前に

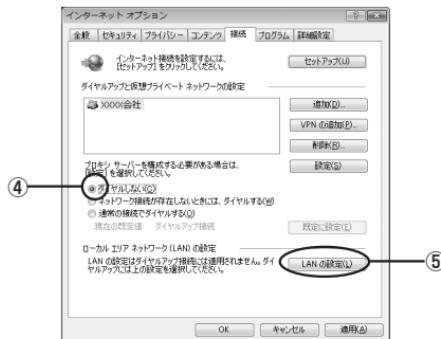
1-4 あらかじめ確認してください

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ (Internet Explorer など) の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

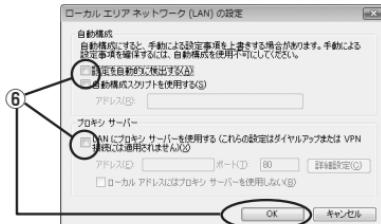
以下は Windows Vista™で Internet Explorer Ver.7.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境(プロバイダやソフトウェアなど)によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer を起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。



- ⑤ [LAN の設定] をクリックする。
- ⑥ 「設定を自動的に検出する」と [LAN にプロキシサーバーを使用する] の を外して [OK] をクリックする。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。



お知らせ

- プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript® の設定を確認する

WWW ブラウザ（クリック設定 Web）で設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows Vista™で Internet Explorer Ver.7.0を使用している場合の例です。なお、Windows® XP/2000 Professional/Me/98で設定する場合や Internet Explorer Ver.5.5以上を使用している場合にも、下記と同様の手順で設定できます。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [クラシック表示] – [インターネットオプション] をダブルクリックする

※ Windows® XP の場合は、[スタート] – [コントロールパネル] – [クラシック表示に切り替える] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

※ Windows® 2000 Professional/Me/98 の場合は、[スタート] – [設定] – [コントロールパネル] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す



1-4 あらかじめ確認してください

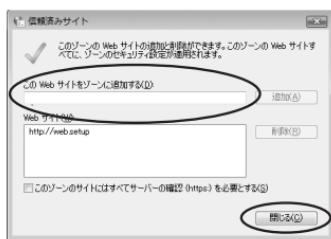
- 5 [この Web サイトをゾーンに追加する] に「<http://web.setup/>」を入力し、[追加] をクリックして、[閉じる] をクリックする

※ Internet Explorer Ver.6 以前をご使用の場合は、[次の web サイトをゾーンに追加する] に [<http://web.setup/>] を入力し、[追加] をクリックして、[OK] をクリックします。

※ IP アドレス (工場出荷時は 192.168.0.1) を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。

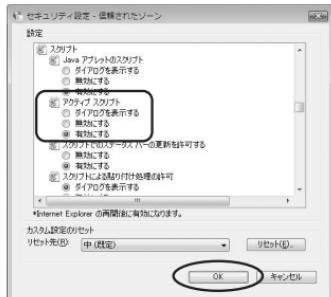
(例：「192.168.0.1」)

無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合や IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。



- 6 [レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き▼ (矢印) をクリックし、画面をスクロールする

- 7 [アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 8 [OK] をクリックする

Windows® で Netscape® をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional/Me で設定する場合や Netscape® 7.0 以上を使用している場合にも、下記と同じ手順で設定できます。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーの [編集] – [設定] をクリックする

3 [カテゴリ] の中から [詳細] – [スクリプトとプラグイン] をクリックする

4 [JavaScript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる

5 [OK] をクリックする

1

お使いになる前に

1-4 あらかじめ確認してください

Mac OS XでInternet Explorerをご利用の場合

以下は、Mac OSでInternet Explorer Ver.5.1を使用している場合の例です。なお、Internet Explorer Ver.5.1以上を使用している場合にも、下記と同じ手順で設定できます。

- 1 Internet Explorerを起動してメニューバーの【Explorer】から【環境設定】をクリックする
- 2 【Webブラウザ】から【セキュリティゾーン】をクリックする
- 3 【ゾーン】から【信頼済みサイトゾーン】をクリックする
- 4 【サイトの追加】をクリックする
- 5 【追加】をクリックする
- 6 「<http://web.setup/>」と入力する
※ IPアドレス（工場出荷時は192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。（例：「192.168.0.1」）
無線LANアクセスポイントモードに設定した場合やIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。
- 7 【このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする】のチェックを外す
- 8 【Webブラウザ】から【Webコンテンツ】をクリックする
- 9 【アクティブコンテンツ】で、【スクリプトを有効にする】にチェックを入れる
- 10 【OK】をクリックし、メニューバーの【Explorer】から【Explorer終了】をクリックする



Mac OS で Netscape® をご利用の場合

以下は、Mac OSでNetscape® 7.1を使用している場合の例です。なお、Mac OSでNetscape® 6.1以上を使用している場合にも、下記と同じ手順で設定できます。

- 1 Netscape® を起動する
 - 2 メニューバーの [Netscape] - [環境設定] をクリックする
 - 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする
 - 4 [JavaScript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックする
 - 6 メニューバーの[Netscape]から[Netscape 終了]をクリックし、Netscape® を終了させる

* Netscape® を一度終了させないと、設定は反映されません。

1 使いになる前に

導入編

インターネットに接続しよう

導入編

設定方法について	導入-1
セットアップの流れ	導入-2
2章 WARPSTAR に接続しよう	2-1
3章 クイック設定 Web で WARPSTAR の 設定を行う	3-1
4章 インターネットに接続する	4-1

- Windows Vista™ は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

設定方法について

無線 LAN で設定する場合には、「つなぎかたガイド」を参照して①らくらく無線スタート→②クリック設定 Web の順で設定してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから設定する場合は、クイック設定 Web で設定します。

1 ●らくらく無線スタートで設定する

WL54SC（無線 LAN カード）／WL54SU（無線 USB スティック）／WL54SE（ETHERNET ボックス）を接続する場合の設定方法です。

無線 LAN カード、無線 USB スティックのドライバのインストールや無線設定を簡単に行なうことができます。

- ・WL54SC（無線 LAN カード）／WL54SU（無線 USB スティック）の場合、サテライトマネージャのインストールが必要です。

＜サテライトマネージャが使用できるパソコン＞

Windows Vista™およびWindows® XP/2000 Professional/Me (日本語版)

※WL54SC（無線LANカード）、WL54SU（無線USBスティック）はWindows® Meではご使用になれません。

※音声ガイドを再生するには、パソコンにWAVファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。

※Windows VistaTMまたはWindows[®] XP (Service Pack 2以降)を搭載したパソコンの場合、無線LAN内蔵パソコンなどでもらくらく無線スタートEXで設定することができます。

2 ● クイック設定 Web (WWW ブラウザ) で設定する

WWW ブラウザの画面で、ドライバのインストール以外の本商品のすべての設定が行えます。

本商品をご購入後、はじめてクリック設定 Webを開くと「らくらく Web ウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行うことができます。

※クリック設定Webからの設定では、WL54SC（無線LANカード）／WL54SU（無線USBスティック）のドライバのインストールが行えません。WL54SC（無線LANカード）／WL54SU（無線USBスティック）から設定を行う場合は、WL54SC（無線LANカード）／WL54SU（無線USBスティック）のドライバのインストール後、らくらく無線スタートなどで無線LANアクセスポイント（親機）との通信が確立してからクリック設定Webでの設定を行ってください。

＜設定できる WWW ブラウザ＞

Windows Vista™の場合

Microsoft Internet Explorer Ver.7.0
以上に対応

Windows®XP/2000
Me/98SE/98 の場合

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5
以上に対応

Netscape 6.1 以上に対応

Mac OS X/9.x/8 の場合 Microsoft Internet Explorer Ver.5.0

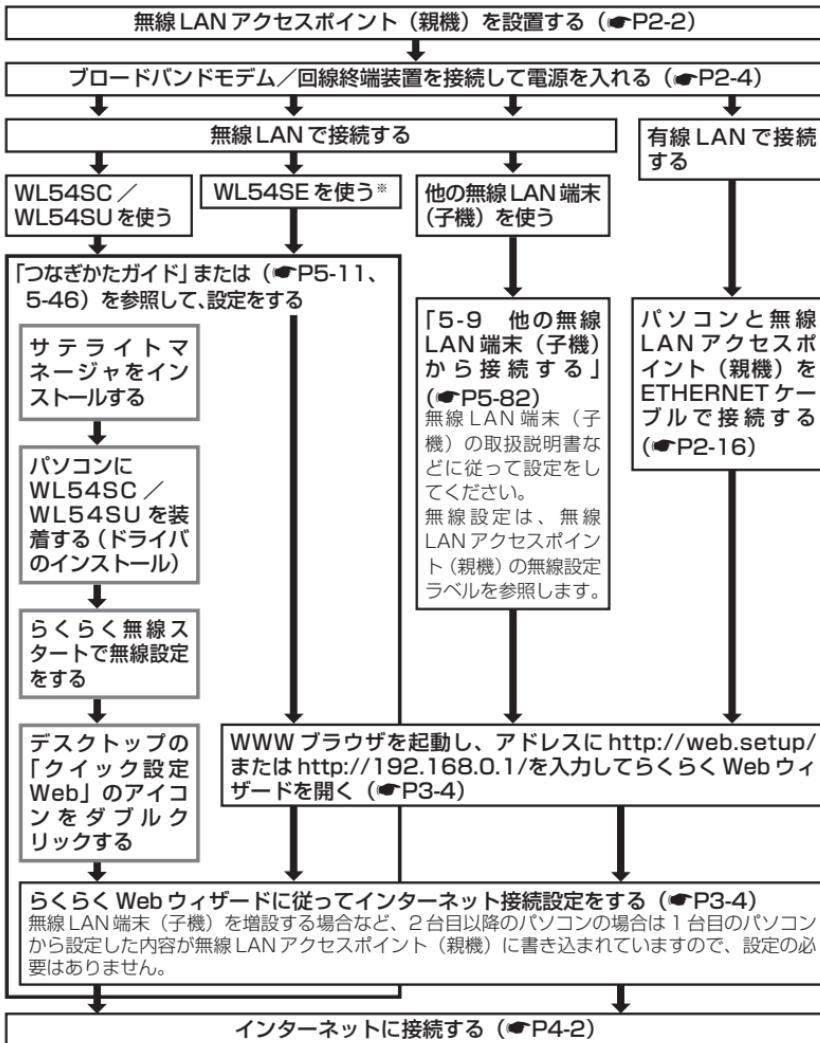
Netscape 6.01 以上に対応

PlayStation®2用"PlaySt
Navigator Ver.0.31
(PSP-1100/1101/1102)



セットアップの流れ

本商品を接続してインターネットに接続できるようになるまでの流れです。



*ワイヤレスセット(SE)では、WR7850S(親機)とWL54SE(ETHERNETボックス)の無線設定を設定済みで出荷していますので、らくらく無線スタートの設定は不要です。

2

WARPSTARに接続しよう

2

2-1	無線LANアクセスポイント（親機） を設置する	2-2
2-2	接続して電源を入れる	2-4
2-3	無線LAN端末（子機）を接続する場合	2-8
2-4	有線で接続する場合	2-16

2-1 無線 LAN アクセスポイント（親機）を設置する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の置き場所を決めよう

無線 LAN アクセスポイント（親機）には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）はブロードバンドモ뎀／回線終端装置のそばに置こう
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）用の電源コンセントはありますか？
電源コンセントを確保しましょう。
- 無線 LAN 端末（子機）は無線 LAN アクセスポイント（親機）から無線で電波の届く距離に置こう
設定するときは無線 LAN アクセスポイント（親機）のそばで設定しましょう。



お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。

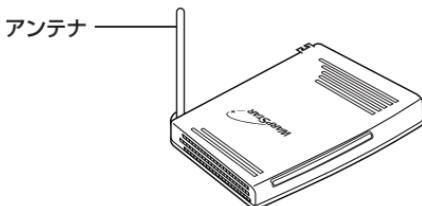
■ 縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。



■横置きの場合

図のように設置し、アンテナを立てます。



2

W
A
R
P
S
T
A
R
に
接
続
し
よ
う

● お願い

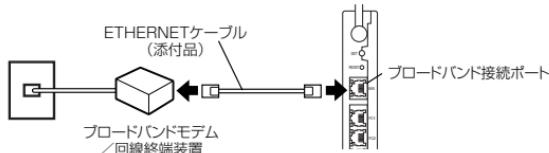
- 縦置きで設置の際は、両側に20mm（スタンドの幅）以上のスペースを確保してください。
- 狹い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり、火災の原因となることがあります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

2-2 接続して電源を入れる

あらかじめブロードバンドモード／回線終端装置に直接パソコンを接続してインターネット接続できることを確認しておくことをお勧めします。

1 ブロードバンドモード／回線終端装置に接続する

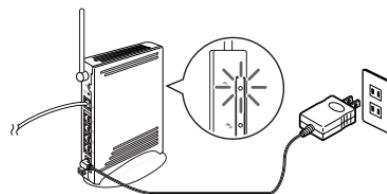
無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートとブロードバンドモード／回線終端装置を ETHERNET ケーブルで接続します。



2 ACアダプタを無線 LAN アクセスポイント（親機）に取り付ける

3 ACアダプタを壁の電源コンセントに接続する

POWER ランプが緑点灯します。

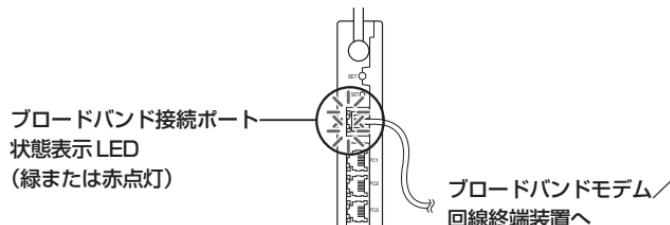


※ACアダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

※ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ（電源プラグ）は他の製品に使用しないでください。

4 背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯していることを確認する

ランプが正しく点灯しない場合は、P2-5 を参照してください。



お願い

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。



プロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯しないときは

プロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯しないときは、無線LANアクセスポイント（親機）とプロードバンドモ뎀／回線終端装置が正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

① ETHERNETの接続を確認する

無線LANアクセスポイント（親機）のプロードバンド接続ポートがプロードバンドモ뎀または回線終端装置にETHERNETケーブルで正しく接続されているか確認してください。

プロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

② ETHERNETケーブルの規格が正しいか確認する

接続に使用しているケーブルが「ETHERNETケーブル（カテゴリー5）」であることを確認してください。（☞P7-4）

③ プロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源が入っているか確認する

④ 無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っているか確認する

①～④を行っても問題が解決しない場合は、以下の確認をしてください。

無線LANアクセスポイント（親機）のプロードバンド接続ポートと無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポート(PC1)を添付のETHERNETケーブルで接続してみる。

プロードバンド接続ポート状態表示LEDが

点灯する場合 ……無線LANアクセスポイント（親機）は、問題ありません。

プロードバンドモ뎀／回線終端装置が故障している可能性があります。

点灯しない場合 ……無線LANアクセスポイント（親機）を初期化してみてください。

それでも解決しない場合は無線LANアクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。



お知らせ

- プロードバンド接続ポートは、ストレート、クロスタイプのETHERNETケーブルを自動認識できます。(Auto MDI-X 対応)
- PPPoE の外付けプロードバンドモ뎀を使用するとき、プロードバンドモ뎀に付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はプロードバンドモ뎀に付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。

（！）ブロードバンドモデムの種類と無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードについて

ブロードバンドモデムによって設定する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モード（PPPoE モード、ルータモード（ローカルルータモード）、無線 LAN アクセスポイントモード）が異なりますので、あらかじめ確認しておきましょう。実際の設定は、らくらく Web ウィザード、クリック設定 Web の設定の中で行います。

＜回線種別と動作モード＞

接続事業者（例）（敬称略）	らくらく Web ウィザード／クリック設定 Web の設定	
	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能	PPPoE 接続機能
B フレッツ	使用する（ルータモード） ※ルータ内蔵モデムでは、使用しない（アクセスポイントモード）を推奨	使用する
フレッツ・ADSL		
フレッツ・光プレミアム	使用しない（アクセスポイントモード）	ー（使用しない）
ひかり one (旧：TEPCO ひかり) ※ 1	使用する（ルータモード）	使用する
eo ホームファイバー		
commuf@ ※ 1		
MEGA EGG ※ 1		
BBIQ ※ 3		
Yahoo!BB	使用する（ルータモード） ※無線 LAN バック適用時はアクセスポイントモード推奨	ー（使用しない）
ひかり one (旧：光プラス)	使用しない（アクセスポイントモード）	ー（使用しない）
メタルプラス		
イー・アクセス	使用しない（アクセスポイントモード）	ー（使用しない）
アッカ・ネットワークス		
USEN ※ 1 ※ 2	使用する（ルータモード）	ー（使用しない）
CATV ※ 1		

※ 1 これらの接続事業者で IP 電話を利用している場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能は、「使用しない（アクセスポイントモード）」でのご利用をお勧めします。

※ 2 フレッツ回線の場合は、PPPoE 接続機能を「使用する」に設定してください。

※ 3 この接続事業者で 050 番号の IP 電話を利用している場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能を「使用しない（アクセスポイントモード）」に設定してください。050 番号以外の IP 電話を利用している場合は、ルータ機能を「使用する（ルータモード）」、PPPoE 接続機能を「使用する」に設定してください。

※ ルータモード（ローカルルータモード）と無線 LAN アクセスポイントモードの使い分け、お勧めの環境については P2-7 を参照してください。



お知らせ

- ルータモード（ローカルルータモード）と無線LANアクセスポイントモードでは次のような違いがあります。

ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

<ルータモード（ローカルルータモード）と無線LANアクセスポイントモードの使い分け>

お勧めの環境		制限事項など	
		ルータ機能（パケットフィルタ、ポートマッピングなど）	無線LANアクセスポイント（親機）の設定（サテライトマネージャの親子同時設定など）
ルータモード (ローカルルータモード)	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。	設定を行えます。
無線LANアクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスルーブットを十分に引き出せない場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	設定した無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを指定する必要があります。

- WAN側に接続するルータのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合は、無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを変更する必要があります。（☞P6-12）

● PPPoE機能について

フレッツ・ADSL、BフレッツなどPPPoEブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

2-3 無線 LAN 端末（子機）を接続する場合

ここでは無線 LAN 端末（子機）を接続する場合の注意事項などについて説明しています。実際の無線 LAN 端末（子機）の接続や設定は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL54SC（無線 LAN カード）で無線 LAN 接続する場合

WL54SC（無線 LAN カード）をパソコンに接続するときは、①ドライバのインストール→②無線 LAN の設定の順で設定を行っていきます。実際の手順は「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL54SC（無線 LAN カード）を接続できるのは Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professionalのみです。Macintosh ではご利用になれません。

WL54SC（無線 LAN カード）は、CardBus 準拠の PC カードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

● お願い

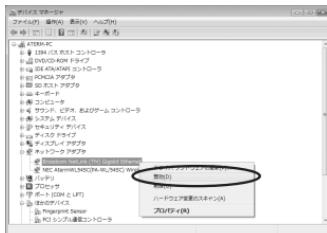
- WL54SC（無線 LAN カード）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前に WL54SC（無線 LAN カード）を差し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- 他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンで、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させていない場合は、WL54SC（無線 LAN カード）のドライバが正しくインストールできないことや、正しく通信できないことがあります。他の無線 LAN カードや LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。（☞P2-9、2-10、2-11）
- 無線 LAN 内蔵パソコンに WL54SC（無線 LAN カード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線 LAN の【デバイスマネージャ】の【ネットワークアダプタ】にある内蔵無線アダプタを【無効】に設定してからご使用ください。
- サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL54SC（無線 LAN カード）をパソコンに挿入して、ハードウェアイザードが起動した場合は、【キャンセル】をクリックし、WL54SC（無線 LAN カード）を取り外してください。
- あとから WL54SC（無線 LAN カード）を追加で購入した場合は、本商品に添付の CD-ROM を使用してください。
- WL54SC（無線 LAN カード）と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

⑦ 他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンで、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させない場合は、無線 LAN 端末（子機）が使用できない場合があります。以下の操作で他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

〈Windows Vista™の場合〉

- ① [スタート]（Windows® のロゴボタン）— [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システムとメンテナンス] — [システム] をクリックする
- ③ [タスク] 欄の [デバイスマネージャ] をクリックする
- ④ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする
- ⑤ [ネットワーク アダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



- ⑦ [はい] をクリックする

2
W
A
R
P
S
T
A
R
に
接
続
し
よ
う

2-3 無線 LAN 端末（子機）を接続する場合

？他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows® XP の場合〉

- ① [スタート] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ③ [システム] アイコンをダブルクリックする
- ④ [ハードウェア] タブをクリックする
- ⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする
- ⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



- ⑧ [はい] をクリックする

〈Windows® 2000 Professional の場合〉

- ① [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システム] アイコンをダブルクリックする
- ③ [ハードウェア] タブをクリックする
- ④ [デバイスマネージャ] をクリックする
- ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



- ⑦ [はい] をクリックする

⑦他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows® Me の場合〉

※ WL54SC（無線 LAN カード）、WL54SU（無線 USB アダプタ）は Windows® Me ではご利用になれません。

- ① [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システム] アイコンをダブルクリックする
- ③ [デバイスマネージャ] タブをクリックする
- ④ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、[プロパティ] をクリックする



- ⑥ [全般] タブの [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックし、[OK] をクリックする

2

W
A
R
P
S
T
A
R
に
接
続
し
よ
う

WL54SU（無線 USB スティック）で無線 LAN 接続する場合

WL54SU（無線 USB スティック）をパソコンに接続するときは、①ドライバのインストール→②無線 LAN の設定の順で設定を行っていきます。実際の手順は「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL54SU を無線 LAN 端末（子機）としてご利用になれる OS は、Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional のみです。Macintosh ではご利用になれません。WL54SU（無線 USB スティック）は、USB ポート（USB2.0 推奨）を装備したパソコンに取り付けることができます。

● お願い

- USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンは AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。WL54SU（無線 USB スティック）の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。
- WL54SU（無線 USB スティック）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前に WL54SU（無線 USB スティック）を挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- 他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンで、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させていない場合は、WL54SU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールできないことがあります。LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。
- 無線 LAN 内蔵パソコンに WL54SU（無線 USB スティック）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線 LAN の【デバイスマネージャ】の【ネットワークアダプタ】にある内蔵無線アダプタを【無効】に設定してからご使用ください。
- サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL54SU（無線 USB スティック）をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、【キャンセル】をクリックして、WL54SU（無線 USB スティック）を取り外してください。
- WL54SU（無線 USB スティック）と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
- WL54SU（無線 USB スティック）の USB コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- USB コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- WL54SU（無線 USB スティック）の USB コネクタを無理に折り曲げたり、無理に回転させたりしないでください。
- 隣り合う USB ポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合があります。また、USB インタフェースに WL54SU（無線 USB スティック）を接続した場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。
- WL54SU（無線 USB スティック）と WL54SC などの無線 LAN カードを同時に使用することはできません。同時に接続してしまった場合は、両方をいったん取り外して接続し直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから接続し直してください。

WL54SE (ETHERNET ボックス) で無線 LAN 接続する場合

WL54SE (ETHERNET ボックス) をパソコンに接続するときは、①設置→②パソコンとの接続→③無線 LAN の設定の順で設定を行っていきます。

実際の手順は「5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する」(☞P5-46) を参照してください。

■ 縦置きの場合

1

添付のラバーシートを縦置きスタンド裏面に貼り付ける

貼り付けたあと、ラバーシート（添付品）表面のフィルムをはがしてご使用ください。



2

接続しよう
WARP STAR



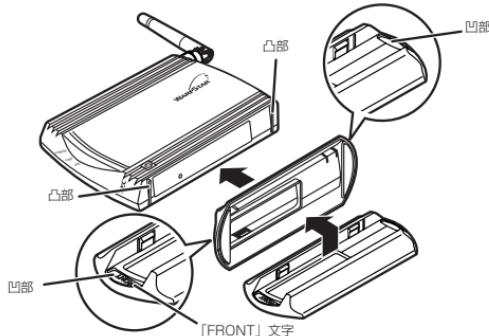
- ラバーシート（添付品）は設置のための仮固定用であり、固定を保証するものではありません。過度の荷重を加えたり、ケーブルを引っ張ったりした場合に設置した床から離脱するおそれがあります。
- ほこり・ゴミなどがラバーシート（添付品）に付着すると床への密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。
- ラバーシート（添付品）をご使用にならない場合には、お子さまの手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。

2-3 無線 LAN 端末（子機）を接続する場合

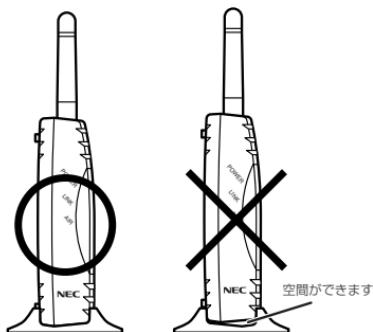
2

縦置きスタンドを取り付ける

縦置きスタンドは、「FRONT」文字のある方を WL54SE の前になるように装着してください。



- WL54SEの凸部が、縦置きスタンドの凹部にはまり込むように装着してください。
- WL54SEの前から見ると、右図のようになります。

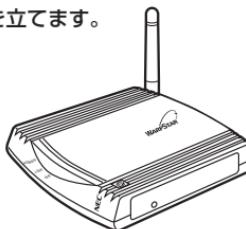


3

設置の際は無線状態を最適にするため、アンテナが垂直になるように設置する

■横置きの場合

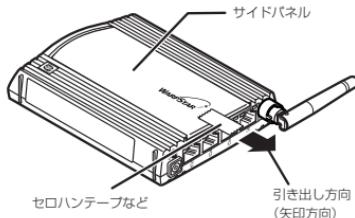
図のように設置し、アンテナを立てます。



WL54SEのサイドパネルの取り外し方、取り付け方

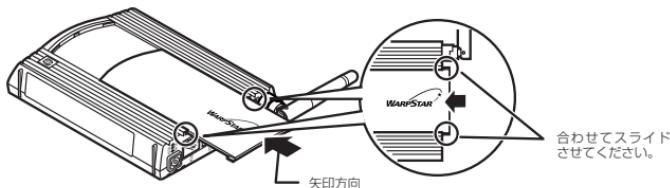
<取り外し方>

サイドパネルを取り外す際には、右図のよう にサイドパネルの端にセロハンテープなどを貼り付け、右図の「引き出し方 向（矢印方向）」にセロハンテープなどで引き出すと簡単に取り外すことができます。



<取り付け方>

サイドパネルを下図の「矢印方向」にスライドさせて装着してください。



2

 WARPSTARに
接続しよう

2-4 有線で接続する場合

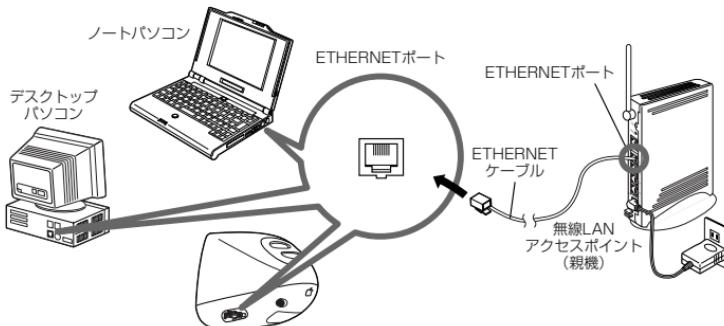
無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートにパソコンを接続する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートにパソコンを接続するときは、①パソコンの接続→②インターネット接続の設定の順で設定を行っていきます。インターネット接続の設定は、[クイック設定 Web] で行います。

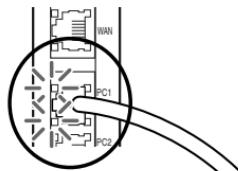
1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートとパソコンの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで接続する

ETHERNET ポートに力ちと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロツクがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



2 無線 LAN アクセスポイント（親機）とパソコンの電源が入っていることを確認して、ETHERNET ポート状態表示 LED が緑または赤点灯することを確認する



お願い

- あらかじめ、お使いのパソコンに LAN カード／LAN ボードの組み込みとネットワークコンポーネントのインストールをしておく必要があります。LAN カード／LAN ボードの組み込みは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

3

クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う

3

設定の流れ 3-2

3-1 クイック設定 Web で設定を行うには 3-3

3-2 インターネット接続のための基本設定 3-4

3-3 複数の接続先に接続する設定

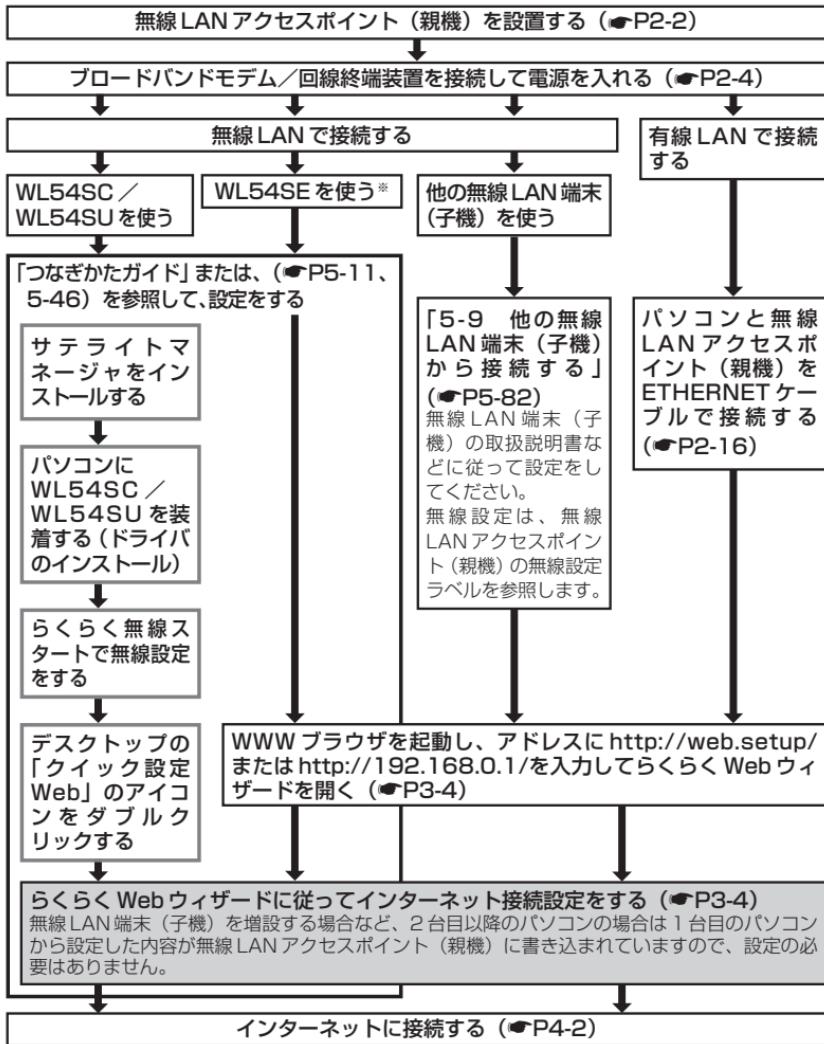
(PPPoE マルチセッション) 3-12

設定の流れ

3 章では、無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web をはじめて開いたときに表示される「らくらく Web ウィザード」でインターネットに接続するまでの設定を説明しています。

※無線 LAN 端末（子機）を接続する場合は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

※WL54SE（ETHERNET ボックス）のクイック設定 Web での設定方法については「5-3 WL54SE（ETHERNET ボックス）を設定する」（☞P5-46）を参照してください。



※ワイヤレスセット（SE）では、WR7850S（親機）とWL54SE（ETHERNET ボックス）の無線設定を設定済みで出荷していますので、らくらく無線スタートの設定は不要です。

3-1 クイック設定 Web で設定を行うには

無線 LAN アクセスポイント（親機）を接続する

クリック設定 Web で設定を行うには、あらかじめ無線 LAN アクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線 LAN アクセスポイント（親機）のETHERNET ポートに接続する場合 (☞P2-16)
ゲーム機を接続する場合 (☞P5-69)

無線 LAN 端末（子機）から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

クイック設定 Web を利用するための準備

無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続できているかどうかは、IP アドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

■ Windows Vista™ および

Windows® XP/2000 Professional の場合

- ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [(すべての) プログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② “ipconfig /renew” を入力して [Enter] キーを押す
- ③ IP アドレス (IP Address または IPv4 アドレス) が “192.168.0.XXX” になることを確認する

■ Windows® Me/98SE/98 の場合

(※WL54SC、WL54SU は Windows® Me/98SE/98 ではご利用になれません。)

- ① [スタート] – [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- ② “winipcfg” を入力して [OK] をクリックする
- ③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウインドウの ▾ をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続しているネットワークアダプタ名を選択する
- ④ [すべて解放] をクリックする
- ⑤ [書き換え] をクリックする
- ⑥ IP アドレスが “192.168.0.XXX” になることを確認する
- ⑦ [OK] をクリックする

■ Mac OS X の場合

- ① アップルメニューから [システム環境設定] – [ネットワーク] アイコンを選択する
- ② IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する

■ Mac OS 9.x/8.x の場合

- ① アップルメニューから [コントロールパネル] – [TCP/IP] を選択する
- ② IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する

3-2 インターネット接続のため の基本設定

クイック設定 Web をはじめて起動する場合には、らくらく Web ウィザードが起動します。らくらく Web ウィザードでは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続した回線ごとに動作モードを設定し、インターネットの接続先を登録します。

● お願い

- クイック設定 Web が起動しない場合は、パソコンのネットワークの設定を見直してください。（☞P1-20）

● お知らせ

- クイック設定 Web、らくらく Web ウィザードが利用できる WWW ブラウザについては、「設定方法について」（☞P 導入-1）を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
- PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。
- PlayStation® BB Navigator を使ってクイック設定 Web で設定を行えるのは、「3-2 インターネット接続のための基本設定」のみです。それ以外の設定は正しく動作しない場合があります。

らくらく Web ウィザードで設定する

● お知らせ

- 以下の手順は既にらくらく Web ウィザードで本商品の設定が完了している場合は表示されません。
この場合のクイック設定 Web での設定の方法についてはホームページに掲載されている「☞機能詳細ガイド」を参照してください。

1 パソコンなどを起動する

- WWW ブラウザを起動し、
「<http://web.setup/>」と入力し、
クイック設定 Web のページを開く
無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP
アドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：<http://192.168.0.1>





サテライトマネージャをインストールした場合はデスクトップにある【クイック設定Web】のアイコンをダブルクリックします。

3 管理者パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。

一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

- 管理者パスワードは、無線LANアクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定がやり直しになります。



4 [設定] をクリックする

5 利用している接続回線を選択し、[次へ] をクリックする



6 ご使用の環境に合わせて動作モードとPPPoE機能の設定を行い、[次へ] をクリックする

回線種別と動作モードについては、次ページのお知らせを参照してください。



(次ページに続く)

3

クイック設定Web
WARPSTARの設定を行なう



お知らせ

●<回線種別と動作モード>

接続事業者（例）（敬称略）	らくらく Web ウィザード／クイック設定 Web の設定	
	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能	PPPoE 接続機能
Bフレッツ	使用する（ルータモード） ※ルータ内蔵モデルでは、使用しない（アクセスポイントモード）を推奨	使用する
フレッツ・ADSL	使用しない（アクセスポイントモード）	—（使用しない）
フレッツ・光プレミアム	—	—
ひかり one (旧：TEPCO ひかり) ※ 1	使用する（ルータモード）	使用する
eo ホームファイバー		
commuf@ ※ 1		
MEGA EGG ※ 1		
BBIQ ※ 3	—	—
Yahoo!BB	使用する（ルータモード） ※無線 LAN パック適用時はアクセスポイントモード推奨	—（使用しない）
ひかり one (旧：光プラス)	使用しない（アクセスポイントモード）	—（使用しない）
メタルプラス	—	—
イー・アクセス	使用しない（アクセスポイントモード）	—（使用しない）
アッカ・ネットワークス		
USEN ※ 1 ※ 2	—	—
CATV ※ 1	使用する（ルータモード）	—（使用しない）

※ 1 これらの接続事業者で IP 電話を利用している場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能は、「使用しない（アクセスポイントモード）」でのご利用をお勧めします。

※ 2 フレッツ回線の場合は、PPPoE 接続機能を「使用する」に設定してください。

※ 3 この接続事業者で 050 番号の IP 電話を利用している場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能を「使用しない（アクセスポイントモード）」に設定してください。050 番号以外の IP 電話を利用している場合は、ルータ機能を「使用する（ルータモード）」、PPPoE 接続機能を「使用する」に設定してください。

※ ルータモード（ローカルルータモード）と無線 LAN アクセスポイントモードの使い分け、お勧めの環境については P3-7 を参照してください。

- ルータモード（ローカルルータモード）と無線 LAN アクセスポイントモードでは次のような違いがあります。

ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

<ルータモード（ローカルルータモード）と無線 LAN アクセスポイントモードの使い分け>

お勧めの環境		制限事項など	
		ルータ機能（パケットフィルタ、ポートマッピングなど）	無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定（サテライトマネージャの親子同時設定など）
ルータモード (ローカル ルータモード)	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。	設定を行えます。
無線 LAN アクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	設定した無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを指定する必要があります。

- WAN 側に接続するルータの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを変更する必要があります。

(☞P6-12)

- PPPoE 機能について

フレッツ・ADSL、B フレッツなど PPPoE ブリッジタイプのブロードバンドモデルと接続する場合に設定します。

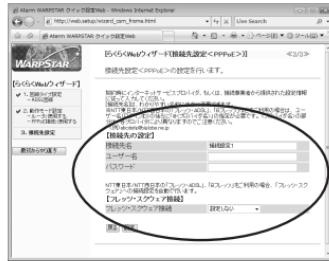
3-2 インターネット接続のための基本設定

7

表示される画面に合わせて、インターネット接続に必要な情報を入力する

●接続先設定〈PPPoE〉の場合（手順6で「PPPoE接続機能：使用する」を選択時）

- ①【接続先名】にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。
- ②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ユーザー名」
(例：XXXXXX@biglobe.ne.jpなど)と
「パスワード」を入力する。
接続事業者／プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。
- ③フレッツ・スクウェアの接続先登録を行うかどうかの選択をします。
※「B フレッツ」「フレッツ・ADSL」をご利用の場合のみ選択します。
静的ルーティングの設定も自動的に行われます。

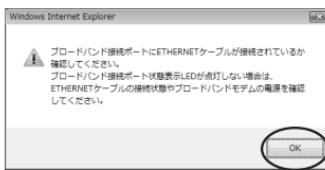


●接続先設定〈ローカルルーター〉の場合（手順6で「PPPoE接続機能：使用しない」を選択時）

ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。



次の画面が表示された場合は、無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンドモ뎀の接続を確認し、[OK]をクリックします。



DHCP クライアント機能 :

WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は「[使用する]」に します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックを外してください。

IP アドレス/ネットマスク :

接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイ :

接続事業者から指定されている場合は「[優先する]」の を外し、「[固定アドレス]」に入力します。特に指定されていない場合は特に指定する必要はありません。

プライマリ DNS / セカンダリ DNS :

サーバから自動で取得する場合は、「[優先する]」に します。接続事業者から指定されている場合は、チェックを外し、そのアドレスを入力します。

ドメイン名 / ホスト名 :

接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

●無線 LAN アクセスポイント設定の場合（手順 6 で「ルータ機能：使用しない」を選択時）

ご使用の環境に合わせて無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレス / ネットマスクを設定します。

(例) ルータタイプの ADSL モデムの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合

IP アドレス : 192.168.0.210 など

ADSL モデム
と同じ値

他の機器で
未使用の値

ネットマスク : 255.255.255.0

※フレッツ・光プレミアムに接続する際の
設定例は、画面の〈参考〉をご確認ください。

3

クイック設定 Web
WARPSTAR の設定を行なう



あとからクイック設定 Web のページを開くには、WWW ブラウザのアドレス欄に、ここで設定した IP アドレスを入力します。

例: <http://192.168.0.210/>
(<http://web.setup/> やデスクトップの「クイック設定 Web」のアイコンからは開けなくなりますのでご注意ください。)

3-2 インターネット接続のための基本設定

8

入力が完了したら、【設定】をクリックする

9

【OK】をクリックする



次の画面が表示された場合は、LAN側とWAN側のIPアドレスが競合しています。LAN側IPアドレスの設定を行い、【設定】をクリックしてください。

(例) 192.168.1.1など左から3つ目を変更します。



これでインターネット接続のための基本設定は完了です。「4-1 インターネットに接続する」(☞P4-2) に進みます。



インターネット接続の設定（らくらく Web ウィザード）をもう一度行いたい場合は

らくらく Web ウィザードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。もう一度設定する場合は、一度初期化してから設定を行ってください。(☞P6-28)

(初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。)

■ クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

設定方法については、ホームページに掲載されている「 機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

①パソコンなどを起動する

②WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く



無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。) 例：http://192.168.0.1/

無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、「①無線 LAN アクセス ポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」( P5-72) を参照してください。

③ユーザー名とパスワードを入力する

ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには手順 3 ( P3-5) で設定した管理者パスワードを入力してください。

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

*パスワード入力画面が表示されないときには、「WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない」( P6-8)



④ [OK] をクリックする



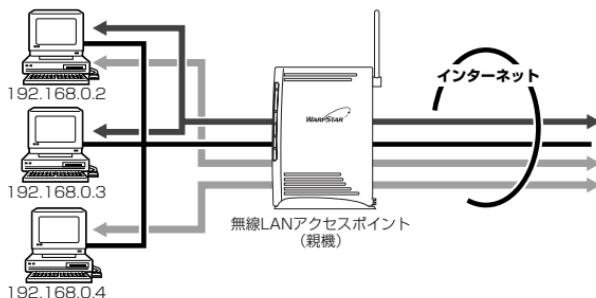
- クイック設定 Web の設定は、[登録] をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動してからでないと有効になりません。

3-3 複数の接続先に接続する設定 (PPPoE マルチセッション)

PPPoE マルチセッションとは、1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。

接続先の登録数は最大 5 頃所、同時接続可能セッション数は最大 3 頃所です。

本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。



接続先は、「優先する接続先（優先接続）」1 頃所とその他の接続先として 4 頃所までを設定できます。（例：一般的なフレッツ契約では 1 回線につき 2 セッションまで許容されています。）

また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「静的ルーティング設定」で、LAN 側から WAN 側へのパケット振り分けルールを設定します。

LAN 側から WAN 側へのパケットのうち、「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。

「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかったパケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。



お知らせ

一制限事項一

- PPPoE マルチセッションで本商品の UPnP 機能をご利用になる場合は、 UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。

UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。

※本商品の初期状態では、「接続設定 1」が UPnP 機能の優先接続先になっています。

クイック設定 Web で設定する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開けます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先設定」で、それぞれの接続先を設定する

※ここで複数の接続先を登録しておくと、接続先を切り替えて利用できます。(複数接続先切替機能)

5 「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先の選択設定」で、「接続可」の接続先と「優先接続」する接続先を選択する

ここで選択した「接続可」の接続先で、PPPoE マルチセッションを行うことができます。

6 「詳細設定」の ▼ をクリックし、「静的ルーティング設定」を選択する

7 下記を参考にしてパケットの振り分けルールを設定する

〈静的ルーティングの設定例〉

[エントリ番号]

編集するエントリ番号を選択します。

[指定方法]

ルーティングエンtryの指定方法を選択します。

宛先ドメイン名指定：宛先のドメイン名で指定します。

宛先IPアドレス指定：宛先の IP アドレスで指定します。

送信元アドレス指定：送信元のアドレスで指定します。



(次ページに続く)

3

W
A
R
P
S
T
A
R
の
設
定
を行
う

3-3 複数の接続先に接続する設定 (PPPoE マルチセッション)

[宛先ドメイン名]

ルーティング対象の宛先ドメイン名を指定します。

- 例：接続先の URL が、"http://www.aaa.bbb.co.jp" の場合
- ・宛先ドメイン名に「www.aaa.bbb.co.jp」を指定
→「www.aaa.bbb.co.jp」だけを見ることができます。
 - ・宛先ドメイン名に「.bbb.co.jp」または「*.bbb.co.jp」を指定
→「.bbb.co.jp」に該当するところをすべて見ることができます。
(例：ZZZ.bbb.co.jp、XXX.bbb.co.jp、yyy.bbb.co.jpなどのURL)
この場合は、「静的ルーティング設定」で設定した接続先で接続されます。
ただし、見ることができたホームページのリンク先でドメイン(IP アドレス)が変わった場合、そのドメイン名が設定されていなければ、正常なルーティングはできません。

[宛先 IP アドレス]

ルーティング対象の宛先 IP アドレスを指定します。

[ネットマスク]

ネットマスクを指定します。

[送信元アドレス]

ルーティング対象の送信元アドレスを指定します。

IP アドレス、または MAC アドレスが指定可能です。

ただし、MAC アドレスは、DHCP サーバ機能が有効時のみ適用されます。

[インターフェース]

「WAN 側」を選択します。

[ゲートウェイ]

ここでは指定しません。

インターフェースが「[LAN 側]」、「[仮想 DMZ 側]」のときゲートウェイを指定します。

[接続先]

接続先を選択します。

8 [編集] をクリックする

9 [最新状態に更新] をクリックする

10 [静的ルーティングエントリ] 欄で設定したエントリ番号に する

11 [静的ルーティングエントリ]欄で【適用】をクリックする

12 【登録】をクリックする



お知らせ

- 「静的ルーティングエントリ」は、下記に示すような順番で優先されます。

①指定方法が「送信元アドレス指定」で、なおかつエントリ番号順



②指定方法が「宛先ドメイン名指定」または「宛先IPアドレス指定」で、なおかつエントリ番号順

3

クイック設定Web
WARPSTARの設定を行う

4

インターネットに接続する

4

- | | | |
|-----|----------------|-----|
| 4-1 | インターネットに接続する | 4-2 |
| 4-2 | インターネット接続を切断する | 4-3 |

4 インターネットに接続する

らくらく Web ウィザードまたは、クリック設定 Web で接続設定が完了したら、インターネットに接続できるか確認してみましょう。

1 WWWブラウザを起動する

2 外部のホームページを開く

例) ホームページ AtermStation : <http://121ware.com/aterm/>

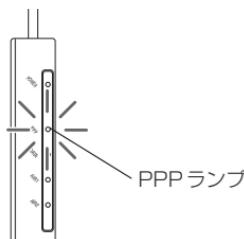
クリック設定 Web で【現在の状態】をクリックして、接続状態の欄で接続されていることを確認することができます。

〈PPPoE モードの場合〉

PPPoE 接続機能を使用する（PPPoE モード）に設定した場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の PPP ランプが緑点灯します。

〈無線 LAN アクセスポイントモードの場合〉

無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の PPP ランプが橙点灯します。



インターネットに接続できないときは（[6-1 トラブルシューティング]
P6-12）

4-2 インターネット接続を切斷する

無通信監視タイマ

無通信監視タイマとは、インターネットへのアクセスが一定時間ないときに、通信を自動的に切断する機能です。切斷忘れを防止し、セキュリティを守ることができます。この機能は、本商品の動作モードを PPPoE とし、「接続モード」が「要求時接続」の場合に、設定することができます。ルータモード（ローカルルータモード）および「複数固定IPサービス」使用時や、「接続モード」が「常時接続」の場合は、設定できません。

〈クリック設定 Web で設定する〉

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クリック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「基本設定」の ▶ をクリックし、「接続先設定」の「接続先の切斷」で設定する

自動切斷するまでの時間（60～86,400 秒（24 時間））を 1 秒間隔で設定します。その時間内にデータのやりとりがなければ、通信を切斷します。



5 [設定] をクリックする

6 [登録] をクリックする



お知らせ

- インターネット側からの不正なアクセス（攻撃）などがあると無通信監視タイマはカウントをし直しますので、自動切斷されないことがあります。そのような場合、できるだけ短い時間に設定してください。

応用編

本商品をさらに使いこなそう

5章 WARPSTAR を活用しよう 5-1

応用編

- Windows Vista™ は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

5

WARPSTAR を活用しよう

5

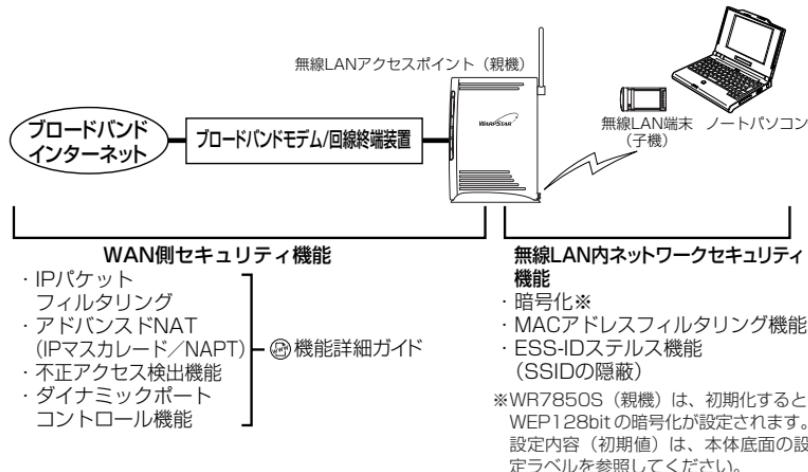
5-1	セキュリティ対策をする	5-2
5-2	無線LAN端末（子機） の通信の設定をする	5-11
5-3	WL54SE (ETHERNET ポックス) を設定する	5-46
5-4	ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど)を利用する	5-62
5-5	ゲーム機を接続する	5-69
5-6	無線LANアクセスポイントとして使う (ルータ機能を停止する)	5-70
5-7	TV電話をする (Windows Messenger および MSN Messengerの利用方法)	5-77
5-8	ファームウェアやユーティリティ をバージョンアップする	5-78
5-9	他の無線LAN端末（子機）から接続する	5-82
5-10	無線LAN内蔵パソコンから接続する	5-86
5-11	AirMac 対応のパソコンから接続する	5-96

5-1 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL／CATV／FTTH 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線LAN内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

WAN回線側のセキュリティ対策については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。



セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
- また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行っていただくことをお勧めします。
- 無線LAN端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティ対策を行わない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できないようにする

本商品は、他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線データの暗号化機能、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）、MAC アドレスフィルタリング機能を搭載しています。無線 LAN 端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線 LAN 端末（子機）についての設定を行う必要があります。



無線暗号化を設定する

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

<暗号化方式について>

● WEP (Wired Equivalent Privacy)

IEEE802.11 で定められた暗号化方式。

● TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル (WPA) に採用の暗号化方式。

パケットごとに暗号化キー (WEP) を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

● AES (Advanced Encryption Standard)

米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式。

WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

○ お願い

- 暗号化の設定は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で同じ設定にしてください。（●P5-4、5-21、5-33、5-38、5-53）
- IEEE802.11a モードと IEEE802.11g+b モードで同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、必ず暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。違う暗号化モードや暗号化キーを設定すると、接続できなくなる場合があります。
- 複数の無線 LAN 端末（子機）を使用する場合、すべての無線 LAN 端末（子機）に無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを設定してください。
- WR7850S（親機）を初期化した場合は、WEP128bit（キーインデックス：1 番）に初期値が設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キー（WEP キー）の内容（初期値）は、本体底面の設定ラベルを参照してください。
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN 端末（子機）が必要です。

5-1 セキュリティ対策をする

<暗号化の設定（無線 LAN アクセスポイント（親機））>

無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化の設定は、クリック設定 Web で行います。
※Windows® XP/2000 Professionalをご利用の場合は、無線 LAN 端末（子機）から、サテライトマネージャを使用して無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を同時に変更することもできます。（☞P5-20）

なお、工場出荷時の状態では無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されている内容で、すでに暗号化の設定がされています。

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クリック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開けます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例: http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「無線 LAN 設定」の ▼ をクリックし、【無線 LAN 詳細設定】を選択する

5 「編集する動作モード」の ▼ をクリックし、設定する無線動作モードを選択する



6 [暗号化] の項目で設定する

■暗号化モードで WEP を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
- ② 暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する

「64bit」（弱） < 「128bit」 < 「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。

※WEP (152bit) は、Windows Vista™ ではご利用になれません。



③【指定方法】から暗号化キーの種類を【英数字】または【16進】のどちらかを選択する

※【英数字】→英数字(0~9、a~z、A~Z)の組み合わせで暗号を作成します。

【16進】→16進(0~9、a~f、A~F)の組み合わせで暗号を作成します。

※指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

④【使用する暗号化キー番号】を1番~4番で選択する

⑤指定した番号(1番~4番)に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

■暗号化モードで【WPA-PSK (TKIP)】、または【WPA-PSK (AES)】を使用する場合

①【暗号化モード】で【WPA-PSK (TKIP)】、または【WPA-PSK (AES)】を選択する

②【WPA暗号化キー】を入力する

暗号化キーは、8~63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8~63桁の場合

英数記号

【0~9、a~z、A~Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
*	&	*	.	<	@	^	
#	.	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	、	-

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64桁の場合

16進数【0~9、a~f、A~F】

暗号化キーは半角で入力します。

③【暗号化更新時間】で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、0(更新なし)、1~1440分の間で設定できます。

7 [設定] をクリックする

8 [登録] をクリックする

無線LANアクセスポイント(親機)が再起動します。(暗号化キーを設定していない無線LAN端末(子機)から接続できなくなります。無線LAN端末(子機)の暗号化の設定を行ってください。)



お知らせ

- 暗号化設定は、無線動作モードごとに設定できます。使用する無線動作モードを変更する場合は、クイック設定Webの「無線LAN設定」-「無線LAN基本設定」で設定します。詳細は「⑩機能詳細ガイド」を参照してください。

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID とも呼びます）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※本商品独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。WL54SC／WL54SU の設定ユーティリティは、サテライトマネージャをお使いください。

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クリック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「無線 LAN 設定」の ▼ をクリックし、[無線 LAN 詳細設定] を選択する

5 「編集する動作モード」の ▼ をクリックし、設定する無線動作モードを選択する



5-1 セキュリティ対策をする

6 [ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)] を [使用する] に する



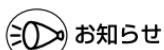
7 [設定] をクリックする



8 [登録] をクリックする
無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う



● ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) の設定は、無線動作モードごとに設定できます。使用する無線動作モードを変更する場合は、クリック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 基本設定」で設定します。詳細は「 機能詳細ガイド」を参照してください。

5-1 セキュリティ対策をする

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

※MAC アドレスフィルタリングで登録できる MAC アドレスは IEEE802.11a モードと IEEE802.11g+b モードで共通です。（☞下記～P5-9、手順4～7）MAC アドレスフィルタリング機能を使用するかどうかは IEEE802.11a モードと IEEE802.11g+b モードで個別に設定できます。（☞P5-9～5-10、手順8～13）

使用する無線動作モードを変更する場合は、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」—「無線 LAN 基本設定」で設定します。詳細は「⑩機能詳細ガイド」を参照してください。

<クイック設定 Web で設定する>

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「無線 LAN 設定」の ▼ をクリックし、[MAC アドレスフィルタリング] を選択する

5 [接続を許可する MAC アドレス編集] 欄で設定する

①エントリ番号を選択する

②指定方法を選択する

手動設定：MAC アドレスに直接無線接続を許可する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを入力します。

選択設定：MAC アドレス（アクセス履歴）から選択し登録できます。



③手動設定の場合は、登録する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力する
MACアドレスは2文字ずつコロンで区切って入力してください。

例) MACアドレスがxx-xx-xx-xx-xx-xxと入力する場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xxと
入力します。

無線LAN端末（子機）のMACアドレスは無線LAN端末（子機）に記載されて
います。

選択設定の場合は、「接続履歴」または「接続拒否履歴」から登録する無線LAN
端末（子機）のMACアドレスを選択します。

[編集] をクリックする

続けて設定する場合は、手順5にもどってエントリ番号を変えて設定してください。

[最新状態に更新] をクリックする

設定内容にまちがいがないか確認してください。

「無線LAN設定」の▼をクリックし、[無線LAN詳細設定]を選択する

「編集する動作モード」の▼をクリックし、設定する無線動作モード を選択する

10

[MACアドレスフィルタリング機能]を[使用する]に☑する

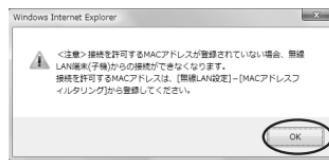


5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

5-1 セキュリティ対策をする

11 [OK] をクリックする



12 [設定] をクリックする

13 [登録] をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。



WL54SE (ETHERNET ボックス) を使用している場合

無線 LAN アクセスポイント（親機）で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、WL54SE (ETHERNET ボックス) の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

<WL54SE (ETHERNET ボックス) の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合>

WL54SE (ETHERNET ボックス) の底面に記載されている無線の MAC アドレスを登録することで無線接続する WL54SE (ETHERNET ボックス) を制限できます。

<WL54SE (ETHERNET ボックス) の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合>

WL54SE (ETHERNET ボックス) の底面に記載されている無線の MAC アドレスと WL54SE (ETHERNET ボックス) に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→WL54SE (ETHERNET ボックス) では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、LINK ランプが消灯し、WL54SE (ETHERNET ボックス) に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。（WL54SE (ETHERNET ボックス) の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）

なお、既に LINK ランプが点灯している WL54SE に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できてしまいます。

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

無線 LAN 端末（子機）の無線通信モードの変更、ネットワーク名（SSID）の変更、暗号の設定はらくらく無線スタート、サテライトマネージャ、ワイヤレスネットワークの設定のいずれかで行います。

らくらく無線スタートで設定する場合

「サテライトマネージャをインストールする」(☞下記)

→「らくらく無線スタートで設定する」(☞P5-16) の順に設定してください。

サテライトマネージャで設定する場合

「サテライトマネージャをインストールする」(☞下記)

→「サテライトマネージャで設定する」(☞P5-19) の順に設定してください。

ワイヤレスネットワークの設定で設定する場合

「ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista™/Windows® XP の場合）」(☞P5-29) で設定してください。



WL54SE（ETHERNET ポックス）を設定する場合は、「5-3 WL54SE（ETHERNET ポックス）を設定する」(☞P5-46) を参照してください。

WL54SC/WL54AG/WL54SU/WL54TU/WL54SE以外の無線 LAN 端末（子機）を設定する場合は「5-9 他の無線 LAN 端末（子機）から接続する」(☞P5-82) を参照してください。

5

活
用
し
よ
う
W
A
R
P
S
T
A
R
を

サテライトマネージャをインストールする

「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。

1 Windows Vista™またはWindows® XP/2000 Professional を起動する

Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

【自動再生】画面が表示された場合は、【Menu.exe の実行】をクリックします。
「メニュー画面」が表示されます。

〔メニュー画面〕が表示されないときは (☞前文-16)

3 [Aterm トリブルワイヤレス子機のドライバ及びユーティリティをインストールして設定する] の [CLICK] をクリックする

※Windows Vista™をご利用の際、ユーザー アカウント制御の画面が表示された場合（タスクバーに表示される場合があります。）は、[続行] をクリックします。

(次ページに続く)

5-2 無線LAN端末（子機）の通信の設定をする

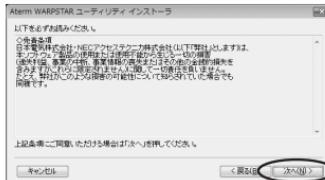
4 [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面で [次へ] をクリックする



5 [次へ] をクリックする



6 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする

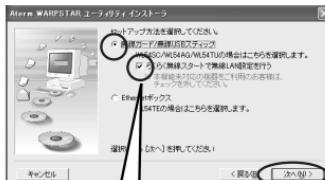


7 次の画面が表示された場合は、[無線カード/無線USBスティック] を選択し、無線LANアクセスポイント（親機）の「らくらく無線スタート」対応／非対応により [らくらく無線スタートで無線LAN設定を行う] のチェック（する／外す）を選択して、[次へ] をクリックする

Windows VistaTM の場合は、この画面は表示されません。手順 8 にお進みください。

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

インストール先を変更する場合は、「[参照]」をクリックして変更してください。

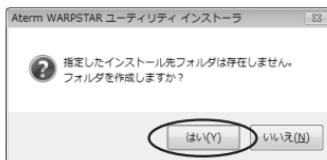


「らくらく無線スタート」に対応している場合
→ チェックする
「らくらく無線スタート」に対応していない場合
→ チェックを外す

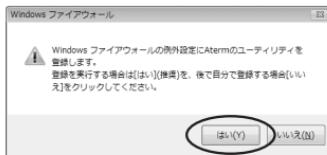


5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

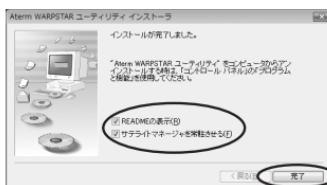
- 9 次の画面が表示された場合は、【はい】をクリックする
インストールが開始されます。



- 10 次の画面が表示された場合は、【はい】をクリックする



- 11 [README の表示] と [サテライトマネージャを常駐させる] にチェックが入っている（）ことを確認し、【完了】をクリックする
サテライトマネージャがインストールされました。

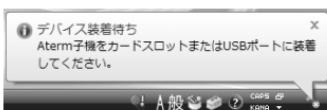
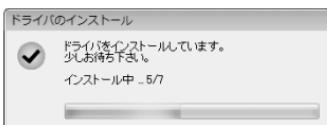


- 12 README をよく読み、[README] 画面を閉じる
インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。

- 13 「メニュー画面」を閉じる

- 14 未インストール状態のドライバが自動的にインストールされる
Windows® XP/2000 Professional の場合は、この自動インストールはありません。手順 18 (☞P5-14) にお進みください。

- 15 通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する



5
活用しよう
WARPSTARを

(次ページに続く)

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

16

WL54SC（無線 LAN カード）または WL54SU（無線 USB スティック）をパソコンに取り付ける

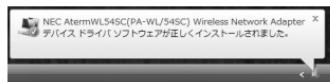
ドライバが自動的にインストールされます。



WL54SC（無線 LAN カード）または WL54SU（無線 USB スティック）を取り付ける

17

通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する

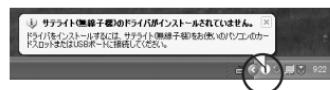


→ 以上で Windows Vista™でのインストールは完了です。
無線 LAN 端末（子機）の無線設定手順に進みます。

- ・らくらく無線スタートで設定する場合
→「らくらく無線スタートで設定する」(☞P5-16)
- ・サテライトマネージャで設定する場合
→「サテライトマネージャで設定する」(☞P5-19)

18

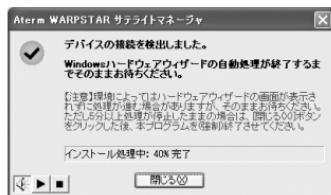
Windows®XP/2000 Professional の場合は、通知領域（タスクトレイ）にサテライトマネージャが表示されることを確認する



19

WL54SC（無線 LAN カード）または WL54SU（無線 USB スティック）をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。



5

活用しよう
WARPSTARを



以上で Windows® XP/2000 Professional でのインストールは完了です。

「サテライトマネージャをインストールする」手順 7 (☞P5-12) での選択によって次のように進みます。

- ・無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応している場合
→ 「らくらく無線スタートで設定する」 (☞P5-16)
- ・無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応していない場合
→ 「サテライトマネージャで設定する」 (☞P5-19)



お知らせ

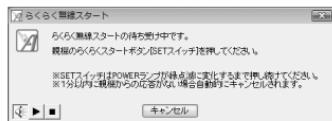
- サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。(「① Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合」 (☞P5-30))

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

らくらく無線スタートで設定する

1 次の画面が表示されることを確認する

※1分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

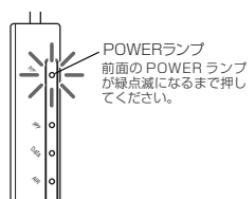
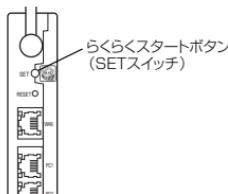


らくらく無線スタートが起動しない場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[らくらく無線スタート] をクリックします。



2

無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を長押しして、前面のPOWERランプが緑点滅になったら離す



POWERランプが約10秒間赤点灯した場合は、「らくらく無線スタート」に失敗しています。

無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化を設定してください。（☞P5-4）
MACアドレスフィルタリングで接続できる無線 LAN 端末（子機）の登録がいっぱいになっていないことを確認してください。（☞P5-8）
確認後、再度手順1から設定を行ってください。

3

らくらく無線スタートの準備ができているか確認する

※30秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

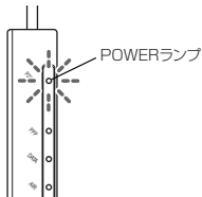
**WL54SC（無線 LAN カード）／
WL54SU（無線 USB スティック）を
接続したパソコン**

次の画面が表示されることを確認しま
す。



無線 LAN アクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面の POWER ランプ
が橙点滅します。



どちらか片方だけが上記の状態になっている場合は

他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）
と設定を行おうとしている場合があります。

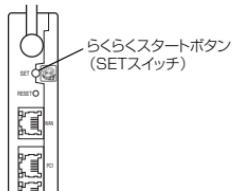
**WL54SC（無線 LAN カード）／WL54SU（無線 USB スティック）
を接続したパソコンで [キャンセル] をクリックし、無線 LAN アクセ
スポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1 から設定をやり直してく
ださい。**

どちらも上記の状態にならない場合は

「らくらく無線スタート」をご利用になれません。その場合は、サテラ
イトマネージャで無線設定を行います。サテライトマネージャでの設定
のしかたについては、「サテライトマネージャで設定する」(P5-19)
を参照してください。

4

**無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタンを
長押しして、手順 5 の前面の POWER ランプが橙点灯状態になったら
離す**



5

活用しよ
う
W
A
R
P
S
T
A
R

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

5

無線設定が完了していることを確認する

WL54SC（無線 LAN カード）／
WL54SU（無線 USB スティック）を
接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認しま
す。



無線 LAN アクセスポイント（親機）

前面の POWER ランプが約 10 秒間橙点灯
することを確認します。



失敗した場合は、POWER ランプ
が約 10 秒間赤点灯します。手順
1 の ① から設定をやり直してく
ださい。

※前面の POWER ランプは、約 10 秒間橙
点灯したあと緑点灯に戻ります。



① らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側に暗号化の設定がされていることが必
要です。

→暗号化設定されていないと、らくらく無線スタートでの設定はできません。
(P5-16 の手順 2 の段階で失敗します。)

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」
を使用している場合は、エントリを制限数いっぱいに登録しないようにし
てください。

→無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング
機能」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを事
前に登録していくなくても、らくらく無線スタートでの設定で自動的に登録さ
れますですが、制限数いっぱいに登録していると、らくらく無線スタートでの設
定はできません。(P5-16 の手順 2 の段階で失敗します。)

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の
隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定を
することができます。



① 無線動作モード（IEEE802.11a）に接続するには

無線 LAN アクセスポイント（親機）では、IEEE802.11a と IEEE802.11g+b の
2 つの動作モードが同時に動いています。それぞれの無線動作モードごとにネットワー
ク名（SSID）が設定されています。

IEEE802.11a の場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-A」

IEEE802.11g+b の場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-G」

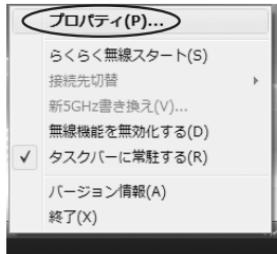
「らくらく無線スタート」で設定する無線 LAN 設定は、本商品の初期値では、
IEEE802.11g+b モードです。IEEE802.11a モードの無線 LAN 設定を行う場合
は、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 基本設定」でらくらく無
線スタート動作モードを変更して設定する（ 機能詳細ガイド）か、サテライトマ
ネージャ、クイック設定 Web で設定してください。（ P5-20、5-50）

サテライトマネージャで設定する

■サテライトマネージャを起動する

1 [スタート] – [すべてのプログラム] – [AtermWARPSTAR ユーティリティ] – [サテライトマネージャ] をクリックする

2 通知領域（タスクトレイ）にある [サテライトマネージャ] のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する



※画面は Windows Vista™の場合の例です。

3 サテライトマネージャの設定画面が表示される

状態
接続中の無線通信の状態を表示します。

ネットワーク一覧
利用できる無線 LAN アクセスポイント（親機）の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。

状態	ネットワーク一覧	グラフ表示	詳細設定
接続中の無線通信の状態を表示します。	利用できる無線 LAN アクセスポイント（親機）の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。	接続中の無線通信の通信速度や、通信強度（信号強度）をグラフで表示します。	サテライトマネージャから設定するか、Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定から設定するかの切り替えを行います。Windows Vista™の場合には、アドホック通信設定、Windows® XP/2000 Professionalの場合には無線機能のON/OFF設定を行います。

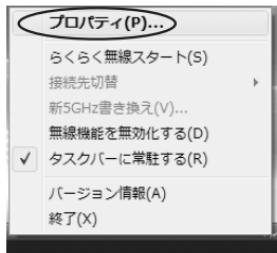
5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

5-2 無線LAN端末（子機）の通信の設定をする

■サテライトマネージャで設定する

- 1 サテライトマネージャを起動する
[スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする
通知領域（タスクトレイ）に [サテライトマネージャ] が表示されます。



- 2 通知領域（タスクトレイ）にある [サテライトマネージャ] のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する

- 3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする

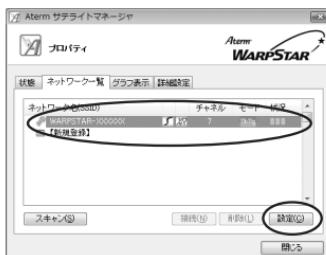
- 4 接続先のネットワーク名（SSID）をクリックして、[設定] または [親子同時設定] をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）の出荷時設定のネットワーク名（SSID）、暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

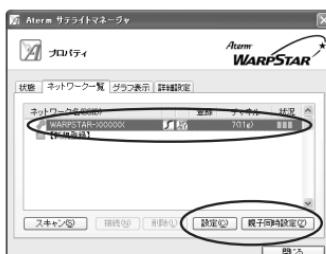
新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。

※無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合は「親子同時設定」を、無線LAN端末（子機）のみ設定する場合は「[設定]」を選択します。

Windows Vista™の場合は、「[設定]」をクリックします。



※画面は Windows Vista™の場合の例です。



※画面は Windows® XP (Service Pack2) の場合の例です。

（！）無線動作モード(IEEE802.11a)に接続するには

無線 LAN アクセスポイント（親機）では、IEEE802.11a と IEEE802.11g+b の 2つの動作モードが同時に動いています。それぞれの無線動作モードごとにネットワーク名（SSID）が設定されてされています。
IEEE802.11aの場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-A」
IEEE802.11g+bの場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-G」

接続先を切り替えたいときは、通知領域（タスクトレイ）にある【サテライトマネージャ】のアイコンをクリックし、【接続先切替】で接続したい無線動作モードのネットワーク名（SSID）を選択します。

また、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を IEEE802.11a の場合と IEEE802.11g+b の場合で同じに設定することで、自動切替えをご利用いただけます。手順 4 の画面で接続したい無線動作モードのネットワーク名（SSID）を選択し、【親子同時設定】をクリックして手順 5 でネットワーク名（SSID）を同じに設定してください。

5

無線 LAN の設定を行う

■無線 LAN 端末（子機）のみ設定する場合

手順 4 で【設定】をクリックした場合は、使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）に合わせて次のように設定します。

暗号化の設定を行う場合は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

【ネットワーク名（SSID）】

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名（SSID）を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

【通信モード】

インフラストラクチャ通信を選択します。

【暗号化モード】

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

※WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1 以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista™ ではご利用いただけません。

※TKIP、AES は、Windows Vista™ または Windows® XP（Service Pack2 以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。



5

活用しよう
WARPSTAR を

(次ページに続く)

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

■無線 LAN アクセスポイント（親機）も同時に設定する場合

手順 4 で「親子同時設定」をクリックした場合は次のように設定します。

[ネットワーク名]

使用するネットワークの名称を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名（SSID）を選択した場合は、そのままにしておきます。



[無線動作モード]

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

[チャネル番号]

無線 LAN アクセスポイント（親機）と通信するチャネルを選択します。

※ IEEE802.11a モードの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の対応によって選択できるチャネル番号が異なります。詳細は機能詳細ガイドを参照してください。

[暗号化モード]

- 暗号化モードで WEP を使用する場合
 - ① 「暗号化モード」で「[WEP]」を選択する
 - ② 暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」（弱） < 「128bit」 < 「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。
 - ※ WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1 以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
 - ③ 暗号化キーを入力する
英数字は 0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z で構成されている文字列を指定できます。
16 進は 0 ~ 9、a ~ f、A ~ F で構成されている文字列を指定できます。

無線モードの選び方

802.11a ……電波干渉を受けにくく通信状態も安定しています。無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）を近距離で利用する場合にお勧めです。

802.11g ……壁などの電波の障害物に強いため家の中の広いエリアで使うことができます。

802.11g+b ……今お持ちの 802.11b 対応の無線 LAN 内蔵パソコンや無線 LAN 機器がそのまま利用できます。

- 暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場合

① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を選択する

※TKIP、AES は、Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

②任意の暗号化キーを入力する

暗号化キーは、8～63 枠の英数記号、または 64 枠の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

- ・8～63 枠の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	-

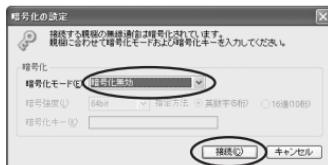
※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

- ・64 枠の場合

16 進数【0～9、a～f、A～F】



接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は、次の画面が表示されます。無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて暗号化の設定を行い、「接続」をクリックしてください。



6

【登録】をクリックする

(次ページに続く)

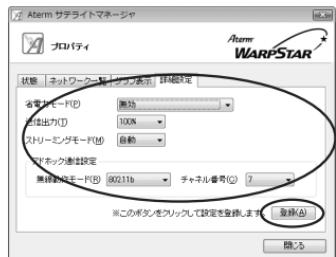
5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする



お知らせ

- [詳細設定] タブをクリックすると、次の設定が行えます。

Windows Vista™の場合、設定を有効にするには、[登録] をクリックしてください。



※画面はWindows Vista™の場合の例です。

・省電力モード

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・送信出力

他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・ストリーミングモード

無線通信状態を監視するために無線 LAN 端末（子機）が行っている、無線 LAN ネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

・アドホック通信設定 (Windows Vista™の場合のみ)

アドホック通信の設定を行う場合の「[無線動作モード]」・「[チャネル番号]」を設定します。Windows Vista™の場合のみの設定項目です。(Windows® XP/2000 Professional の場合は、「機能詳細ガイド」を参照してください。)

※Windows® XP/2000 Professional の場合は、無線機能の有効化／無効化、Windows® XP のワイヤレスネットワークの有効化／無効化の設定も行うことができます。

お願い

- 親子同時設定では、IEEE802.11a モードと IEEE802.11g+b モードの設定のうちどちらか一方のみ（親子同時設定の通信の際に使用するモード）の設定を更新します。両方のモードの設定を変更する場合は、それぞれのモードで個別に設定を行ってください。
- 同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線 LAN アクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの「[ネットワーク一覧]」のチャネル表示が「[状態]」の表示と異なる場合があります。「[状態]」表示の値を参照してください。
- 2 台目以降の無線 LAN 端末（子機）を追加する場合は、1 台目と同じ暗号化キーを入力してください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）で「WPA-TKIP モード」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できます。
- IEEE802.11a モードと IEEE802.11g+b モードで同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、必ず暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。違う暗号化モードや暗号化キーを設定すると、接続できなくなる場合があります。

！ サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

詳細はホームページに掲載されている「 機能詳細ガイド」を参照してください。



[プロパティ] :

通信モードの設定、暗号化設定をすることができます。

[状態] タブで無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続状態を詳細に確認することができます。

無線の接続状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

[らくらく無線スタート] :

無線 LAN アクセスポイント（親機）とのネットワーク名（SSID）や暗号化設定を簡単に行なうことができます。

認定方法については、それぞれ次のとおり参照してください。

WL54SC（無線 LAN カード）の場合 : 「つなぎかたガイド（SC用）」または、無線 LAN 端末（子機）に添付されている取扱説明書など

WL54SU（無線 USB スティック）の場合 : 「つなぎかたガイド（SU用）」または、無線 LAN 端末（子機）に添付されている取扱説明書など

[接続先切替] :

サテライトマネージャで設定した接続先（無線 LAN アクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

[新5GHz書き換え] :

新5GHz（W52/W53）に対応していない無線 LAN 端末（子機）を新5GHz（W52）対応にバージョンアップすることができます。

バージョンアップ方法は、ホームページ AtermStation の「ダウンロード」 - 「バージョンアップ」のページをご覧ください。

※新5GHz（W52/W53）に対応していない無線 LAN 端末（子機）を使用している場合に表示されます。また、新5GHz（W52/W53）に対応している無線 LAN 端末（子機）を使用している場合はグレーアウトします。

[無線機能を無効化する／無線機能を有効化する]（Windows Vista™の場合のみ）：
[無線機能を無効化する] または [無線機能を有効化する] をクリックすると、無線機能を無効または有効に切り替えることができます。

Windows Vista™の場合のみの項目です。（Windows® XP/2000 Professional の場合は、[プロパティ] - [詳細設定] にて設定することができます。）

(次ページに続く)



サテライトマネージャの使い方

【タスクバーに常駐する】：

【タスクバーに常駐する】にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

【バージョン情報】：

サテライトマネージャのバージョンや無線 LAN 端末（子機）のドライバのバージョンが確認できます。

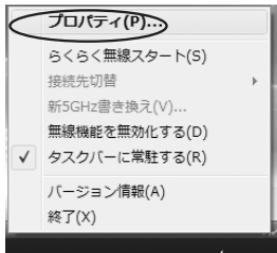
【終了】：

サテライトマネージャを終了します。

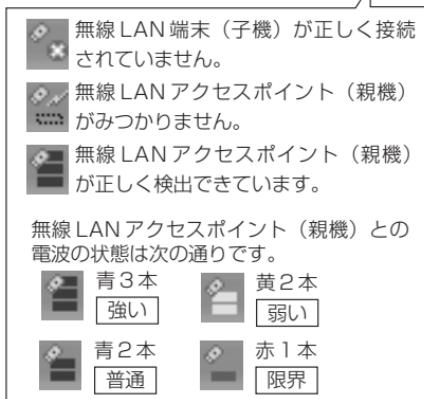
■無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の通信状態を確認することができます。

- 1 通知領域（タスクトレイ）にある
[サテライトマネージャ] のアイコ
ンを右クリックし、[プロパティ]
を選択する



- 2 [状態] タブをクリックする
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線
LAN 端末（子機）の通信状態が表示されます。
※[11aモードタイプ] で無線 LAN 端末
（子機）が対応している IEEE802.11a
のタイプ（●P1-3）を確認することができます。（現在通信しているタイプで
はありません。）



5 活用しよう
WARPSTAR を



(次ページに続く)

5-2 無線LAN端末（子機）の通信の設定をする

3

接続状態を確認し、【閉じる】をクリックする

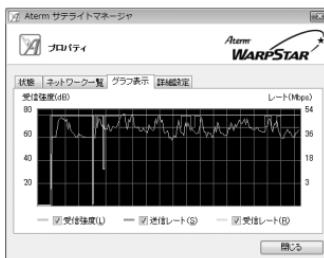
無線の接続状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。



■サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

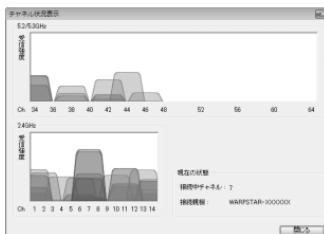
通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。



【状態】 - 【チャネル状況】

近くの無線LANアクセスポイント（親機）で使用しているチャネルや電波の強さを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。

現在、接続中のチャネルは赤で表示されます。



ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista™/Windows® XPの場合）

Windows Vista™およびWindows® XPの場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワークの設定」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP(64bit、128bit、152bit^{*1})」、「TKIP^{*2}」、「AES^{*2}」の場合に、ご利用いただけます。なお、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が設定されている場合は、ご利用いただけません。

※1：WEP (152bit) は、Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista™ではご利用いただけません。

※2：TKIP、AES は、Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

Windows® XP の場合は、通常は「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にしてサテライトマネージャで設定してください。

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする



Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定し、無線 LAN 端末（子機）を接続し直す必要があります。

- ① サテライトマネージャを起動する
- ② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- ③ 「詳細設定」タブをクリックする
- ④ 「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す



- ⑤ 「[はい]」をクリックする
- ⑥ 「閉じる」をクリックする
- ⑦ 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャアイコンを右クリックし、[終了] をクリックする
- ⑧ 無線 LAN 端末（子機）を取り外し、接続し直す

● 暗号化設定されている無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合
(☞P5-31)

● 暗号化設定されていない無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合
(☞P5-42)

■暗号化を設定して無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する (無線 LAN アクセスポイント（親機）が暗号化設定されているとき)

無線 LAN アクセスポイント（親機）が暗号化設定されている場合は、ここで暗号化の設定を行って無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続します。

なお、工場出荷時の無線 LAN アクセスポイント（親機）は暗号化設定されておりませんので、ここで設定を行ってください。

Windows Vista™をご利用の場合 (☞下記)

Windows®XPをご利用の場合 (☞P5-36)

Windows Vista™の場合

以下の設定は Windows Vista™ のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AES をご利用になる場合の説明です。

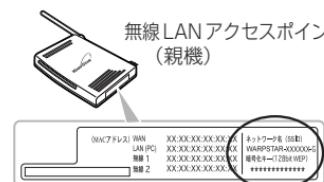
なお、暗号化の設定を行う場合は、必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。(☞P5-4)

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [ネットワーク] – [ネットワークと共有センター] – [ネットワークに接続] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

*工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。



これは、IEEE802.11g+b モード側の初期値を表示しています。IEEE802.11a モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。

*接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして、手順 6 へ進みます。

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

3 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、

下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① [ネットワークと共有センター] – [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする

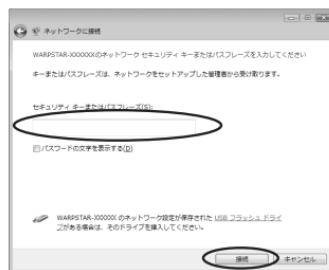
② 接続するネットワーク名 (SSID)を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする

③ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 1 から接続し直してください。

4 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が 1 番の場合（工場出荷時は 1 番）、[セキュリティキーまたはパスフレーズ] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックして、手順 13 に進む

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P5-31）



※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2 番～4 番を使っている場合は、[キャンセル] をクリックして、手順 5 に進みます。

※一度接続した際の暗号化設定を変更して接続する場合も [キャンセル] をクリックして、手順 5 に進みます。

5 [ネットワークと共有センター] – [接続またはネットワークをセットアップ] をクリックする



6

[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



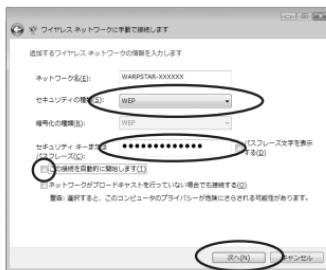
7

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（P5-31）

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

- ①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する
- ③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
 - ・ ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
 - ・ 16 進数の場合：
0～9・A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
- ④[この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑤[次へ]をクリックする



5

活用しよう
WARPSTAR を

(次ページに続く)

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

- ①[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]を選択する
- ②[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する
- ③[ネットワークセキュリティキー]を入力

する

8～63 衝の英数記号または、64 衝の
16進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通り
です。

・ 8～63 衝の場合

英数記号 【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(.	:	>	\	‘	-

※「\」(バックスラッシュ) はパソ
コンの設定によっては、「¥」と表
示されます。

・ 64 衝の場合

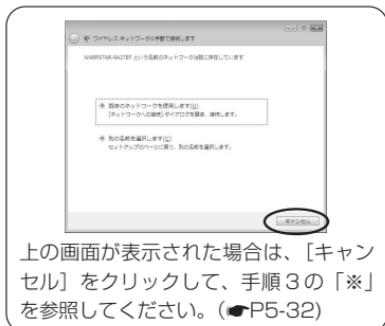
16進数 【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

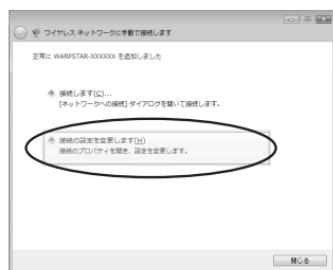
- ④[OK]をクリックする

8

【接続の設定を変更します】をクリッ
クする



上の画面が表示された場合は、[キャン
セル] をクリックして、手順3の「※」
を参照してください。（☞P5-32）



5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

9

[セキュリティ]タブをクリックして
設定内容を確認する

※暗号化モードでWEPを使用する場合は、
[キーインデックス]で無線 LAN アクセ
スポイント（親機）に設定したキー一番号
を選択します。



※画面は暗号化モードでWEPを使用
する場合の例です。

10

[OK]をクリックする

11

[接続します]をクリックする

12

無線 LAN アクセスポイント（親機）
のネットワーク名（SSID）を選択
し、[接続]をクリックする

13

[閉じる]をクリックする



5

活
用
し
よ
う
W
A
R
P
S
T
A
R
を

5-2 無線LAN端末（子機）の通信の設定をする

Windows® XPの場合

以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/152bitWEP^{*1}/TKIP^{*2}/AES^{*2}をご利用になる場合の説明です。

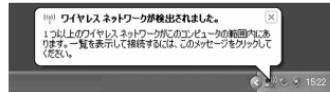
なお、暗号化の設定を行う場合は、必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。（☞P5-4）

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※2：TKIP、AESは、Windows® XP（Service Pack2以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される

（表示されないときは（☞P6-5））



2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

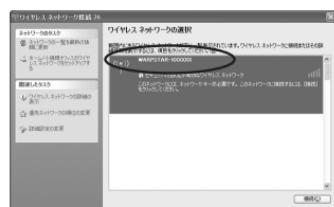
Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。



これは、IEEE802.11g+bモード側の初期値を表示しています。IEEE802.11aモード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-Aで暗号化キーは同じです。



※画面は Windows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

Windows® のアップデート状況により画面が異なります。

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

※[利用できるネットワーク] に使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。



- 【このネットワークで IEEE802.1x を有効にする】の は必ず外してください。

4 Windows® XP (Service Pack 2) の場合は [接続] をクリックする

Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、そのまま手順 5 へ進みます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）
の暗号化キー番号が 1 番の場合、
[ネットワークキー] に暗号化キー
を入力し、[接続] をクリックする

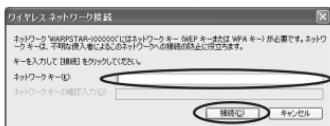
※キー番号に 2 番～4 番を使っている場合
や、一度設定した暗号化設定を変更する
場合は [キャンセル] をクリックし、手
順 6 に進みます。

5 [詳細設定の変更] をクリックする

Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、[詳細設定] をクリックします。

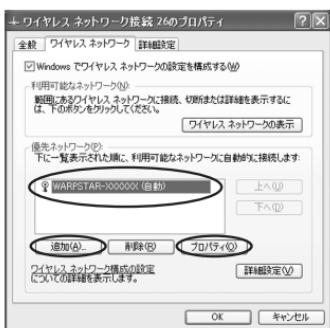
7 [ワイヤレスネットワーク] タブをク
リックし、接続する無線 LAN アクセ
スポイント（親機）のネットワーク名
(SSID) をクリックして、[プロパテ
ィ] をクリックする

接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) が [優先
ネットワーク] (Windows® XP (Service
Pack 2) 適用前の場合は [優先するネット
ワーク]) 欄に表示されていない場合は、
[追加] をクリックします。



5

活用しよう
WARPSTAR を



(次ページに続く)

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

8

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P5-36）

■ Windows® XP (Service Pack 2) の場合

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

- ①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
- ②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
- ③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
- ④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

0～9・A～F で 10 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 32 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

- ⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する

- ⑥[OK]をクリックする



〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

- ①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する
- ②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する
- ③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
8～63 行の英数記号または、64 行の16進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・ 8～63 行の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^		
#	'	+	/	=	[_	}	
\$	(.	:	>	\	`	-	

※「¥」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・ 64 行の場合

16 進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

- ④[OK]をクリックする

■ Windows® XP (Service Pack 1) の場合

- ①[データの暗号化]にチェックする
 (画面に「ネットワークアソシエーション」・「データの暗号化」の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する)
- ②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

(次ページに続く)

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

- ③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
- ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）
に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）
に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）
に 152bitWEP を設定している場合
 - 16 進数の場合：
0～9・A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）
に 64bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）
に 128bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 32 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）
に 152bitWEP を設定している場合
- ④無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する
- ⑤[OK]をクリックする

■ Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合

- ① [データの暗号化] にチェックする
 - ② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す
 - ③ [ネットワークキー] は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する
- キーの形式 :**

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ :

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bit を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bit を選択してください。

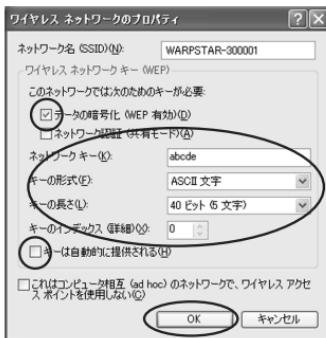
キーのインデックス :

無線 LAN アクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。

キーのインデックス（詳細）が 0～3 と表示されますので、1～4 と読み替えてください。（数字が 1 つずれていますので注意してください。）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）側は、クイック設定 Web の [無線 LAN 側設定] - [暗号化 (WEP)] で使用する暗号化キーを確認してください。

- ④ [OK] をクリックする



5-2 無線LAN端末（子機）の通信の設定をする

■無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていない場合は、下記の手順で無線LANアクセスポイント（親機）に接続します。

Windows Vista™をご利用の場合（☞下記）

Windows®XPをご利用の場合（☞P5-43）

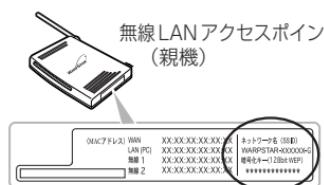
Windows Vista™の場合

- 1 [スタート] (Windows®ロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [ネットワークに接続] をクリックする

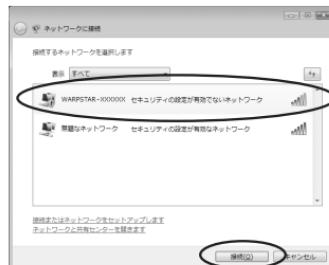
※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

- 2 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

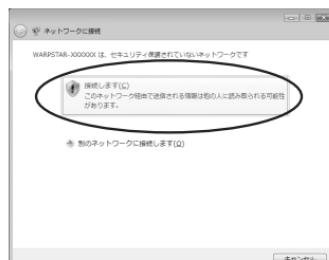


これは、IEEE802.11g+b モード側の初期値を表示しています。IEEE802.11a モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。



- 3 [接続] をクリックする

- 4 [接続します] をクリックする

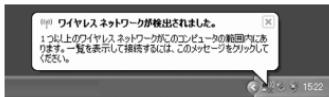


5 [閉じる] をクリックする



Windows® XP の場合

1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される
（表示されないときは（●P6-5））



※画面は Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。

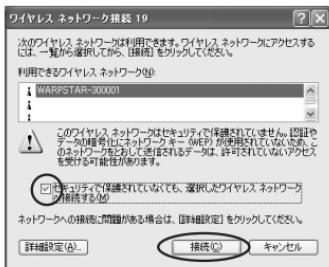
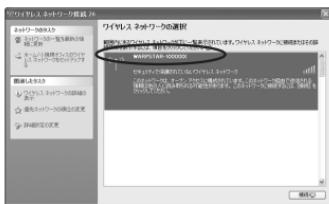
2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（●P5-36）
- ・[利用できるネットワーク] に使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。

- 右の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて「接続」をクリックしてください。



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

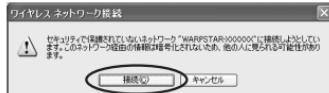
5
活用しよう
WARPSTAR を

5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする

4 【接続】をクリックする



5 次の画面が表示された場合は、【接続】をクリックする



6 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する



■無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 [スタート] (Windows® ロゴボタン) – [ネットワーク] – [ネットワークと共有センター] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] をクリックする方法もあります。

※Windows® XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2 [状態の表示] をクリックする

※Windows® XP の場合は、[状態] をクリックし、[全般] タブをクリックします。



3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・[状態] が「有効」になっていること
(Windows® XP の場合は、[接続] になっていること)
- ・[速度] が表示されていること
(表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。Super AG 機能を利用している場合は、108Mbps と表示されます。)



4 [閉じる] をクリックする

5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

※画面は Windows Vista™の場合の例です。

5-3 WL54SE (ETHERNET ポックス) を設定する

ここではらくらく無線スタートや、WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で WL54SE (ETHERNET ポックス) の設定を行う場合を説明します。

ゲーム機などパソコン以外の機器を接続する場合は、らくらく無線スタートで設定するか、いったんパソコンに接続して設定を行ったあとゲーム機に接続し直してください。

らくらく無線スタートで設定する（☞下記）

WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定する（☞P5-50）

※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

！ ワイヤレスセット (SE) の場合

ご購入時点で無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE (ETHERNET ポックス) の無線設定が設定済みになっています。WL54SE (ETHERNET ポックス) の無線設定は必要ありません。

らくらく無線スタートで設定する

ここでは WL54SE (ETHERNET ポックス) と無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定をらくらく無線スタートで設定する場合を説明しています。

■ らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

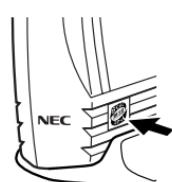


- らくらく無線スタートでの設定が失敗した場合は、WL54SE (ETHERNET ポックス) を初期化してから（☞P6-30）設定し直してください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側に暗号化の設定がされていることが必要です。
 - 暗号化設定されていないと、らくらく無線スタートでの設定はできません。（P5-47 の手順 3 の段階で失敗します。）
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合は、エントリを制限数いっぱいに登録しないようにしてください。
 - 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合、WL54SE (ETHERNET ポックス) の MAC アドレスを事前に登録していくなくても、らくらく無線スタートでの設定で自動的に登録されますが、制限数いっぱいに登録していると、らくらく無線スタートでの設定はできません。（P5-47 の手順 3 の段階で失敗します。）

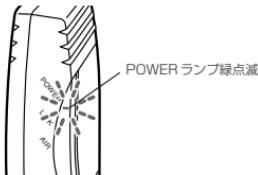
1 WL54SE (ETHERNET ボックス) の POWER ランプが緑点灯していることを確認する

電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は WL54SE (ETHERNET ボックス) が起動するまでしばらく待ちます。(30 秒程度)

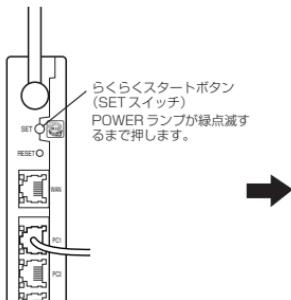
2 WL54SE (ETHERNET ボックス) 側面のらくらくスタートボタンを長押しして、前面の POWER ランプが緑点滅になったら離す



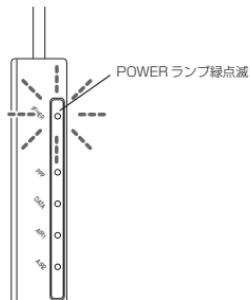
〈WL54SE (ETHERNET ボックス)〉



3 無線 LAN アクセスポイント (親機) 背面のらくらくスタートボタン (SET スイッチ) を長押しして、前面の POWER ランプが緑点滅になったら離す



〈無線 LAN アクセスポイント (親機)〉



5

活用しよう
WARPSTAR を



POWER ランプが緑点滅せず、約 10 秒間赤点灯した場合

らくらく無線スタートに失敗しています。

無線 LAN アクセスポイント (親機) 側で、暗号化が設定されていない場合は暗号化を設定し、MAC アドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は登録を 1 個削除してください。無線 LAN アクセスポイント (親機) 側の設定が済んだら、WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化 (P6-30) し、手順 1 から設定し直してください。

5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する

4

しばらく待って、無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプと WL54SE (ETHERNET ボックス) 前面の POWER ランプ両方が橙点滅に変わったことを確認する



どちらか片方しか上記の状態になっていない場合

他の無線アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。

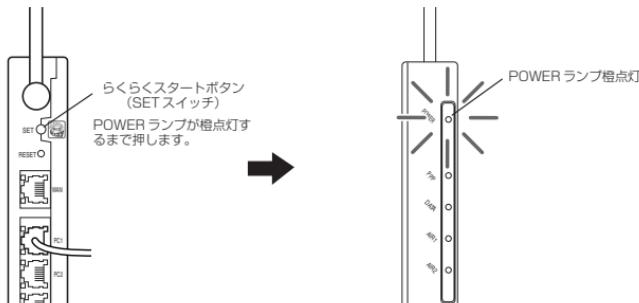
しばらくして無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の POWER ランプが緑点灯することを確認した後、WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化 (●P6-30) し、手順 1 から設定をやり直してください。

5

もう一度無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を長押しして、無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE (ETHERNET ボックス) の POWER ランプ両方が橙点灯になったら離す

POWER ランプが、橙点灯（約 10 秒）すれば設定完了です。

もし、赤点灯した場合は、設定に失敗しています。WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化 (●P6-30) し、手順 1 からやり直してください。



〈無線 LAN アクセスポイント（親機）〉

※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。

6

WL54SE (ETHERNET ボックス) の LINK ランプが緑または橙点灯することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると LINK ランプが緑または橙点灯します。

- ・ 11g/11b モード 緑点灯
- ・ 11a モード 橙点灯



お願い

●WL54SE (ETHERNET ボックス) をらくらく無線スタートで設定後、LINK ランプが点灯しているにもかかわらず WL54SE (ETHERNET ボックス) に接続したパソコンからインターネットに接続できない場合は、次の手順で ETHERNET ケーブルを接続し直してください。

- ①WL54SE (ETHERNET ボックス) とパソコンを接続している ETHERNET ケーブルを取り外す
- ②WL54SE (ETHERNET ボックス) の電源を切る
- ③WL54SE (ETHERNET ボックス) とパソコンを ETHERNET ケーブルで接続する
- ④WL54SE (ETHERNET ボックス) の電源を入れる
- ⑤LINK ランプが点灯することを確認する



お知らせ

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でも、らくらく無線スタートでの設定をすることができます。

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合に、WL54SE (ETHERNET ボックス) の無線クライアントモード（初期値：「拡張モード」）を「MAC クローンモード」にして利用するには、下記の手順で設定してください。

- ①らくらく無線スタートでの設定を行う。（☞P5-46）
- ②無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング」の設定で、WL54SE (ETHERNET ボックス) に接続するすべてのパソコンやゲーム機などの MAC アドレスを登録する。
- ③無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を「使用する」に設定する。
- ④WL54SE (ETHERNET ボックス) の無線クライアントモードを「MAC クローンモード」に変更する。（☞P5-57）

5

活
用
し
よ
う
W
A
R
P
S
T
A
R

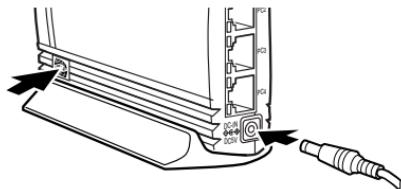
5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する

WWW ブラウザで設定する

ここでは、WL54SE (ETHERNET ボックス) のクイック設定 Web で WL54SE (ETHERNET ボックス) のみの設定を行う場合の設定方法を説明しています。
パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認してください。

■ WL54SE (ETHERNET ボックス) の DHCP サーバ機能を起動する

- 1 WL54SE (ETHERNET ボックス) から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ
- 2 WL54SE (ETHERNET ボックス) 側面のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、AIR ランプが赤点滅したら、らくらくスタートボタンを離す
無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線接続はいったん切断されます。
WL54SE (ETHERNET ボックス) の DHCP サーバが起動します。



■ WWW ブラウザで設定する

WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信ができるようにするための設定を行います。

1

パソコンなどを起動する

2

WWW ブラウザを起動し、WL54SE (ETHERNET ボックス) の IP アドレスを入力し、設定画面を開く(工場出荷時は 192.168.0.220 です)

例：http://192.168.0.220/

WL54SE (ETHERNET ボックス) の WWW ブラウザの設定画面が表示されない
(☞P6-17)

3

管理者パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。

一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

●管理者パスワードは、WL54SE を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。

管理者パスワードメモ欄



4

[設定] をクリックする

5

ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

6

[基本設定] の ▼ から [基本設定] を選択する

5

WARPSTAR を
活用しよう

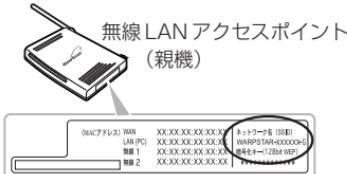


(次ページに続く)

5-3 WL54SE (ETHERNETボックス) を設定する

7 [ネットワーク名 (SSID)] に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名 (SSID) を入力する

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を確認しておいてください。



これは、IEEE802.11g+b モード側の初期値を表示しています。IEEE802.11a モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。



[アクセスポイント検索] をクリックして [アクセスポイント検索] 画面を表示してネットワーク名 (SSID) を選択することができます。

- ① [アクセスポイント検索] 画面で接続するネットワーク名 (SSID) を選択する
- ② [選択] をクリックする



8

無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定に合わせて暗号化の設定を行う

■暗号化モードで WEP を使用する場合

- ① [暗号化モード] [WEP] を選択する
- ② [暗号強度] を「64bit」「128bit」「152bit」から選択する
- ③ [指定方法] で [英数記号] または [16進] を選択する

※ [英数記号] →英数字 (0～9, a～z, A～Z) と下記の記号の組み合わせで暗号を入力します。

!	%)	-	:	?]	{
*	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	-

※ 「(パックスラッシュ)」はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

- [16進] → 16進表記 (0～9, a～f, A～F) の組み合わせで暗号を入力します。
- ※ 指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。
- ④ [使用する暗号化キー] を [1番～4番] から選択する
 - ⑤ [暗号化キー] は④で指定した番号に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

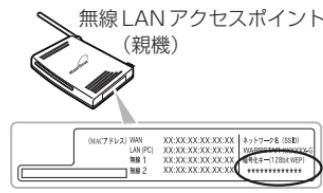
■暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)] または [WPA-PSK (AES)] を選択する
 - ② [指定方法] を選択し、[暗号化キー] を入力する
- WPA 暗号化キーは、8～63桁の英数記号、または、64桁の16進で入力します。



暗号化キーの入力例 :

[128bit] の場合(英数記号／13桁)
0123456789ABC



これは、IEEE802.11g+b モード側の初期値を表示しています。IEEE802.11a モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。

5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する

9

【設定】をクリックする

10

【登録】をクリックする



11

WL54SE (ETHERNET ボックス) の LINK ランプが緑または橙点灯することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると LINK ランプが緑または橙点灯します。

- ・ 11g/11b モード ……緑点灯
- ・ 11a モード …………橙点灯



重要

パソコンの IP アドレスを変更した場合は、WL54SE (ETHERNET ボックス) の設定を終了したあとは、パソコンの IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。



お知らせ

- Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合、WWW ブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合にはキャッシュの設定を行ってください。（キャッシュの設定 ➡ P5-56 「お知らせ」）

WWW ブラウザでの設定変更について

■起動のしかた

クリック設定 Web で設定を変更する場合は、次の方法で起動します。
パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認してください。

- 1 WL54SE (ETHERNET ボックス) から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ
- 2 WL54SE (ETHERNET ボックス) 側面のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、AIR ランプが赤点滅したら、らくらくスタートボタンを離す
無線アクセスポイント（親機）との無線接続はいったん切断されます。
WL54SE (ETHERNET ボックス) の DHCP サーバが起動します。
- 3 パソコンなどを起動する
- 4 WWW ブラウザを起動し、WL54SE (ETHERNET ボックス) の IP アドレスを入力し、設定画面を開く(工場出荷時は 192.168.0.220 です)
例: <http://192.168.0.220>
WL54SE (ETHERNET ボックス) の WWW ブラウザの設定画面が表示されない
(☞P6-17)
- 5 ユーザー名には「admin」と入力し、P5-51 で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックする
(ユーザー名は、半角小文字で入力してください。)
クリック設定 Web が表示されます。



5
活用しよう
WARPSTAR

(次ページに続く)

5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する



お知らせ

- Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合、WWW ブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合には、以下の手順でキャッシュの設定を行ってください。

- ① Internet Explorer を起動し、メニューバーの [Explorer] - [環境設定] をクリックします。
- ② [Web ブラウザ] の [詳細設定] をクリックします。
- ③ [キャッシュ] - [ページの更新] を [常に] にチェックします。
- ④ [OK] をクリックします。



■ 設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。
設定の変更が必要な場合は、それぞれの画面で設定を行ってください。

① 設定の登録のしかた

それぞれのページで【設定】をクリックしたあと、【登録】をクリックしてください。
WL54SE (ETHERNET ボックス) を再起動することにより設定内容を WL54SE (ETHERNET ボックス) に書き込みます。

【基本設定】 – 【基本設定】

ネットワーク名 (SSID) や、暗号化を設定します。
詳細については、P5-52、P5-53 を参照してください。

【詳細設定】 – 【詳細設定】



<ネットワーク設定>

IP アドレス : WL54SE (ETHERNET ボックス) の IP アドレスを入力します。(初期値: 192.168.0.220)

ネットマスク : サブネットマスクを設定します。

<無線 LAN 設定>

無線クライアントモード : 無線クライアントモードを選択します。(初期値: 拡張モード)
[拡張モード] では、拡張クライアントモードに対応した無線 LAN アクセスポイント (親機) に接続することで、WL54SE に接続されたパソコンから無線 LAN アクセスポイント (親機) の持つ IPv6 ブリッジ機能や PPPoE ブリッジ機能を使った通信が可能になります。なお、接続する無線 LAN アクセスポイント (親機) が拡張クライアントモードに対応していない場合は、標準モードで動作します。

[標準モード] では、WL54SE (ETHERNET ボックス) の MAC アドレスで無線接続します。

[MAC クローンモード] では、WL54SE (ETHERNET ボックス) に最初に接続されたパソコンの MAC アドレスで無線接続します。

5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する

- 送信出力 : 送信出力を調整します。(初期値: 100%)
他のネットワークへの電波干渉回避の目的で使用します。
[100%] / [50%] / [25%] / [12.5%] から選択します。
- Super AG 機能 : Super AG 機能を使用するかどうかを指定してください。(初期値: 使用する (圧縮あり))
[使用する (圧縮あり)] / [使用する (圧縮なし)] / [使用しない] から選択します。
圧縮ありを指定すると、さらに通信速度は向上しますが、圧縮効率の悪いファイルの転送時などでは、かえって速度が低下してしまう場合があります。
無線 LAN アクセスポイント (親機) が Super AG 機能に対応している必要があります。

【メンテナンス】 – [管理者パスワードの変更]



管理者パスワード (password) を設定できます。(初期値: 空欄)

使用できる文字は半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、64 文字以内です。

【メンテナンス】 – [設定値の初期化]



[設定値の初期化] をクリックすると WL54SE (ETHERNET ボックス) の設定が初期値に戻ります。

【メンテナンス】 – [ファームウェア更新]

次の手順で、WL54SE (ETHERNET ボックス) のバージョンアップができます。



1

最新のファームウェアをホームページ AtermStation からダウンロードする

画面左下の [Aterm Station] をクリックすると、ホームページ Aterm Station にリンクします。

ファイルが圧縮されている場合は、解凍します。

[参照] をクリックする

2
3
4
5
6

ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

[更新] をクリックする

[OK] をクリックする

[OK] をクリックする

5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

(次ページに続く)

5-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を設定する

【情報】 – [現在の状態]

TOPページにWL54SE (ETHERNET ボックス) の無線LAN通信状態、ネットワーク情報、装置情報が表示されます。



<無線 LAN 通信状態>

- 通信状態 : 無線の通信状態が表示されます。
ネットワーク名 (SSID) : 無線 LAN のネットワーク名 (SSID) が表示されます。
無線動作モード : 現在使用中の無線動作モードが表示されます。
使用チャネル : 現在接続しているチャネルが表示されます。
受信強度 : 無線電波の受信強度が表示されます。
リンクアップ速度 : リンクアップ速度が表示されます。
暗号化 : 使用している暗号化モードが表示されます。

<ネットワーク情報>

- IP アドレス : WL54SE (ETHERNET ボックス) の IP アドレスが表示されます。
ネットマスク : WL54SE (ETHERNET ボックス) のネットマスクが表示されます。

<装置情報>

- ファームウェアバージョン : WL54SE (ETHERNET ボックス) のファームウェアのバージョンが表示されます。
MAC アドレス (無線) : 無線側の MAC アドレスが表示されます。
MAC アドレス (有線) : ETHERNET ポートの MAC アドレスが表示されます。

[最新状態に更新]

表示を最新状態にしたいときにクリックします。

[チャネルの状態]

クリックするとチャネルの状態画面が表示されます。

【情報】 – [チャネルの状態]

周囲の無線 LAN アクセスポイント（親機）のチャネル状態を表示します。



【リンク】

ホームページ AtermStation、お客様登録のページにリンクしています。

AtermStation では商品情報、資料請求、バージョンアップ、サポート情報など、Aterm について役立つ情報を掲載しています。

※お使いのモデムやルータ、およびパソコンの設定環境によってはリンク先に接続できない場合があります。

※インターネットに接続している場合のみリンク先に接続できます。設定時に DHCP サーバ機能を起動しているときは接続できません。その場合は、WL54SE の IP アドレスをお使いのネットワーク環境に合わせて設定し、設定した IP アドレスでクリック設定 Web 画面を開いてください。(工場出荷時は、192.168.0.220 に設定されています。)



5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

5-4 ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど) を利用する

ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する場合、ネットワークゲームによっては設定が必要な場合があります。あらかじめゲームのWebサイトなどでご確認ください。設定方法には次の方法があります。

- 1.アドバンスドNAT（ポートマッピング）を使う
- 2.PPPoEブリッジを使う
- 3.シングルユーザアクセスモードを使う

アドバンスドNAT（ポートマッピング）を設定する

ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。

該当ゲームは該当のパソコン1台でのみ利用できます。

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動し、「<http://web.setup/>」を入力し、クリック
設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は192.168.0.1です。)

3 ユーザー名に [admin] と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]
をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「詳細設定」の ▼ をクリックし、[ポートマッピング設定]を選択する

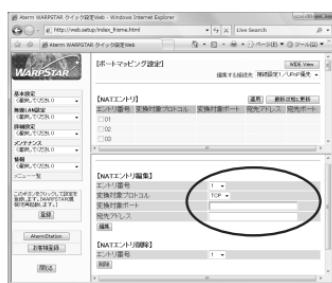
5 「編集する接続先」の ▼ をクリックし、編集する接続先を選択する

5-4 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する

6

[NATエントリ編集] 欄で設定する

- ① [エントリ番号] で空いている番号を選択する
最大50個設定できます。
- ② [変換対象プロトコル] で「TCP/UDP/ESP/AH」から選択する
- ③ [変換対象ポート] でポート番号を指定する
- ④ [宛先アドレス] に上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンのIPアドレス、またはMACアドレスを入力する
※ただし、MACアドレス指定は、DHCPサーバ機能が有効になっているときのみ適用されます。
※ MACアドレス指定は、無線LAN端末（子機）ではご使用になれません。



7

[編集] をクリックする

8

[最新状態に更新] をクリックする

9

[NATエントリ] 欄で設定したエントリ番号を☒にする

10

[NATエントリ] 欄で [適用] をクリックする

11

[登録] をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）が再起動します。

5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

● お願い

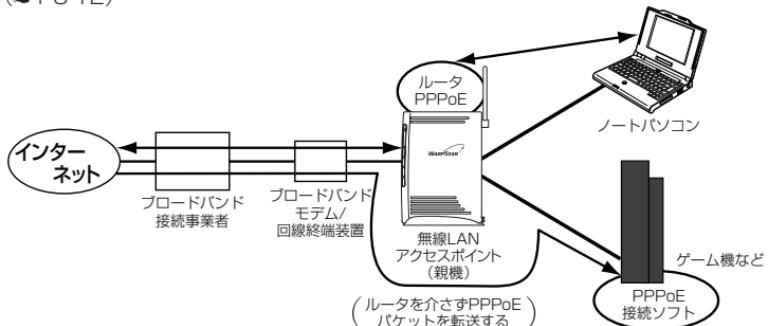
- ポート、プロトコルについてはアプリケーションの提供元に確認してください。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 8 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。
(☞P3-12)



■ PPPoE ブリッジ機能でできること

(1) 次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

● Windows® XP の場合

- リモートデスクトップ
- リモートアシスタンス

● Windows Vista™ の場合

- リモートデスクトップ
- Windows リモートアシスタンス
- Windows ミーティングスペース

(2) PPPoE 対応のゲーム機 (PlayStation®2 など) を接続できます。

(3) PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続しているプロードバンドモデル／回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

○ お願い

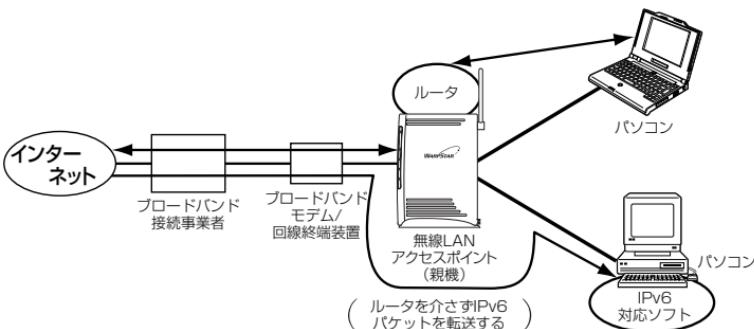
- アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどを使いになることをお勧めします。

5-4 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する

IPv6 ブリッジ機能

IPv6 (Internet Protocol Version 6) プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6 ブリッジ機能を使用して、IPv6 による通信を行うことができます。有線側、無線側それぞれについて、ブリッジ機能の使用可否を設定することができます。本商品とパソコン側の設定が必要です。本商品の設定方法については、「[⑤ 機能詳細ガイド](#)」を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコン側の設定をすることで、利用できます。



お知らせ

- Ethernet タイプの無線 LAN 端末（子機）から無線接続して IPv6 ブリッジ機能をご利用になる場合は、拡張クライアントモードに対応した WL54SE をご利用ください。（WL54TE/WL11E2 ではご利用になれません。）
なお、WL54SE を拡張クライアントモードに対応させるために、ファームウェアのバージョンアップが必要な場合があります。ホームページ AtermStation の「ダウンロード」 - 「バージョンアップ」にてご確認ください。
- ブロードバンド映像配信の一部のサービスは、無線で利用できない場合があります。
セットトップボックスは本商品に接続し、有線 LAN 接続でご利用ください。

お願い

- パソコン側の設定方法は、お使いのプロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「IPv6 ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

シングルユーザアクセスモード

シングルユーザアクセスモードとは、一時的に全ポートを独占利用することで、チャットやゲームなどのネットワークアプリケーションを利用する際簡単に利用を可能とするモードです。シングルユーザアクセスモードに設定することで、具体的なTCP／UDPポートの設定をすることなく、また、他の人からの相乗りを禁止（排他利用）したい時などでも利用することができます。

※自動接続において、「常時接続」設定では、「シングルユーザアクセス」を利用することができません。必ず、「要求時接続」に変更してください。なお、「要求時接続」では、「通常動作」「シングルユーザアクセス」とともに利用が可能です。

※「シングルユーザアクセスモード」では、外部からのアクセスが可能な状態になり、セキュリティが低下します。

シングルユーザアクセスモードは、各メーカーから提供されているTCP／UDPポートの設定情報で動作しないゲームやアプリケーションがある場合のみ使用し、利用時以外は切断することをお勧めします。

（接続後、切断するには、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」で【全切断→接続拒否】をクリックします。）



PPPoE ブリッジとシングルユーザアクセスモードの違いと使い分け

PPPoE ブリッジとシングルユーザアクセスモードには次のような違いがあります。特定のポート番号を固定できないアプリケーションを使う場合や、外部からの接続が必要なアプリケーションを使う場合は、お使いの環境に合わせて、PPPoE ブリッジ機能または、シングルユーザアクセスモードをお使いください。

PPPoE モードでお使いの場合は、PPPoE ブリッジをお勧めします。ローカルルータでお使いの場合は、シングルユーザアクセスモードをお勧めします。

	PPPoE ブリッジ機能	シングルユーザアクセスモード
利用条件	PPPoE モードの場合のみ	PPPoE モード／ルータモード（ローカルルータモード）
IP アドレス	グローバル IP アドレスを取得可	ローカル IP アドレスのみ
自分以外の利用	利用可（※）	利用不可
専用ソフト	必要	不要

※ご契約の接続事業者によって異なります。

■設定方法

<クリック設定 Web >

パソコンを起動する

1

2 WWW ブラウザを起動し、「<http://web.setup/>」を入力し、クリック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開けます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

3

ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4

インターネット接続先を設定する

「3章 クリック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」(☞P3-1) または、「つなぎかたガイド」を参照してください。

5

「基本設定」の ▼ をクリックし [基本設定] を選択し、[自動接続] 欄の接続モードは「要求時接続」を選択する

6

[設定] をクリックする

7

「詳細設定」の ▼ をクリックし [高度な設定] を選択し、「NAT モード」は「シングルユーザアクセス」を選択する



8

「通常動作」を選択していた場合は「通常動作以外では、UPnP 機能、DMZ 機能を利用できません。…」画面が表示され、すでに「複数固定 IP サービス」を選択していた場合は、「複数固定 IP サービスを無効にした…」画面が表示されるので、[OK] をクリックする

5

WARPSTAR を
活用しよう

5-4 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する

9

【設定】をクリックする

10

【登録】をクリックする



お知らせ

- シングルユーザアクセスモードに設定した場合、「DMZホスティング機能」、「複数固定IPサービス」、「UPnP機能」、「PPPoEマルチセッション」との併用はできません。

5-5 ゲーム機を接続する

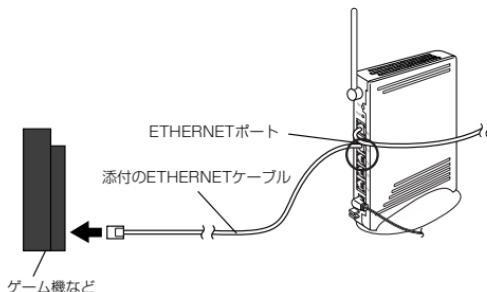
無線 LAN アクセスポイント（親機）にゲーム機を接続する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートにゲーム機を接続することができます。

1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートとゲーム機を ETHERNET ケーブルで接続する

ETHERNET ポートに力チッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



2

ETHERNET ポート状態表示 LED が緑または赤点灯することを確認する

■無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定は、WARPSTAR に接続された別のパソコンから行うか、ゲーム機で WWW ブラウザが使用できる場合には、クイック設定 Web で設定します。

＜クイック設定 Web で設定する＞

「3章 クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」(☞P3-1)

※ PlayStation® 2 用「PlayStation® BB Navigator」で設定できるのは、「らくらく Web ウィザード」のみです。

WL54SE (ETHERNET ボックス) にゲーム機を接続する

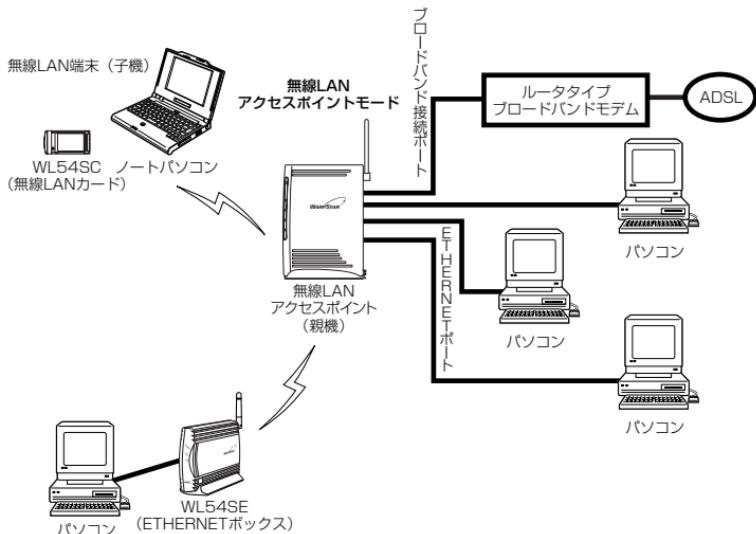
WL54SE (ETHERNET ボックス) を無線 LAN 端末（子機）として使用して無線でゲーム機を接続することができます。

その場合は、らくらく無線スタート (☞P5-46) で設定を行うか、いったんパソコンからクイック設定 Web (☞P5-50) で設定を行ったあと、ゲーム機に接続し直してください。

5-6 無線 LAN アクセスポイントとして使う(ルータ機能を停止する)

本商品では、無線 LAN アクセスポイントモードを利用して、既存の LAN に無線のアクセスポイントとして接続したり、ルータタイプのブロードバンドモdemや、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。

本モード設定によりルータ機能が停止し、ハブおよび無線 LAN アクセスポイントとして動作します。



お知らせ

- ルータタイプのブロードバンドモdemと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて無線 LAN アクセスポイントモードをご利用ください。
 - ・ 本商品の持つルータ機能を使用しないとき
 - ・ ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスルーブットを十分に引き出すことができないとき

無線LANアクセスポイントモード設定

無線LANアクセスポイントモードの設定は、らくらくスタートボタン（SETスイッチ）か、らくらくWebウィザードで行います。

●らくらくスタートボタン（SETスイッチ）で設定する場合

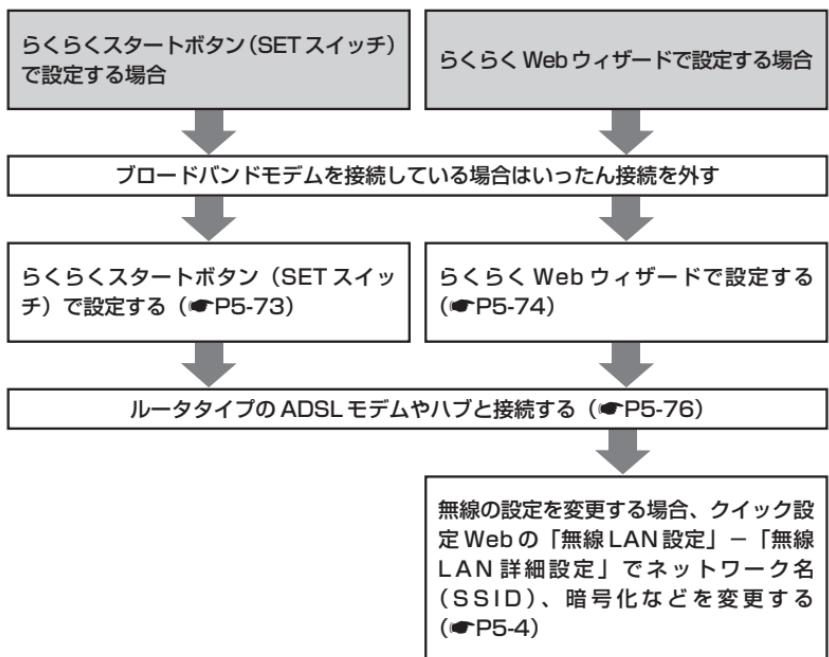
→無線LANアクセスポイント（親機）の設定値を工場出荷時状態のまま変更せずにご利用になる場合は、この設定方法をお勧めします。

設定の際は、無線LANアクセスポイント（親機）の設定値が、いったん初期化されます。初期化を行うと、本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

●らくらくWebウィザードで設定する場合

→無線LANアクセスポイント（親機）の設定値を変更する予定がある場合は、この設定方法をお勧めします。

設定手順は下記の通りです。





無線LANアクセスポイントモードに設定(ルータ機能を停止) した場合のご注意

●無線LANアクセスポイントモードで、「らくらく無線スタート」を行う場合は、必ず、ブロードバンドモ뎀などDHCPサーバ機能を持った機器を本商品に接続した状態で行ってください。

●無線LANアクセスポイントモードで、クイック設定Webを開く場合は、「<http://web.setup/>」およびデスクトップの【クイック設定Web】アイコンから開くことはできません。

→無線LANアクセスポイントモードでのクイック設定Webの開き方は下記の通りです。

(無線LANアクセスポイントモードの設定方法によって開き方が異なりますのでご注意ください。)

くらくらくスタートボタンで無線LANアクセスポイントモードに設定した場合>
パソコンのIPアドレスを「192.168.0.XXX」(XXXは2~199,211
~254で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)に固定に
設定したあと、WWWブラウザのアドレスに、「<http://192.168.0.210/>」
と入力して開きます。

くらくらくWebウィザードで無線LANアクセスポイントモードに設定した場合>
WWWブラウザのアドレスに、くらくらくWebウィザードでの設定で指定
したIPアドレスを入力して開きます。(例：<http://192.168.0.210/>)
※ブロードバンドモ뎀などDHCPサーバ機能を持った機器を接続して
いないときは、パソコンのIPアドレスを、くらくらくWebウィザード
での設定で指定したIPアドレスと同じネットワーク体系に固定に設定
してから、この方法で開きます。

●無線LANアクセスポイントモードで、セテライトマネージャの親子同時設定を行なう場合は、無線LANアクセスポイント(親機)の検出で失敗してしまいます。

→失敗時に指定する無線LANアクセスポイント(親機)のIPアドレスを、下記の方法で指定してください。

くらくらくスタートボタンで無線LANアクセスポイントモードに設定した場合>
パソコンのIPアドレスを「192.168.0.XXX」(XXXは2~199,211
~254で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)に固定に
設定したあと、無線LANアクセスポイント(親機)の検出で失敗した時
に指定するIPアドレスを「192.168.0.210」と入力します。

くらくらくWebウィザードで無線LANアクセスポイントモードに設定した場合>
無線LANアクセスポイント(親機)の検出で失敗した時に指定するIPア
ドレスは、くらくらくWebウィザードでの設定で指定したIPアドレス
(例：192.168.0.210)を入力します。

※ブロードバンドモ뎀などDHCPサーバ機能を持った機器を接続して
いないときは、パソコンのIPアドレスを、くらくらくWebウィザード
での設定で指定したIPアドレスと同じネットワーク体系に固定に設定
してから、この方法で入力します。

らくらくスタートボタン（SETスイッチ）で設定する

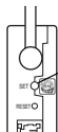
らくらくスタートボタン（SETスイッチ）を使用して、無線LANアクセスポイントモードに設定します。無線LANアクセスポイント（親機）の設定値が初期化され、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。



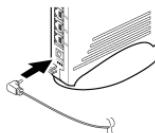
- 本商品の無線設定を変更（SSIDや暗号化の設定を変更）した後に、この方法で切り替えると、切り替え前に接続できていた無線LAN端末（子機）から接続できなくなります。
→無線設定が工場出荷時の状態に戻っていますので、再度、本商品と無線LAN端末（子機）との無線設定を行ってください。（☞P5-11）

1 無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタのプラグをいったん外して、約10秒待つ

2 無線LANアクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を押しながら、ACアダプタのプラグを接続し、POWERランプ以外のすべてのランプが緑点滅したら、らくらくスタートボタン（SETスイッチ）を離す



らくらくスタートボタン
(SETスイッチ)



3 PPPランプが橙点灯することを確認する



お知らせ

- この方法で設定したあとに、ルータモード（ローカルルータモード）に変更する（ルータ機能を使用する）場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☞P6-28）、クリック設定Web（らくらくWebウィザード）で本商品の設定をはじめから行ってください。（☞P3-4）

「ルータタイプのADSLモデムやハブと接続する」（☞P5-76）に進みます。



5-6 無線 LAN アクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

らくらく Web ウィザードで設定する

※らくらく Web ウィザードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。無線 LAN アクセスポイント（親機）をすでにルータとしてお使いの場合は一度初期化してから設定を行ってください。（☞P6-28）
(初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。)

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クリック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開けます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

3 管理者パスワードの初期設定を行う

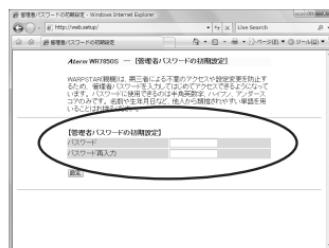
画面に従ってパスワードを設定してください。

一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

●管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。

管理者パスワードメモ欄



4 [設定] をクリックする

5 利用している接続回線を選択し、[次へ] をクリックする



5-6 無線LANアクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

6 [動作モード] の [ルータ機能] で [使用しない（アクセスポイントモード）] を選択し、[次へ] をクリックする



7 [IPアドレス／ネットマスク] で無線LANアクセスポイントのIPアドレス／ネットマスクを設定する

●接続するルータタイプのモードによって設定するIPアドレスは異なります。ご確認のうえ設定してください。

(例) ルータタイプのADSLモデムのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合
IPアドレス : 192.168.0.210など

ADSLモデム 他の機器で
と同じ値 未使用の値

ネットマスク: 255.255.255.0

8 入力が完了したら、[設定] をクリックする



「ルータタイプのADSLモデムやハブと接続する」(☞P5-76)に進みます。



※フレッツ・光プレミアムに接続する際の設定例は、画面の〈参考〉をご確認ください。

5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

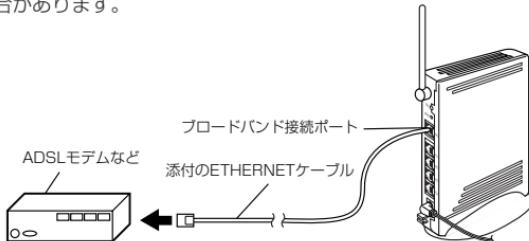
ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

必要があれば無線 LAN アクセスポイント（親機）とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

- 1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にあるブロードバンド接続ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



- 2 ADSL モデムのなど電源を入れる

- 3 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯することを確認する

ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯すれば、ADSL モデムは正しく接続されています。



お知らせ

- らくらく Web ウィザードで設定した場合、無線の設定を変更するときは、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 詳細設定」でネットワーク名 (SSID)、暗号化などを変更します。（☞P5-4）
※クイック設定 Web を開く場合は、「①無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☞P5-72）を参照してください。

5-7 TV電話をする(Windows Messenger およびMSN Messengerの利用方法)

本商品とパソコンの UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能を利用して、TV電話をするなど、パソコンの Windows Messenger や MSN Messenger の次の機能をご利用になることができます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「⑧機能詳細ガイド」を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。

○：使用できます。

-：Windows Messenger の機能としてありません。

機能名	Windows® XP-XP 間の通信	Windows® XP-Me 間の通信	Windows® Me-Me 間の通信
ファイル転送	○	利用不可（※2）	利用不可（※2）
音声チャット	○	○	○
ビデオチャット（※1）	○	-	-
アプリケーション共有（※1）	○	-	-
ホワイトボード（※1）	○	-	-
リモートアシスタンス (ファイル転送機能)（※1）	○	-	-
WebCam（※3）	○	○	○
背景の共有（※3）	○	○	○
表示アイコンの変更（※3）	○	○	○
ゲーム（※3）	○	○	○

※1 Windows® XP のみの機能です。

※2 「ファイル転送」の機能は、Windows® XP 以外の OS では UPnP に未対応であり、ご利用になれません。

※3 Windows® XP/Windows® Me 共、MSN Messenger6.1/6.2 を使用した場合のみ使用できます。



- UPnP 機能は、Windows® XP または Windows® Me のパソコンでのみご利用になれます。
- フレッツ・ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジ機能を使用することで、1 台のパソコンのみで利用ができます。
- ルータタイプの ADSL モデムにルータモード（ローカルルータモード）で接続している時は、上記の機能はご利用になれません。ADSL モデムを PPPoE ブリッジモードに切り替えて本商品を PPPoE モードに設定するか、本商品を無線 LAN アクセスポイントモードに設定してお使いください。

5-8 ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WR7850S（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、WR7850S（親機）の操作を改善します。

[用語] ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

AtermStation からダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

● お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分間）は絶対に WR7850S（親機）の電源を切らないでください。
- ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ（Windows Vista™およびWindows® XP の場合は「通知領域」）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■ ファームウェアをバージョンアップする

● ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、AtermStation に新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のトップ画面に【ファームウェア更新】のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、ご利用になれません。

(注) 本機能は、常に本商品の電源が ON になっており、かつインターネットに接続されている必要があります。

また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。



本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。

詳しくは、AtermStation（ホームページ）をご覧ください。

●自動更新(オンラインバージョンアップ)

クリック設定Webからフームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できる必要があります。

※無線LANアクセスポイントモードに設定している場合は、ご利用になれません。

1 クリック設定Webを起動する

2 ユーザー名に [admin] と入力し、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックする

3 「メンテナンス」の ▾ をクリックし、「フームウェア更新」を選択する

4 [自動更新（オンラインバージョンアップ）]を選択する



5

活用しよう
WARPSTAR を

5 [更新]をクリックする

6 [OK]をクリックする



7 次の画面が表示されるので、電源コンセントを取り外さずそのまましばらく待つ



5-8 フームウェアやユーティリティをバージョンアップする

8

次の画面で、最新のフームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックする

[現在のバージョン]と[最新のバージョン]が同じ場合はここで終了です。[閉じる]をクリックして、クイック設定Webを閉じます。



9

しばらくすると、クイック設定Web画面に「フームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示される

●バージョンアップの途中で電源を切らないでください。



10

[OK]をクリックする



■ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページ AtermStation から、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「 機能詳細ガイド」を参照してください。

1 AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) にアクセスする

2 「ダウンロード」 - 「バージョンアップ」にて、お使いの機種を選択する

3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする

4 ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する

5 ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

インストールが始まります。

詳細は、各ユーティリティのセットアップのページや AtermStation の説明をお読みください。

5

活用しよう
WARPSTAR を

5-9 他の無線 LAN 端末（子機） から接続する

無線 LAN アクセスポイント（親機）へ他の無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、次の手順で設定を行ってください。

Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）

Aterm シリーズ以外の無線 LAN 端末（子機）の場合は、P5-84 へ進んでください。
※については P5-85 を参照してください。

WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL54SU/WL54TU/WL54SE/WL54TE

(※1)

設定方法を確認し、無線 LAN 端末（子機）側の設定を行います。

らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SC/WL54AG/WL54SU/WL54TU の場合

「5-2 無線 LAN 端末（子機）の通信の設定をする」の「らくらく無線スタートで設定する」(☞P5-16) 参照
(WL54AG/WL54TU の場合は、WL54SC/WL54SU を WL54AG/WL54TU と読み替えて設定してください。)

WL130NC の場合 (※2)

無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書および CD-ROM を使用して、らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SE の場合

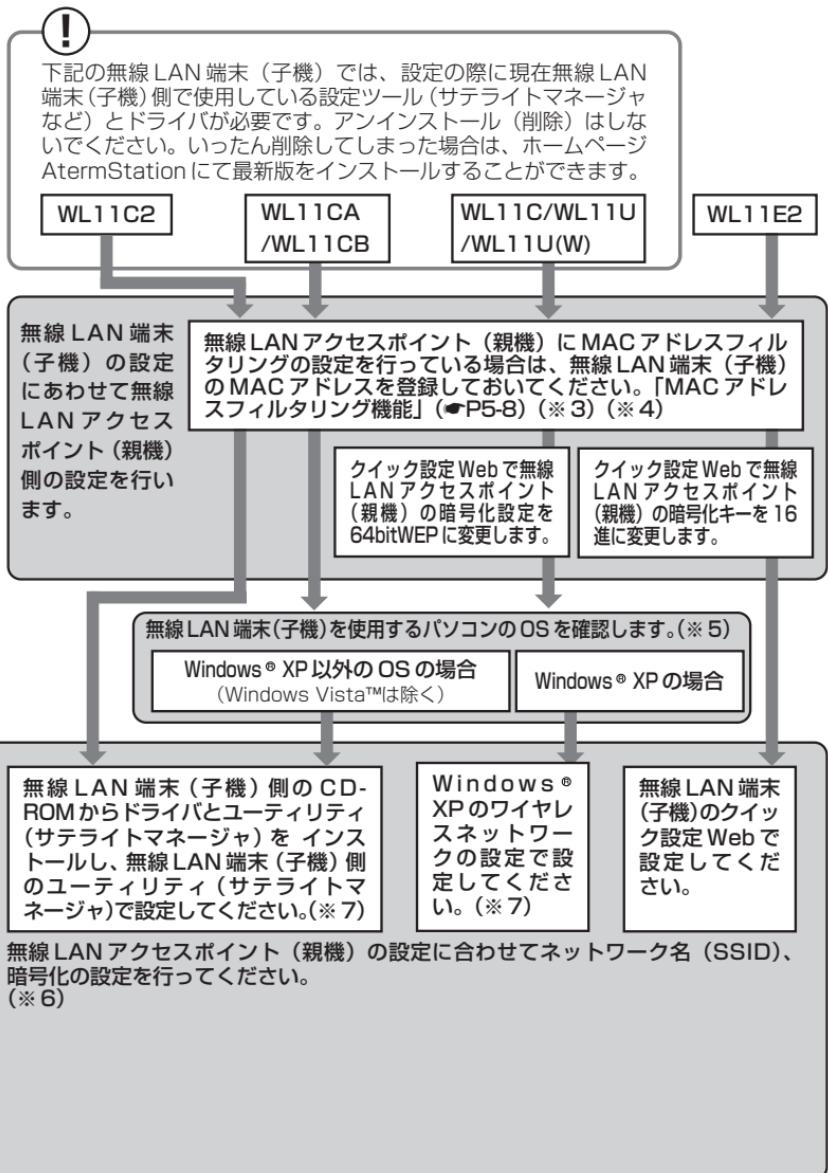
「5-3 WL54SE(ETHERNET ポックス)を設定する」(☞P5-46) 参照

WL54TE の場合

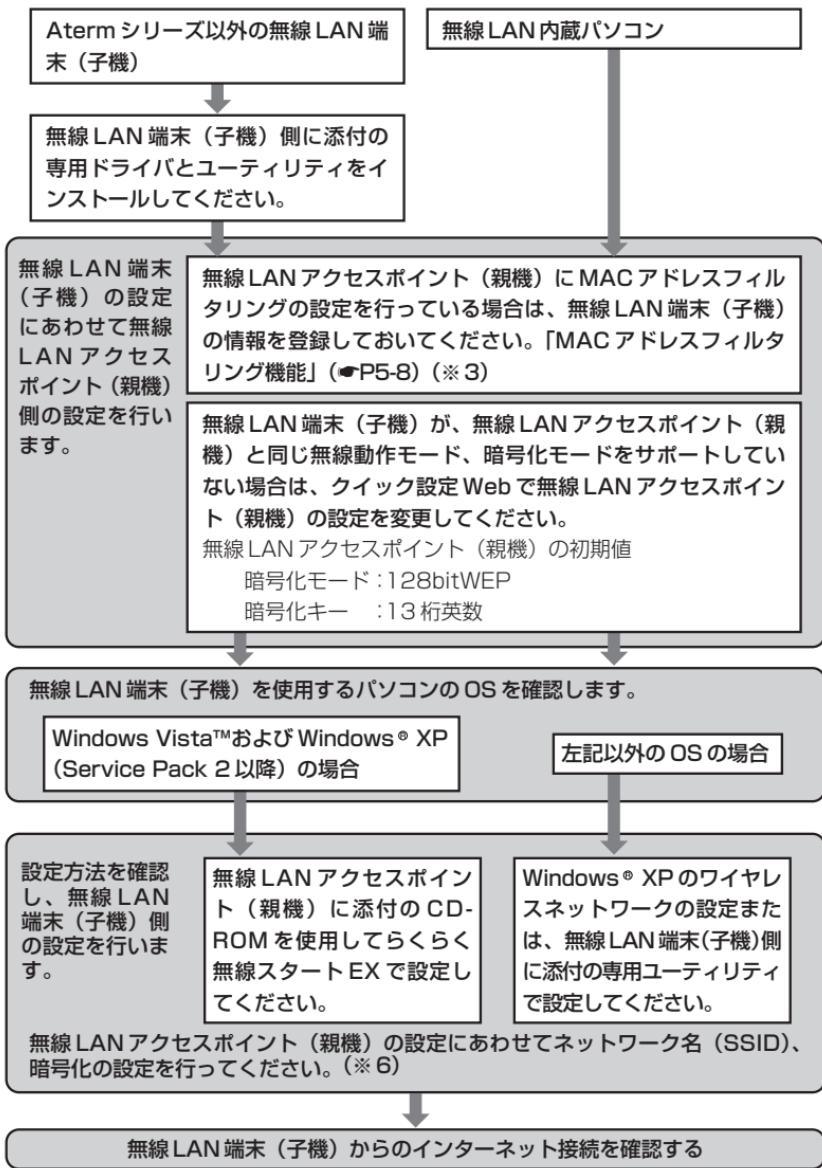
機能詳細ガイドを参照

*らくらく Web ウィザードでの設定は 1 台目のパソコンからの設定が無線 LAN アクセスポイント（親機）に書き込まれていますので設定の必要はありません。

無線 LAN 端末（子機）からのインターネット接続を確認する



Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）



- ※ 1 WL54SC、WL54AG、WL54SU、WL54TU を追加で接続する場合は本商品に添付の CD-ROM を使用して設定してください。
 - ※ 2 WL130NC は、IEEE802.11g+b でのみ、本商品に接続できます。
 - ※ 3 すでにインターネット接続が可能な場合、MAC アドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。
 - ※ 4 WL54SE/WL54TE (ETHERNET ボックス)、WL11E2 (ETHERNET ボックス) の場合は WL54SE/WL54TE (ETHERNET ボックス)、WL11E2 (ETHERNET ボックス) に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスも登録してください。
 - ※ 5 使用できる OS は接続する無線 LAN 端末（子機）によって異なります。
 - ※ 6 無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に貼ってある無線 LAN 設定ラベルに記載されています。
 - ※ 7 Windows VistaTMまたは Windows[®] XP (Service Pack 2 以降) のパソコンでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の CD-ROM を使用して、らくらく無線スタート EX で設定することもできます。
- ※ 本商品は IEEE802.11a モードにおいて新チャネル (W52/W53) に対応しています。新しいチャネル (W52/W53) と従来のチャネル (J52) は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。
- 以下の相互通じ一覧表を参照のうえ、ご注意ください。
- バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

無線 LAN 端末（子機） 無線 LAN アクセス ポイント（親機）	従来の IEEE802.11a 対応 無線 LAN 端末（子機）	WL54SC/WL54SU /WL54SE (新 IEEE802.11a 対応)
WR7850S (新 IEEE802.11a 対応)	×	○ (W52/W53)
従来の IEEE802.11a 対応 無線 LAN アクセスポイント（親機）	○ (J52)	○ (J52)
従来の IEEE802.11a 対応の無線 LAN アクセスポイント（親機）で新チャネル に対応した場合	×	○ (W52)

○：新チャネル「36,40,44,48ch (W52)」「52,56,60,64ch (W53)」を使用して、最大 8 チャネルが利用可能です。

○：新チャネル「36,40,44,48ch (W52)」または従来チャネル「34,38,42,46ch (J52)」を使用して、最大 4 チャネルが利用可能です。

×：利用不可。



お知らせ

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できる無線 LAN 端末（子機）は「7-2 別売りオプション」(P7-8) やホームページ AtermStation (「動作検証情報」—「無線 LAN 製品接続確認情報」) で確認してください。

5-10 無線 LAN 内蔵パソコン から接続する

無線 LAN 内蔵のパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線で接続してブロードバンドインターネット接続することができます。接続できる NEC 製ワイヤレス機器についてはホームページ AtermStation（「動作検証情報」－「無線 LAN 製品接続確認情報」）にて公開しています。

- ・お使いになる無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack 2 以降) の場合、らくらく無線スタート EX で無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線接続の設定を簡単に行うことができます。（☞P5-87）
- ・お使いになる無線 LAN 内蔵パソコンが Windows® XP (Service Pack 1 以前) の場合は「ワイヤレスネットワークの設定で設定する（Windows Vista™/Windows® XP の場合）」（☞P5-93）を参照してください。

● お願い

- 設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。（Windows® XP の場合でも専用のユーティリティを使用する場合があります。）設定方法の詳細については、パソコンなどのメーカーにお問い合わせください。
- パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線動作モードを変更する必要があります。クリック設定 Web で変更します。
 - ・ IEEE802.11g+IEEE802.11b モード（初期値）
 - ・ 暗号化キー（128bit WEP）の出荷時の設定値は本体底面のラベルを参照してください。
- IEEE802.11a (J52のみ) 対応無線 LAN 内蔵パソコンでは使用する周波数帯／チャネルが異なるため、IEEE802.11a での通信はご利用になれません。IEEE802.11g+b モードでご利用ください。
- Super AG 対応の無線 LAN 内蔵パソコンをご利用の場合は Super AG 機能を利用した高速な無線 LAN 通信がご利用になります。対応機器についてはホームページ AtermStation にてご確認ください。
- 2005年5月以降のNEC製の個人向けパソコン（LaVie）では、あらかじめらくらく無線スタート EX が収録されている場合があります。その場合はパソコンの取扱説明書などを参照してインストールしたあと、「らくらく無線スタート EX で設定する（☞P5-90）」へ進んでください。

らくらく無線スタート EX で設定する (Windows Vista™/Windows® XP (Service Pack 2以降) の場合のみ)

らくらく無線スタート EX は、無線 LAN 内蔵パソコンまたは無線 LAN 端末（子機）で Windows Vista™または Windows® XP (Service Pack 2以降) のワイヤレスネットワーク設定を使って設定している場合にご使用になれます。

設定の際には、「**(!)らくらく無線スタート EX で設定を行う場合のご注意**」(☞P5-89) を参照してください。

くらくらく無線スタート EX で設定できる無線 LAN 端末（子機）の例

- ・無線 LAN 内蔵パソコン (Windows Vista™または Windows® XP (Service Pack 2以降) 搭載)
- ・Windows Vista™または Windows® XP (Service Pack 2以降) 搭載のパソコンで、WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL54SU/WL54TU/WL54SE/WL54TE 以外の Aterm 無線 LAN 端末（子機）や他社製の無線 LAN カードをお使いの場合

らくらく無線スタート EX をインストールする

次の手順でらくらく無線スタート EX をインストールします。

1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯するなどパソコンのワイヤレス機能が使用でき、Windows Vista™または Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定から無線設定ができる状態になっていることを確認する

※ 無線設定を無線 LAN 内蔵パソコンや無線 LAN 端末（子機）の専用ユーティリティで行っている場合は、らくらく無線スタート EX で設定できません。専用ユーティリティの停止方法などそれぞれのパソコンのワイヤレス機能の使い方についてはご使用になっているパソコンや無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書をご覧ください。

2 Windows Vista™または Windows® XP を起動する
Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

3 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
[自動再生] 画面が表示された場合は、[Menu.exe の実行] をクリックします。
「メニュー画面」が表示されます。
「メニュー画面」が表示されないときは (☞P 前文-16)

4 [Aterm 以外の子機 (無線 LAN 内蔵パソコンなど) で「らくらく無線スタート EX」から接続設定する] の [CLICK] をクリックする
※ Windows Vista™をご利用の際、ユーザー アカウント制御の画面が表示された場合（タスクバーに表示される場合もあります。）は、「許可」をクリックします。

5
活
用
し
よ
う
W
A
R
P
S
T
A
R

(次ページに続く)

5-10 無線LAN内蔵パソコンから接続する

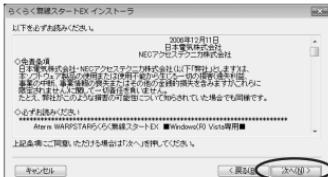
5 [次へ] をクリックする



6 [次へ] をクリックする



7 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする



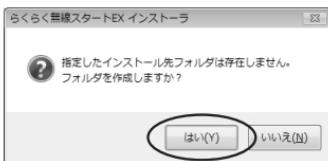
8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。

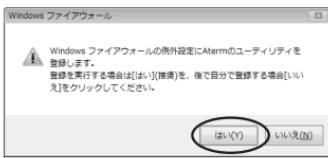


9 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする

インストールが開始されます。



10 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



11

【今すぐ「らくらく無線スタート EX」を起動する】にチェックが入っている（）ことを確認し、【完了】をクリックする

インストールが完了し、らくらく無線スタート EX が起動します。



5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

① らくらく無線スタート EX で設定を行う場合のご注意

- らくらく無線スタート EX で設定を行う場合の利用条件は下記の通りです。
なお、下記条件を満たしていてもパソコンの環境や使用するアダプタとの相性的な問題により正しく動作しない場合もあります。

【パソコンのOS】

Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack 2以降) であること
(Windows® XP (Service Pack 1以前) /2000Professional/Me/98SE/98では動作しません。)

【無線 LAN 端末（子機）または無線 LAN 内蔵パソコンの無線 LAN アダプタ】

- ・Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack 2) のワイヤレスネットワーク設定を使って設定および制御されていること
- ・専用のユーティリティは終了していること（利用不可状態でも通知領域（タスクトレイ）に常駐していると正しく動作しない場合があります。）
- ・接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定されている無線動作モードおよび暗号化モードに対応していること
- ・使用する無線 LAN アダプタ以外のネットワークアダプタが無効になっていること

- 動作検証済みの機器については、ホームページ AtermStation にて順次公開予定です。
動作検証済みの無線 LAN アクセスポイント（親機）以外に接続する場合はらくらく無線スタート EX による自動設定はできません。

5-10 無線LAN内蔵パソコンから接続する

らくらく無線スタートEXで設定する

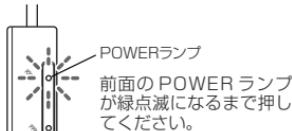
- 1 次の画面が表示されることを確認する
※1分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。



らくらく無線スタートEXを起動するには

あとから、らくらく無線スタートEXを起動するときは、[スタート] をクリックし、[プログラム] - [らくらく無線スタートEX] - [らくらく無線スタートEX] をクリックします。

- 2 無線LANアクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を押し、前面のPOWERランプが緑点滅になったら離す



POWERランプが約10秒間赤点灯した場合は、らくらく無線スタートに失敗しています。無線LANアクセスポイント（親機）側の暗号化を設定してください。（☞P5-4）MACアドレスフィルタリングで接続できる無線LAN端末（子機）の登録がいっぱいになっていないことを確認してください。（☞P5-8）確認後、再度手順1から設定を行ってください。

3

らくらく無線スタートの準備ができているか確認する

※ 30 秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

無線 LAN 内蔵パソコン

次の画面が表示されることを確認します。



無線 LAN アクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面の POWER ランプが橙点滅します。

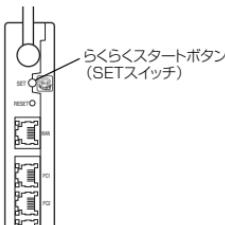


どちらか片方しか上記の状態になっていない場合は、他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。

無線 LAN 内蔵パソコンで [キャンセル] をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1 から設定をやり直してください。

4

もう一度無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、手順 5 の前面の POWER ランプが橙点灯状態になったら離す



5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

(次ページに続く)

5-10 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

5

無線設定が完了していることを確認する

無線 LAN 内蔵パソコン

次の画面が表示されることを確認します。

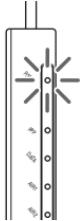


無線 LAN アクセスポイント（親機）

前面の POWER ランプが約 10 秒間橙点灯することを確認します。



失敗した場合は、
POWER ランプ
が約 10 秒間赤
点灯します。手
順 1 から設定を
やり直してください。



※前面の POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

6

パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

らくらく無線スタート EX での無線設定が完了します。



- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「MAC アドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線 LAN 端子（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタート EX での無線設定登録のときに、MAC アドレスフィルタリングにも新たに登録されます。
ただし、MAC アドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタート EX は失敗になります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタート EX での設定をすることができます。

ワイヤレスネットワークの設定で設定する (Windows Vista™/Windows® XP の場合)

Windows Vista™またはWindows® XPのワイヤレスネットワークの設定を使って無線 LAN 内蔵パソコンと無線 LAN アクセスポイント(親機)との無線通信の設定を行う場合は次の手順で行います。

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書を参照して設定してください。

Windows Vista™の場合は、P5-31 を参照してください。ここでは、Windows® XP の場合を例に説明しています。

※ Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack 2 以降) のパソコンをご使用の場合は、らくらく無線スタート EX で設定することができます。(☞P5-87)

1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能がONになっていることを確認する

- ・点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
- ・それぞれのワイヤレススイッチの ON / OFF のしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [ネットワーク接続] をクリックする

「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックする

ご使用のパソコンが Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は画面が異なりますので、次ページを参照してください。

①[ワイヤレスネットワークの表示] をクリックする。

②ワイヤレスネットワークの選択画面で接続する無線 LAN アクセスポイント(親機)のネットワーク名「WARPSTAR-XXXXXX」を選択し、[接続] をクリックする。

③P5-36 を参照して暗号化の設定をする。

※無線 LAN アクセスポイント(親機)は初期状態で暗号化が設定されています。

5
活
用
し
よ
う
W
A
R
P
S
T
A
R



(次ページに続く)



お知らせ

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、一度無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切り、再び電源を入れた後で、無線 LAN アクセスポイント（親機）前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、[ネットワーク一覧（最近の情報に更新）] をクリックしてください。
- ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が有効となっている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されません。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してやり直してください。



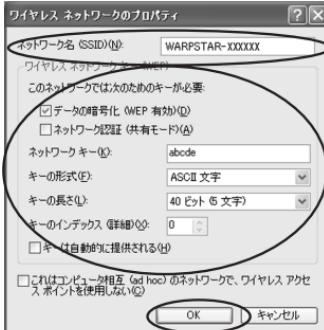
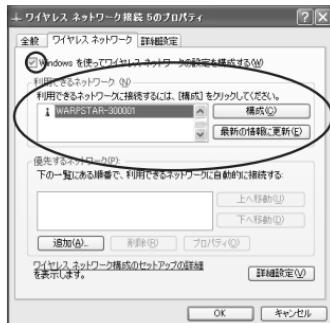
Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は

①「Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する

②[最新の情報に更新] をクリックし、「利用できるネットワーク」欄から接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、「構成」をクリックする「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時のネットワーク名（SSID）、暗号化キー（WEP）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（●P5-36）

③ネットワーク名（SSID）と暗号化設定を確認して [OK] をクリックする無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時のネットワーク名（SSID）、暗号化キー（WEP キー）は、底面のラベルに記載されていますので、参照して入力してください。



(右上に続く)

- セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを困難にすることができます。
 - 無線 LAN アクセスポイント（親機）で暗号化キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーの設定方法、確認方法については、P5-4 を参照してください。ただし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化の設定が 152bitWEP や AES、TKIP を使用している場合は、接続できない場合があります。
 - キーのインデックス（詳細）を無線 LAN アクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。ただし、Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合は、キーのインデックス（詳細）が 0～3 と表示されますので、1～4 と読み替えてください。（数字が 1 つずれていますので注意してください。）
- ④ [OK] をクリックする
しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。



WARPSTAR の設定

クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行います。

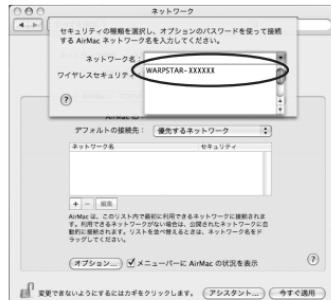
■クイック設定 Web で設定する

「3章 クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」(☞P3-1) を参照して設定を行ってください。

5-11 AirMac 対応のパソコン から接続する

画面表示は Mac OS のバージョンなどにより、変わることがあります。
ここでは Mac OS X (v10.4 Tiger) の場合を例に説明しています。

- 1 アップルメニューの【システム環境設定】 - 【ネットワーク】アイコンをクリックする
- 2 [表示] を [AirMac] にして、[AirMac] タブをクリックする
- 3 [デフォルトの接続先] を [優先するネットワーク] にする
- 4 **[+]** をクリックする
- 5 [ネットワーク名] の **[▼]** をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を選択する
 ※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名 (SSID)、暗号化キー（WEP キー）は無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面のラベルに記載されています。（●P5-36）



お知らせ

- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) が有効となっている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) が表示されません。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) は無効にしてください。

- 6 [ワイヤレスセキュリティ] の **[▼]** をクリックして [WEP パスワード] を選択し、[パスワード] で無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー（無線 LAN アクセスポイント（親機）底面に記載）を入力して、[OK] をクリックする



7

[今すぐ適用] をクリックする

※ 他のネットワーク名がリストの一番上に表示されている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をリストの一番上にドラッグしてから、[今すぐ適用] をクリックしてください。



8

画面を閉じる

5

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う



お知らせ

Mac OS 9.2.2をご利用の場合

● Mac OS 9.2.2 のバージョンをご使用の場合は、次の手順で設定します。

- ① AirMac に接続した Macintosh を起動する
- ② アップルメニューから [コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択する
- ③ 経由先を [Air Mac]、設定方法を [DHCP サーバを参照] に変更する
 - ※ AirMac 対応でないパソコンの場合は、経由先で [Air Mac] を選択できません。
- ④ [TCP/IP] の画面を閉じる
- ⑤ [保存] をクリックする
- ⑥ アップルメニューから [Air Mac] を選択する
- ⑦ [非公開ネットワークの選択を許可する] のチェックを入れる
- ⑧ [ネットワークの選択] のプルダウンメニューから、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択して、パスワードを入力する
 - ※ ネットワークの選択リストに無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）がない場合は、「[その他・・・]」を選択して、「[名前]」に無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）、[パスワード] に暗号化キーを入力します。
 - ※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面のラベルに記載されています。
- ⑨ [OK] をクリックして画面を閉じる

ご参考

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

6章 お困りのときには	6-1
7章 付録	7-1

ご参考

- Windows Vista™ は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

ご参考

6

お困りのときには

6-1	トラブルシューティング	6-2
6-2	無線 LAN アクセスポイント（親機） を初期化する	6-28
6-3	WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化する	6-30

6

6 お困りのときには

6-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「 機能詳細ガイド」の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化し（ P6-28）、初めから設定し直してください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（ 機能詳細ガイド）

- ・ 設置に関するトラブル（ 下記）
- ・ ユーティリティに関するトラブル（ P6-16）
- ・ ご利用開始後のトラブル（ P6-24）
- ・ 添付の CD-ROM に関するトラブル（ P6-27）

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプは点灯していますか？

→いいえ
(a 参照  P6-3)

↓ はい

無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED は緑または赤点灯していますか？

→いいえ
(b 参照  P6-3)

↓ はい

無線 LAN 通信はできていますか？

無線 LAN 端末（子機）からの接続の場合

無線 LAN アクセスポイント（親機）と正しく接続されていますか？

→いいえ
(c 参照  P6-4)

↓ はい

パソコンに IP アドレスが設定されていますか？

（確認方法は、P6-7 を参照してください）

→いいえ
(d 参照  P6-7)

↓ はい

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定が行えますか？

WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示できますか？

→いいえ
(e 参照  P6-8)

↓ はい

< PPPoE モードの場合 >

設定後、無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の PPP ランプが点灯していますか？

※ルータモード（ローカルルータモード）の場合は、PPP ランプは点灯しません。

→いいえ
(f 参照  P6-10)

< ルータモード（ローカルルータモード）の場合 >

・ WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？

→いいえ
(g 参照  P6-11)

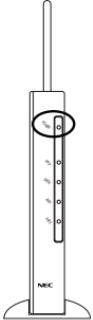
・ クイック設定 Web の【情報】 - 【現在の状態】 - 【状態表示】で WAN 側 IP アドレスが表示されていますか？

↓ はい

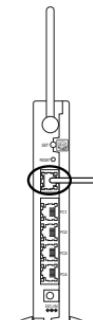
インターネットに接続できましたか？

→いいえ
(h 参照  P6-12)

a.無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない 	<p>電源が入っていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプタ（電源プラグ）が外れている →ACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ● ACアダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると無線 LAN アクセスポイント（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。 ● ACアダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のプロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯しない

症 状	原因と対策
プロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源が入っていない →プロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のLINKが確立できていることを確認してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のプロードバンド接続ポートがプロードバンドモ뎀または回線終端装置にETHERNETケーブルで正しく接続されているか確認してください。 プロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ● ETHERNETケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNETケーブル（カテゴリ-5）」であることを確認してください。（☞P7-4）

6-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯しない(つづき)	<p>●無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線 LAN アクセスポイント（親機）のETHERNET ポート（PCI）を添付のETHERNET ケーブルで接続してみる。</p> <p>ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが点灯する場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、問題ありません。 ブロードバンドモ뎀／回線終端装置が故障している可能性があります。</p> <p>点灯しない場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線 LAN アクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。</p>

c.無線 LAN 通信ができない

症 状	原因と対策
サテライトマネージャの通信状態が範囲外または使用不可になっている  	<p>●WL54SC（無線 LAN カード）またはWL54SU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。</p> <p>〈Windows Vista™の場合〉 次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。</p> <p>①[スタート] (Windows®のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバとユーティリティの削除] をクリックする ②ユーザーーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする ③画面の指示に従って、アンインストールを行う</p> <p>〈Windows® XP/2000 Professionalの場合〉 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p> <p>①[スタート] – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバのアンインストール] をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54SC（無線 LAN カード）またはWL54SU（無線 USB スティック）を接続する</p> <p>●暗号化キーの設定が無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。(→P5-4, 5-21, 5-33, 5-38, 5-53)</p> <p>●IEEE802.11a モードと IEEE802.11g+b モードで同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、必ず暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。違う暗号化モードや暗号化キーを設定すると、接続ができない場合があります。</p>

症 状	原因と対策
<p>サテライトマネージャの通信状態が範囲外または使用不可になっている</p>  <p>(つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●お使いのパソコンにブロキシが設定されたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける (アドレス：192.168.0.*、TCPポート番号：23/53/75/80、UDPポート番号：69/161) ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）や無線 LAN 端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
Windows Vista™ および Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●バーレーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●WL54SC（無線 LAN カード）または WL54SU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 <p>〈Windows Vista™の場合〉</p> <p>次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバとユーティリティの削除] をクリックする ②ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする ③画面の指示に従って、アンインストールを行う <p>〈Windows® XP/2000 Professionalの場合〉</p> <p>次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①[スタート] – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバのアンインストール] をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54SC（無線 LAN カード）または WL54SU（無線 USB スティック）を接続する

6-1 トラブルシューティング

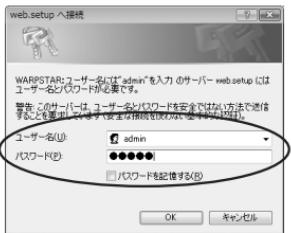
症 状	原因と対策
WL54SE (ETHERNET ボックス) の POWER ランプが点灯しない	<p>電源が入っていません。</p> <ul style="list-style-type: none">● AC アダプタ（電源プラグ）が外れている →AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。● AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に運動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに運動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると WL54SE (ETHERNET ボックス) に供給されている電源も切れてしまいます。● AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先にご相談ください。
WL54SE (ETHERNET ボックス) の LINK ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE (ETHERNET ボックス) との間の無線状態が悪い場合があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54TE (ETHERNET ボックス) を近づけてみてください。 また、無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE (ETHERNET ボックス) が近くても通信できない場合があります。この場合は 1m 以上離してご使用ください。● 設定に誤りがある場合があります。 <p>※ どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（☞P6-30）</p>

d. パソコンに IP アドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	<p>●パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。</p> <p>パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線LANアクセスポイント（親機）の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する</p> <p>b. 次の手順でIPアドレスを取り直す <Windows Vista™およびWindows® XPの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ①[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter]キーを押す ③IPアドレス (IPAdress またはIPv4アドレス) が「192.168.0.XXX」になることを確認する <p><Windows® 2000 Professionalの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ①[スタート] – [プログラム] – [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して [Enter]キーを押す ③IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する <p><Windows® Meの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ①[スタート] – [ファイル名を指定して実行] をクリックする ②「winipcfg」と入力して [OK] をクリックする ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウインドウから、使用しているEthernetアダプタ名を選択する ④「解放」をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは [OK] をクリックする ⑤「書き換え」をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する

6-1 トラブルシューティング

e.WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない（クリック設定 Web が起動しない）

症 状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクリック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none">● プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「web.setup」を入れる● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。● 無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、「①無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」(☞P5-72) を参照してください。● お使いのパソコンにプロキシが設定されてたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(☞P1-19、1-26)
WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none">● WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 → ユーザー名には、「[admin]」を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。 

症 状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）のクリック設定 Web が開かない	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript® が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください。 (☞P1-27) ● 複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクリック設定 Web 画面は開きません。WWW ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割り当てられた無線 LAN アクセスポイント（親機）のグローバル IP アドレス（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。 ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。 (☞P1-20)

6-1 トラブルシューティング

f. PPPoE モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の PPP ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが速い点滅をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ● 接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 を合わせてください。 接続ユーザー名@XXXX.ne.jp と入力するのが一般的です。

g.WAN側IPアドレスが正しく表示されない

症 状	原因と対策
クイック設定Webの状態表示でWAN側IPアドレスが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンドモデム／回線終端装置がWAN側に接続されていることを確認してください。 ADSLモデムをご使用の場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。 ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ● 接続事業者から指定されたIPアドレス情報が正しく設定されているか確認してください。 らくらくWeb ウィザード（☞P3-4） クイック設定Webの「基本設定」－「接続先設定」 ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードがPPPoE ブリッジモードの場合は本商品の動作モードはPPPoE モードでご使用ください。 ● 他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを無線LANアクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンのMACアドレスと無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20～30分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ● 無線LANアクセスポイント（親機）WAN側のIPアドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」で「IP解放」をクリックしてから「IP取得」をクリックしてIPアドレスを更新してください。 ● CATV接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」－「接続先設定」からドメイン名やホスト名を入力してください。 ● CATV接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」－「接続先設定」からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ● CATV接続事業者によっては本商品のMACアドレスを申請する必要があります。 無線LANアクセスポイント（親機）のWAN側のMACアドレスを申請してください。 ● クイック設定Webの「接続先設定」で「IPアドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。

6-1 トラブルシューティング

h.インターネットに接続できない

● ADSL 接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	● WWW ブラウザやメールソフトの設定が、 LAN 接続の設定になっていない。 → LAN 接続の設定になっているかどうかを 確認してください。(☞P.1-26)
インターネット接続中に回線が切断される	● PPPoE モードの場合、無通信監視タイムで自 動切断される場合があります。 無通信監視タイムはクリック設定 Web の [接続先設定] の [接続先の切断] で設定で きます。
ルータタイプ ADSL モデムに接続している	● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていな い場合、ブロードバンド接続できません。 → クリック設定 Web の「情報」の「現在の 状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」 を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] を選択し、IP アドレスが正しく表示さ れていることをご確認ください。 [IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場 合は、ADSL モデムがエラー表示していな いか、または無線 LAN アクセスポイント（親 機）背面のブロードバンド接続ポート状態表 示 LED が緑点灯しているか確認してください。 ● ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができ ていない。 ADSL モデムが無線 LAN アクセスポイント (親機) と同じ IP アドレス 192.168.0.1 に なっている可能性があります。 → 次の手順で、IP アドレスが同じであること を確認したあとで、LAN 側の IP アドレス を変更します。 (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クリック設定 Web の「情報」の 「現在の状態」 - 「WAN 側状態」の「IP ア ドレス」が空欄になっている (2) IP アドレスを変更します。 クリック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を“192.168.1.1” など左から 3 つ目を変更して、[設定] をク リックします。 (3) [登録] をクリックします。

症 状	原因と対策
ルータタイプADSLモデムに接続している (つづき)	<p>●無線LANアクセスポイント（親機）を無線LANアクセスポイントモードに設定して接続できるか確認してください。 (☞P5-70)</p> <p>それでもADSL接続ができない場合は、ADSLモデムのサポート窓口にADSLモデムの設定をお問い合わせください。</p>
ADSL (PPPoE) 接続できない	<p>●ユーザーIDとパスワードが間違っている →ADSLインターネット接続のユーザーIDは、「*****@biglobe.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザーIDとパスワードを再確認して正しく設定してください。</p> <p>●使用する無線LANアクセスポイント（親機）の動作モードは正しいですか。 →ルータタイプのADSLモデムに接続して使用する場合、PPPoEモードでは接続できません。あらかじめADSLモデムのタイプを確認してください。</p> <p>●パソコンに、ADSLモデムに添付されていたPPPoE接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows Vista™/Windows® XPのPPPoE機能を使用していませんか。 →PPPoEの外付けプロードバンドモデルを使用するとき、プロードバンドモデルに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はプロードバンドモデルに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらくWeb ウィザードまたはクイック設定Webで設定をしてください。</p> <p>●フレッツ・ADSL接続後、電源のON/OFFなどで、異常終了した場合、無線LANアクセスポイント（親機）の再起動において、一定時間（最大で5分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。</p>
ADSL (PPPoE) 接続に成功してもホームページが開けない	<p>●IPアドレス、DNSネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定されたIPアドレスやDNSネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。</p>

6-1 トラブルシューティング

● CATV 接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none">●回線側の IP アドレスが取得できていない。 → クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん [IP 解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。●他のプロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている。 → CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。●CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none">●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 → CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の「基本設定」 - 「接続先設定」または、らくらく Web ウィザード（☞P3-4）でドメイン名やホスト名を入力してください。●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 → CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の「基本設定」 - 「接続先設定」または、らくらく Web ウィザード（☞P3-4）からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

症 状	原因と対策
WAN 側 IP アドレスが取得できない しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、空欄になってしまいます	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。 ● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。 <ul style="list-style-type: none"> → クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」をご確認ください。 IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] をクリックし、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモ뎀がエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。 → CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。 クイック設定 Web の「接続先設定」で「IP アドレスの自動取得」の「要求する」のチェックを外します。 ● クイック設定 Web の「接続先設定」で「IP アドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。 ● CATV ケーブルモ뎀が無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 → 次の手順で、IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」 - 「現在の状態」の「WAN 側状態」 - 「IP アドレス」が空欄になっている (2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を "192.168.1.1" など左から 3 つ目を変更して、「設定」をクリックします。 (3) [登録] をクリックします。
	<p style="text-align: right;">6</p> <p>お困りのときは</p>

6-1 トラブルシューティング

ユーティリティに関するトラブル

●無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web に関する問題

症状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	●無線 LAN アクセスポイント（親機）を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。（☞P6-29） ただし、クイック設定 Web の【メンテナンス】 - 【設定値の保存＆復元】で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（☞機能詳細ガイド）
無線 LAN アクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。「情報」 - 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
【設定】をクリックしても、状態が反映されない	●【登録】をクリックしていない →各設定項目において、【設定】をクリックしても状態は反映されません。 左側フレーム内の【登録】をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動する必要があります。
【登録】をクリックした後に、「ページを表示できません」と表示される	●無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動しているためです。 →【登録】をクリックすると、無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。



症 状	原因と対策
「PlayStation® BB Navigator」を使ってクイック設定Webの設定ができない	●「PlayStation® BB Navigator」を使ってクイック設定Webで設定を行えるのは、「3-2 インターネット接続のための基本設定」(☞P3-4)のみです。それ以外の設定は正しく動作しない場合があります。
WL54SE (ETHERNET ボックス) の WWW ブラウザの設定画面が表示されない	●パソコンのネットワーク体系と WL54SE (ETHERNET ボックス) のネットワーク体系が違っている場合があります。パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認し (☞P1-20)、いつたん WL54SE (ETHERNET ボックス) の電源を切り、らくらくスタートボタンを押しながら電源を入れてください。

●サテライトマネージャに関する問題

症 状	原因と対策
インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	●サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。
らくらく無線スタートが成功しない	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化が解除されている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。(☞P5-4) ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。(☞P5-8) ●使用するネットワークに DHCP サーバとなる機器が存在しない状態で無線 LAN アクセスポイント（親機）が無線 LAN アクセスポイントモードに設定されている →DHCP サーバとなる機器を設置するか、サテライトマネージャで無線 LAN の設定をしてください。(☞P5-19)

(次ページに続く)

6-1 トラブルシューティング

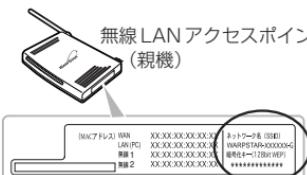
症状	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない (つづき)	● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらく無線スタート動作モードが 802.11a で、無線 LAN 端末（子機）として WL54AG/WL54TU/WL54TE、J52 のみ対応の無線 LAN 内蔵パソコンを設定しようとしている → WR7850S と 802.11a の周波数帯／チャネルが異なるため 802.11a モードではご利用になれません。 (WL54AG/WL54TU/WL54TE のバージョンアップ対応など最新情報についてはホームページ AtermStation をご確認ください。)
	● WL54SE の場合、WL54SE に既に何か設定がされている → WL54SE をいったん初期化して設定してください。(☞P6-30)
	● パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。
	● パソコンに設定された固定 IP アドレスが無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。(☞PT-20)
	● 古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている → 古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、本商品に添付の CD-ROM を使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。
	● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている → らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態にならいいたん離します。「つなぎかたガイド」などの手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。
	● 無線 LAN 端末（子機）(WL54SC/WL54SUなど) の他にネットワークデバイス(ETHERNET ボードなど) が動作している → 他の無線 LAN カードや LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。
	● らくらく無線スタート EX の場合、無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している → 無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。

症 状	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない <ul style="list-style-type: none"> → 無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。WEP（128bit）に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。
Windows Vista™およびWindows® XP/2000 Professionalで、サテライトマネージャがインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> ● Administrator 権限のあるユーザーでログオンしてない。 <ul style="list-style-type: none"> → 「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャが使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ● WL54SC（無線 LAN カード）またはWL54SU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 〈Windows Vista™の場合〉 次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。 ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバとユーティリティの削除] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする ③ 画面の指示に従って、アンインストールを行う 〈Windows® XP/2000 Professionalの場合〉 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ① [スタート] – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバのアンインストール] をクリックする ② 画面の指示に従って、アンインストールを行う ③ WL54SC（無線 LAN カード）またはWL54SU（無線 USB スティック）を接続する ● 上記の手順でも正しくインストールされない場合は、次ページの手順で再インストールしてください。

(次ページに続く)

6-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない (つづき)	<p>〈Windows® XPの場合〉</p> <p>①【スタート】 - 【コントロールパネル】をクリックする ②【パフォーマンスとメンテナンス】をクリックする ③【システム】アイコンをクリックする ④【ハードウェア】タブをクリックする ⑤【デバイスマネージャ】をクリックする ⑥【ネットワークアダプタ】をダブルクリックする ⑦【NEC AtermWL54SC (PA-WL/54SC) Wireless Network Adapter】または【NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter】を右クリックし、【プロパティ】を表示する ⑧【ドライバ】タブで【ドライバの更新】をクリックする</p> <p>以降は、「 機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。</p> <p>〈Windows® 2000 Professionalの場合〉</p> <p>①【スタート】 - 【設定】 - 【コントロールパネル】をクリックする ②【システム】アイコンをダブルクリックする ③【ハードウェア】タブをクリックする ④【デバイスマネージャ】をクリックする ⑤【ネットワークアダプタ】をダブルクリックする ⑥【NEC AtermWL54SC (PA-WL/54SC) Wireless Network Adapter】または【NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter】を右クリックし、【プロパティ】を表示する ⑦【ドライバ】タブで【ドライバの更新】をクリックする</p> <p>以降は、「 機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。</p>

症 状	原因と対策
<p>WL54SC (無線 LAN カード) または WL54SU (無線 USB スティック) が使 えない</p> <p>[サテライトマネージャ] アイコンが使える状態 (青表示) にならない 通信状態が「範囲外」となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイント (親機) の電源が入っているか確認してください。 ● 通信モードがあつているか確認してください。 無線 LAN アクセスポイント (親機) との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 <p>※ 通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名 (SSID)」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 接続する無線動作モードのネットワーク名 (SSID) があつているか確認してください。 無線 LAN アクセスポイント (親機) の設定に合わせて設定してください。 <p>※ 無線 LAN アクセスポイント (親機) の出荷時設定は、底面に記載されています。</p>  <p>これは、IEEE802.11g+b モード側の初期値を表示しています。IEEE802.11a モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通信モードが「アドホック通信」の場合は、チャネル番号が一致しているか確認してください。 ● 通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名 (SSID)」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。 ● 無線 LAN アクセスポイント (親機) との距離が離れていないか確認してください。

6-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
<p>WL54SC (無線 LAN カード) または WL54SU (無線 USB スティック) が使 えない (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● WL54SC (無線 LAN カード) または WL54SU (無線 USB スティック) のランプのつき方 (☞P1-14、1-15) を確認してくください。 消灯している場合は WL54SC (無線 LAN カード) または WL54SU (無線 USB スティック) が無線 LAN アクセスポイント (親機) を正しく認識していません。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名 (SSID)」をクリックし、「設定」をクリックして、無線 LAN アクセスポイント (親機) との通信の設定をやり直してください。 ● コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。 →お互いを数メートル以上離してお使いください。
<p>[サテライトマネージャ] は使える状態 (青表示) になるが無線 LAN アクセスポイント (親機) に接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗号化の設定をしている場合は、無線 LAN アクセスポイント (親機) と接続する無線通信モードで暗号化キーが一致しているか確認してください。(☞P5-4、5-21、5-33、5-38、5-53) ● Windows® XPをご利用の場合は、[Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。(☞P5-30)
<p>接続する無線動作モードのネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 有線 LAN (ETHERNET ポート) のパソコンから、クイック設定 Web の [無線 LAN 設定] - [無線 LAN 詳細設定] で設定し直してください。 ● サテライトマネージャ「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で「[スキャン]」をクリックして無線 LAN アクセスポイント (親機) を検索してください。ネットワーク名 (SSID) で無線 LAN アクセスポイント (親機) を識別できます。 ● 無線 LAN アクセスポイント (親機) 背面の RESET スイッチによる初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください。(☞P6-29) 出荷時のネットワーク名 (SSID) の設定は無線 LAN アクセスポイント (親機) の底面に記載されています。(☞P6-21)

症 状	原因と対策
WL54SC (無線 LAN カード) または WL54SU (無線 USB スティック) が使 えない (つづき)	<p>「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）がみつからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態により「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。このような場合は、[新規登録] で直接ネットワーク名 (SSID) を入力してください。 ● クイック設定 Web の [無線 LAN 設定] - [無線 LAN 詳細設定] の「無線 LAN 端末 (子機) の接続制限」で「ESS-ID ルール機能 (SSID の隠蔽)」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 [新規登録] で直接ネットワーク名 (SSID) を入力してください。 ● WL54SC (無線 LAN カード) または WL54SU (無線 USB スティック) のドライバが正常に組み込まれていないことがあります。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ● 他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、Ethernet インタフェースを搭載したパソコンで、LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させている場合は、WL54SC (無線 LAN カード) または WL54SU (無線 USB スティック) のドライバが正しくインストールされないことがあります。LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させてから、サテライトマネージャでの設定を行ってください。(☞P2-9、2-10、2-11)
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 有線 LAN (ETHERNET ポート) に接続したパソコンから、クイック設定 Web の [無線 LAN 設定] - [無線 LAN 詳細設定] で設定を確認してください。(☞P5-4) ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）を工場出荷状態に戻してください。(☞P6-28) ネットワーク名 (SSID) や暗号化設定 (WEP キー) は本体底面のラベルの値に戻ります。(☞P6-21) ● 「無線状態が良好なのに通信できない」(☞P6-26) を参照してください。

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
時々通信が切れる	● プロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった 通信が切斷されることがある	● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 <IP アドレスの再取得> <Windows Vista™および Windows® XP の場合> ①[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押す ③IP アドレス (IP Address または IPv4 アドレス) が「192.168.0.xxx」になることを確認する <Windows 2000® Professional の場合> ①[スタート] – [プログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押す ③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する <Windows® Me/98 の場合> ①[スタート] – [ファイル名を指定して実行] をクリックする ②「winipcfg」を入力して [OK] をクリックする ③Ethernet アダプタ情報のブルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択する ④[解放] をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になることを確認する 「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、[OK] をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤[書き換え] をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	

症 状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モード、ルータモード (ローカルルータモード) 共通)	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンに IP アドレスが自動的に設定された場合には、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 <p>下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、前ページを参照して再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 前ページの「IP アドレスの再取得」を行ってください。
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モードの場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●ブロードバンドモデル／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない (ルータモード (ローカルルータモード) の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●ブロードバンドモデル／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデル／回線終端装置と無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源投入順序によっては無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の【情報】-【現在の状態】で「IP の解放」をクリックしてから、「IP 取得」をクリックして IP アドレスを更新してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が正常に動作しないが、原因がわからない	<ul style="list-style-type: none"> ●設定に誤りがあります。 どうしても動作しない場合は、初期化して購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
無線状態が良好なのに速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> ●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況表示」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →サテライトマニジャ[プロパティ]-[状態]の「チャネル状況表示」で使用しているチャネルを確認し、クイック設定 Web で使用する無線チャネルの番号を変更してください。 →クイック設定 Web を起動して「無線 LAN 設定」-「無線 LAN 詳細設定」内の「無線 LAN アクセスポイント(親機)設定」の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードが IEEE802.11g、IEEE802.11g+b モードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・無線動作モード IEEE802.11g、IEEE802.11g+b モードの場合： 設定値 1 ~ 13 ・無線動作モード IEEE802.11a モードの場合： 設定値 36,40,44,48ch (W52)、 52,56,60,64ch (W53) <p>※ただし、新しいチャネル (W52/W53) と従来のチャネル (J52) は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。 詳細は、機能詳細ガイド[無線機能の使い方] - [機能一覧 (無線)] の「IEEE802.11a 無線 LAN」を参照してください。</p>

6-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
無線状態が良好なのに速度がない	<ul style="list-style-type: none"> ●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる →1m以上離してください。 →WL54SC/WL54SUの場合はサテライトマネージャで「送信出力」を下げてみてください。(☞P5-24) その場合、遠くにある WL54SC（無線 LAN カード）から接続しにくくなります。
無線状態が良好なのに通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●〈IP アドレスの再取得〉(☞P6-24) を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 ●固定 IP アドレスでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例：無線 LAN アクセスポイント（親機）が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.XXX) ●他の無線 LAN カードや LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。(☞P2-9、2-10、2-11)
WL54SC（無線 LAN カード）、WL54SU（無線 USB スティック）を利用して、AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> ●無線状態が悪い（無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。(☞P6-25) ●サテライトマネージャのストリーミングモードを「ON」にする。(☞P5-24) ●AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ●次の方法で確認できます。 ・クイック設定 Web の「情報」 - 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。

添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
サテライトマネージャの親子同時設定が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows Vista™の場合、サテライトマネージャでは親子同時設定は対応していません。 ● 無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合や無線 LAN アクセスポイント(親機)のIPアドレスを変更している場合は、「WARPSTAR(親機)が見つかりませんでした。」画面で無線 LAN アクセスポイント(親機)のIPアドレスを入力し【再接続】をクリックしてください。 ● 次の手順でIPアドレスを取り直してください。 なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 <p><Windows® XPの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」をクリックする ②“ipconfig /renew”を入力して [Enter] キーを押す ③IPアドレスが“192.168.0.xxx”になることを確認する <p><Windows® 2000 Professionalの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「プログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」をクリックする ②“ipconfig /renew”を入力して [Enter] キーを押す ③IPアドレスが“192.168.0.xxx”になることを確認する
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	<p>CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不要な場合は をクリックします。(機種によっては【終了】をクリックします。) ● Windows® XP/2000 Professionalの場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。 ● Windows® Me の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます(ただし、本商品だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります)。 <ol style="list-style-type: none"> ①【コントロールパネル】の【システム】をダブルクリックする ②【デバイスマネージャ】タブの【CD-ROM】をダブルクリックする ③使用的 CD-ROM ドライブをクリックし、【プロパティ】をクリックする ④【設定】タブをクリックする ⑤【オプション】の【自動挿入】または【挿入の自動通知】のチェックを外す ⑥【OK】をクリックし、Windows® Me を再起動する

6 お困りのときには

6-2 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化する

初期化とは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。無線 LAN アクセスポイント（親機）がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する (☞下記)

RESET スイッチで初期化する (☞P6-29)

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした無線 LAN アクセスポイント（親機）のファームウェアはそのままです。

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「<http://web.setup/>」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

例：<http://192.168.0.1/>

※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、「①無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」(☞P5-72) を参照してください。

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の ▾ をクリックし、[設定値の初期化] を選択する

5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする



6 [OK] をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

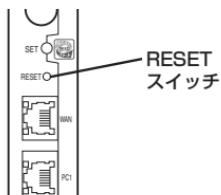
RESET スイッチで初期化する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、背面にあります。

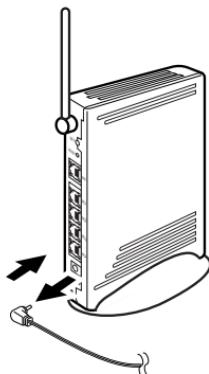
1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する

2 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたら離す

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～10 秒かかります。



3 無線 LAN アクセスポイント（親機）から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから、再び差し込む



6

お困りのときには

お願い

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合は、無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更するか、無線 LAN 端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載）に戻してください。

6-3 WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化する

WL54SE (ETHERNET ボックス) に設定した内容を消去して初期値にします。WL54SE (ETHERNET ボックス) がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

スイッチで初期化する

- WL54SE (ETHERNET ボックス) の POWER ランプが緑点灯していることを確認する

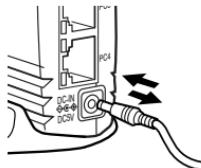
電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は WL54SE (ETHERNET ボックス) が起動するまでしばらく待ちます。(30 秒程度)

- WL54SE (ETHERNET ボックス) の底面にあるリセットスイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で長押しして、POWER ランプが赤点滅を始めたら離す

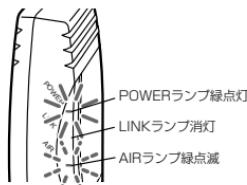
POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～10 秒かかります。



- WL54SE (ETHERNET ボックス) から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、約 10 秒ほど待ってから再び差し込む



- WL54SE の POWER ランプが緑点灯、LINK ランプが消灯、AIR ランプが緑点滅すると初期化が完了する



■ WL54SE (ETHERNET ボックス) の初期値

WL54SE (ETHERNET ボックス) を初期化すると、次のような設定になります。

設定項目		初期値
無線 LAN 設定	ネットワーク名 (SSID)	未設定
	暗号化モード	暗号化無効
	暗号化キー	未設定
	キー 1	
	キー 2	
	キー 3	
	キー 4	
	使用する暗号化キー番号	1 番
	無線クライアントモード	拡張モード
	送信出力	100%
	Super AG 機能	使用する(圧縮あり)
ネットワーク設定	IP アドレス	192.168.0.220
	ネットマスク	255.255.255.0
管理者設定	管理者名	admin
	管理者パスワード	未設定



お知らせ

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）とのセットモデルの場合、無線設定・ネットワーク名 (SSID)・暗号化キーは設定済みです。（設定内容は無線 LAN アクセスポイント（親機）底面に貼付のラベルに記載されています。）設定を初期化してしまった場合は、上記の初期値になります。この場合の再設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

ご参考

7

付録

7-1	製品仕様	7-2
7-2	別売りオプション	7-8
7-3	用語解説	7-10
7-4	索引	7-12

7-1 製品仕様

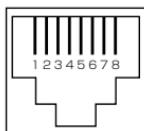
WR7850S（親機）ハードウェア仕様

項目	諸元および機能		備考
WAN インターフェース	インターフェース	ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX/10BASE-T)	Auto MDI-X 対応
	データ転送速度	100Mbps/10Mbps	
LAN インターフェース	物理 インターフェース	8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4 ポート	
	インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重／半二重	全二重／半二重	自動判別
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz) /36,40,44,48ch (W52) 5.3GHz 帯 (5250-5350MHz) /52,56,60,64ch (W53)
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
		伝送速度(※1)	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度(※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	アンテナ	ダイポールアンテナ	
	セキュリティ(※2)	SSID、WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)	
ヒューマン インターフェース	POWER	電源通電時点灯	
	PPP	PPP セッション確立時緑点灯 無線 LAN アクセスポイントモード時橙点灯	
	DATA	データ通信時点灯	
	AIR1	IEEE802.11g + b 通信利用可能時点灯 データ送受信点滅	
	AIR2	IEEE802.11a 通信利用可能時点灯 データ送受信点滅	
	スイッチ	SET スイッチ×1、RESET スイッチ×1	
	動作環境	温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90%	
外形寸法	約 27 (W) × 125 (D) × 172 (H) mm		突起部分を除く
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz		AC アダプタ使用
消費電力	約 11W (最大)		
質量(本体のみ)	約 0.3kg		
VCCI	VCCI クラス B		

- ※ 1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。
- ※ 2 Windows Vista™およびWindows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。
- 〈WEP（152bit）の場合〉
 Windows® XP（Service Pack1 以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
 Windows Vista™ ではご利用いただけません。
- 〈TKIP、AES の場合〉
 Windows Vista™ または Windows® XP（Service Pack2 以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
- ※ WDS の機能は 52,56,60,64ch (W53) では、ご利用になれません。

ETHERNET ポートインターフェース

コネクタ形状



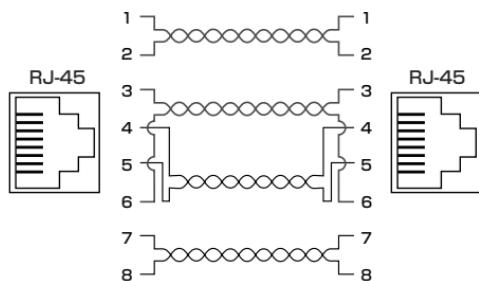
● ETHERNET ポート (100BASE-TX / 10BASE-T)

ピン番号	略称	機能
1	RD +	受信データ +
2	RD -	受信データ -
3	TD +	送信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD -	送信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

● ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD +	送信データ +
2	TD -	送信データ -
3	RD +	受信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD -	受信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ETHERNET ケーブル（カテゴリー5）



WL54SC（無線LANカード）仕様

■ 仕様一覧

項目	諸元	備考
端末インターフェース	CardBus	
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル (※3) 5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /34,38,42,46ch (J52) 36,40,44,48ch (W52) 5.3GHz帯 (5250-5350MHz) /52,56,60,64ch (W53)
		伝送方式 OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度 (※1) 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2400-2497MHz) /1 ~ 14ch	
		伝送方式 DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
		伝送速度(※1) 11/5.5/2/1Mbps(自動フォールバック)
IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch	
		伝送方式 OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度 (※1) 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)	
セキュリティ (※2)	SSID、WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)	
ヒューマンインターフェース	状態表示 LED × 2	
利用可能端末	PC-AT 互換機	
利用可能 OS	Windows Vista™日本語版 Windows® XP 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版	
電源	DC3.3V × 500mA	パソコンから 給電
消費電力	約 1.65W (最大)	
外形寸法	約 54 (W) × 109 (D) × 5 (H) mm	
質量	約 0.04kg	
動作環境	温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと

* 1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

* 2 Windows Vista™およびWindows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

<WEP (152bit) の場合>

Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
Windows Vista™ではご利用いただけません。

<TKIP、AESの場合>

Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

* 3 34,38,42,46ch (J52)、52,56,60,64ch (W53) を利用したアドホック通信は行えません。

7-1 製品仕様

WL54SU（無線USBスティック）仕様

■ 仕様一覧

項目	諸元	備考
端末インターフェース	USB (USB2.0推奨※1)	
無線LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル 5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /34.38,42.46ch (J52) /36.40,44.48ch (W52) 5.3GHz帯 (5250-5350MHz) /52.56,60.64ch (W53)
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 (※2)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2400-2497MHz) /1 ~ 14ch
	伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
	伝送速度(※2)	11/5.5/2/1Mbps(自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 (※2)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
アンテナ	内蔵アンテナ (ノンダイバーシティ)	
セキュリティ (※3)	SSID、WEP (64/128/152bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)	
ヒューマンインターフェース	状態表示 LED × 1	
利用可能端末	PC-AT互換機	
利用可能 OS	Windows Vista™日本語版 Windows® XP日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版	
電源	DC5V × 420mA	パソコンから 給電
消費電力	約 2.1W (最大)	
外形寸法	約 31 (W) × 121 (D) × 11 (H) mm	コネクタ部含む
質量	約 0.03kg	
動作環境	温度 0 ~ 40 °C 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと

※1 USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。WL54SUのUSBハブとの接続は保証の限りではありません。

※2 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※3 Windows Vista™およびWindows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈WEP (152bit) の場合〉

Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
Windows Vista™ ではご利用いただけません。

〈TKIP、AESの場合〉

Windows Vista™ またはWindows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

WL54SE (ETHERNET ボックス) 仕様

■ 仕様一覧

項目		諸元および機能	
LAN インターフェース	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T (Auto MDI-X 対応)	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重／半二重	全二重／半二重（自動判別）	
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル	5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /34.38.42.46ch (J52) /36.40.44.48ch (W52) 5.3GHz帯 (5250-5350MHz) /52.56.60.64ch (W53)
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	アンテナ	ダイポールアンテナ、内蔵アンテナ（ダイバーシティ）	
	セキュリティ	SSID、WEP(152/128/64bit)、 WPA-PSK (TKIP)、WPA-PSK (AES)	
プロトコル		TCP/IP	
ヒューマン インターフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯
		LINK	IEEE802.11a 無線リンク確立時橙点灯 IEEE802.11g/IEEE802.11b 無線リンク確立時緑点灯
		AIR	無線 LAN でデータ送受信中緑点滅
	リセットスイッチ		リセットスイッチ×1、セットスイッチ×1
	電源		AC100V±10% 50/60Hz (ACアダプタ使用：出力5V、 2A)
消費電力		約8W (最大)	
外形寸法		約26 (W) × 130 (D) × 97 (H) mm (突起部分を除く)	
質量 (本体のみ)		約0.2kg	
動作環境		温度0～40℃ 湿度10～90% (結露しないこと)	

※表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

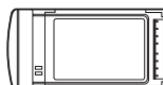
※WL54SE (ETHERNET ボックス) では、アドホック通信をご利用になれません。

7-2 別売りオプション

オプションとして次の製品を別売しています。(製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。)

■ 無線 LAN カード

Aterm WL54SC (PA-WL/54SC)



Aterm WL54AG (PA-WL/54AG)

Aterm WL130NC (PA-WL130NC)

Aterm WL11CB (PC-WL/11C(B))

Aterm WL11CA (PC-WL/11C(A))

Aterm WL11C (PC-WL/11C)

Aterm WL11C2 (PA-WL/11C2)

Aterm WL54AG-SD (PA-WL/54AG-SD1)

※WL54AG/WL54AG-SDは、IEEE802.11a通信モードの新チャネル（W52）に対応していない場合、IEEE802.11g + IEEE802.11b通信のみの利用となります。

新チャネル(W52)対応に書き換えることでIEEE802.11a通信も利用することができます。書き換え方法はホームページAtermStationをご確認ください。

※WL130NC/WL11CB/WL11CA/WL11C/WL11C2はIEEE802.11g + IEEE802.11b通信を利用している時のみ利用できます。

※WL11Cでの暗号化はWEP(64bit)のみ対応になります。

■ 無線 USB スティック (USB2.0 推奨)

Aterm WL54SU (PA-WL/54SU)

Aterm WL54TU (PA-WL/54TU)

パソコンのUSBポートに接続します。

※WL54TUは、IEEE802.11a通信モードの新チャネル（W52）に対応していない場合、IEEE802.11g + IEEE802.11b通信のみの利用となります。

新チャネル(W52)対応に書き換えることでIEEE802.11a通信も利用することができます。書き換え方法はホームページAtermStationをご確認ください。

■ 無線 LAN USB ボックス

Aterm WL11U (PC-WL/11U)

Aterm WL11U (W) (PC-WL/11U (W))

パソコンとUSBで接続します。

※WL11U/WL11U (W)はIEEE802.11g+IEEE802.11b通信を利用している時のみ利用できます。

※WL11U/WL11U (W)での暗号化はWEP(64bit)のみ対応になります。

■ 無線 LAN ETHERNET ボックス

Aterm WL54SE (PA-WL/54SE)

Aterm WL54TE (PA-WL/54TE)

Aterm WL11E2 (PA-WL/11E2)

パソコンと ETHERNET ケーブルで接続します。

※WL54TE は、IEEE802.11a 通信モードの新チャネル（W52）に対応していない場合、IEEE802.11g + IEEE802.11b 通信のみの利用となります。

新チャネル(W52)対応に書き換えることで IEEE802.11a 通信も利用することができます。書き換え方法はホームページ AtermStation をご確認ください。

※WL11E2 は IEEE802.11g+IEEE802.11b 通信を利用している時のみ利用できます。

■ ワイヤレス LAN 外部アンテナ

(WL54AG 用) (PA-WL/ANT3)

※ WL54SC では使用できません。

電波状態が悪いときなど、WL54AG (無線 LAN カード) に接続して使用します。(WL54AG (S)、WL54AG-SD も含みます。)

ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。
(改善できないこともあります。)



お知らせ

- オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップ Shop@Aterm(<http://shop.aterm.jp/>) でもご購入いただけます。
- IEEE802.11a (J52のみ) 対応の無線 LAN 端末（子機）では使用する周波数帯／チャネルが異なるため、IEEE802.11a での通信はご利用になれません。IEEE802.11g+b モードでご利用ください。
バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、ホームページ AtermStation に掲載されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速な常時接続環境を提供する。
AtermStation（エータームステーション）	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://121ware.com/aterm/ (2007 年 3 月現在)。
BIGLOBE（ビッグローブ）	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り振る方法。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバーを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP をを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例：192.168.0.10）。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoA	PPP over ATMの略。高速交換システムで使用されるATM(Asynchronous Transfer Mode)の上でPPP通信を行うための接続方式。ATM上でダイヤルアップ接続(PPP接続)と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。
PPPoE	PPP over ETHERNETの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術。ETHERNET上でダイヤルアップ接続(PPP接続)と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。
UPnP	Universal Plug and Play(ユニバーサルプラグアンドプレイ)の略で、XML技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式。ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)とは、デバイスのプラグアンドプレイ(PnP)機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にする。

【あいうえお順】**【あ行】****アップリンクポート**

カスケード接続用ポートとも呼ばれる。100BASE-TX/10BASE-Tの接続の方向を示すもので、インターネットやWANなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクという。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ/ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替える。

【か行】**クライアント**

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス(ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を受けるコンピュータ。

【さ行】**サーバ**

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス(ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

【は行】**プロトコル**

通信規約。システム(コンピュータやネットワーク)どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。

【ら行】**ルータ**

複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

◎マークの項目については、ホームページに公開している機能詳細ガイドで説明しています。

[数字]

100BASE-TX / 10BASE-T 対応スイッチング HUB (4 ポート) ◎

[A～Z]

ACT ランプ 1-14, 1-15
 AC アダプタ接続コネクタ 1-13, 1-17
 ADSL モデム 1-2, 1-18
 AES 5-3
 AIR ランプ 1-16
 AIR1 ランプ 1-12
 AIR2 ランプ 1-12
 B フレッツ 2-6, 3-6, 3-8
 CATV ケーブルモデム 1-2, 1-18
 CD-ROM 前文-2、前文-16、1-10、6-27
 DATA ランプ 1-12
 DHCP クライアント機能 3-9、7-10
 DHCP サーバ機能 5-50、7-10, ◎
 DMZ ホスティング機能 ◎
 DNS
 プライマリ～/セカンダリ～ 3-9
 ～フォワーディング ◎
 ESS-ID ステルス機能
 (SSID の隠蔽) 5-6
 ETHERNET ポート 1-13, 1-17
 ～インターフェース 7-4
 ～にパソコンを接続する 2-16
 ETHERNET ポート状態表示 LED 1-13, 1-17, 2-16, 5-69
 FTTH 回線終端装置 1-2
 IEEE802.11a 無線 LAN ◎
 IEEE802.11b 無線 LAN ◎
 IEEE802.11g 無線 LAN ◎
 IP アドレス 3-9
 WAN 側～が正しく表示されない場合 6-11
 ～取得 1-20, 1-21, 1-22, 1-23
 ブロードバンドモデムの～と無線 LAN
 アクセスポイント (親機) の
 IP アドレスが同じとき 6-12, 6-15

IP パケットフィルタリング ◎
 IPv6 ブリッジ機能 5-65
 JavaScript® 1-27
 LINK ランプ 1-16
 MAC アドレス
 ～フィルタリング機能 5-8, ◎
 ～を登録する 5-8
 PC カードコネクタ 1-14
 POWER ランプ 1-12, 1-16
 PPPoE ブリッジ ◎
 PPPoE ブリッジ機能 5-64
 PPPoE マルチセッション 3-12, ◎
 PPPoE モード 2-6
 PPP キープアライブ ◎
 PPP ランプ 1-12
 PWR ランプ 1-14
 RESET スイッチ 1-13, 6-29
 RIP ◎
 TCP/IP 1-19, 1-20, 1-21, 1-22,
 1-23, 1-25
 TKIP 5-3
 TV 電話をする (Windows Messenger
 および MSN Messenger の利用方法)
 5-77
 USB コネクタ 1-15
 VPN パススルー機能 ◎
 WAN 側機能 ◎
 WEP 5-3
 WL54SC (無線 LAN カード) 1-14
 ～をパソコンに取り付ける 2-8
 WL54SE (ETHERNET ボックス) 1-16
 ～を設定する 5-46
 WL54SU (無線 USB スティック) 1-15
 ～をパソコンに取り付ける 2-12
 WR7850S (無線 LAN アクセスポイント
 (親機)) 1-12
 WWW ブラウザの設定 1-26

[ア行]

アドバンスドNAT	⑩
(IP マスカレード/NAPT)	⑩
アドバンスドNAT	
(ポートマッピング)	5-62, ⑩
アドホック通信	⑩
アドホックモード	1-5, ⑩
暗号化キー	5-3
安全にお使いいただくために	前文-4
インターネット	
～に接続する	4-2
～接続を切断する	4-3
インターネット接続先の登録	3-8
インターフェース	7-2, 7-4～7
置き場所を決める	2-2
オプション	7-8

[カ行]

回線契約	1-18
回線終端装置	1-2, 1-18, 2-4
外部にサーバを公開する	⑩
確認する	
無線LANアクセスポイント(親機) との接続状態を～	5-27
無線LANアクセスポイント(親機) との通信状態を～	5-45
各部の名前とはたらき	1-12
管理者パスワード	3-5, 5-51
～の設定	⑩
起動	
サテライトマネージャを～	5-19
機能	
～一覧	前文-15
～詳細ガイド	前文-15
「機能詳細ガイド」目次	前文-15
キャップ	1-15
クイック設定Web	3-3
～で初期化する	6-28
～で設定する	
～3-13、4-3、5-4、5-6、5-8、 5-51、5-62、5-67	
ゲートウェイ	3-9

ゲーム機を接続する	5-69
構成品	1-10
購入時の状態に戻す(初期化)	6-28
ご利用開始後のトラブル	6-24

[サ行]

サスペンド機能	2-8, 2-12
サテライトマネージャ	5-11
～で無線LANアクセスポイント(親機) との接続状態を確認する	5-27
～で無線LANカード(子機) の通信の設定をする	5-20
～の設定	⑩
～の使い方	5-25
～を起動する	5-19
～をインストールする	5-11

時刻設定	⑩
情報表示(装置情報、状態表示)	⑩
初期化	6-28, 6-30
シングルユーザアクセスモード	5-66, ⑩
スタンド	1-10
～を取り付ける	2-2
静的ルーティング	3-13, ⑩
製品仕様	7-2
セキュリティ機能	5-2
接続する	
インターネットに～	4-2
回線終端装置に～	2-4
ハブを～	5-76
ブロードバンドモデルに～	2-4
他の無線LAN端末(子機) から～	5-82
無線LAN～	2-8, 2-11, 2-12
無線LAN内蔵パソコンから～	5-86
ルータタイプのブロードバンド モデルを～	5-70
設置する	2-2, 2-13
設置に関するトラブル	6-2

7-4 索引

設定

- クイック設定 Web ~ 3-3
- 無線 LAN アクセスポイントモード~ 5-71
- 設定値の初期化 6-28、6-30
- 設定方法について 導入-1
- セットアップの流れ 導入-2
- ソフトウェアのご使用条件 前文-2

[タ行]

- ダイナミックポート
- コントロール機能 ⑩
- 縦置きスタンドを取り付ける 2-12
- 停止
- LAN カードまたは LAN ボード
 - 機能を~ 2-9、2-10、2-11
 - ルータ機能を~ 5-70
- できること 1-2
- 電源コンセント 2-4
- 電源を接続する 2-4
- 添付 CD-ROM に関するトラブル 6-27
- 動作モード 2-6、3-6
- 登録
 - インターネット接続先の~ 3-8
 - ドメイン名 3-9
 - ドライバをインストールする ⑩
 - トラブルシューティング 6-2

[ナ行]

- ネットマスク 3-9
- ネットワーク
 - パソコンの~の確認 1-20
 - ネットワークゲーム 5-62
 - ネットワーク対応アプリケーション 5-62
 - ネットワーク名 5-21、5-52

[ハ行]

- バージョンアップ 5-78
- はじめに（マニュアル構成） 表紙裏
- パソコンインターフェース ⑩

パソコンの準備 1-19

- パソコンを接続する
 - 無線 LAN アクセスポイント（親機）に~ 2-16
- ファイアウォール 1-19
- ファイルとプリンタの共有 ⑩
- 複数固定 IP サービス対応 ⑩
- 不正アクセス検出機能 ⑩

ブロードバンド

- ~モデムの種類 2-6

ブロードバンド接続ポート 1-13、2-4

- ブロードバンド接続ポート
 - 状態表示 LED 1-13、2-4
 - ~が点灯しないとき 2-5
- プロバイダ 1-18
- 別売りオプション 7-8
- 他の無線 LAN 端末（子機）から接続する
 - Aterm シリーズ以外の
無線 LAN 端末（子機） 5-84
 - Aterm シリーズの
無線 LAN 端末（子機） 5-82
- ホスト名 3-9

[マ行]

- 無線 LAN アクセスポイント
 - ~ 2-6、2-7、3-6、3-7、5-70
- 無線 LAN アクセスポイントとして使う 5-70
- 無線 LAN アクセスポイントモード
 - ~ 2-6、2-7、3-6、3-7、5-70、⑩
- ~に設定する 5-71
- 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する 5-86
- 無線暗号化 5-3
- 無通信監視タイマ 4-3、⑩
- 目次 前文-12

[ヤ行]

- ユーティリティ ⑩
- ~に関するトラブル 6-16
- ~の使いかた ⑩
- 用語解説 7-10

[ラ行]

- らくらく Web ウィザード 3-4
～で設定する 3-4
～を起動する 3-4
らくらくスタートボタン (SETスイッチ)
..... 1-13, 1-17
らくらく無線スタート 5-16, 5-46
らくらく無線スタートEX 5-87
リセットスイッチ 1-17, 6-30
ルータ機能 ⑧
ルータモード (ローカルルータモード)
..... 2-6, 2-7, 3-6, 3-7

MEMO

MEMO

MEMO

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えは落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

END USER LICENSE AGREEMENT

1. License Grant and Limitations.

The End User License Agreement shall state that:
Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.

In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. Third Party Beneficiary.

The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:
Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. U.S. Government Use.

All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. Export Restrictions.

The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの △必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm WR7850Sシリーズ取扱説明書 第7版

AM1-000382-007
2007年3月



この製品は古紙配合率100%
再生紙を使用しています。



大豆インキを
使用しています



* A M 1 - 0 0 0 3 8 2 - 0 0 7 5 *